

芽 室 町

第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査

【 集 計 結 果 報 告 書 】

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査仕様	1
3	回収結果	1
4	結果の表示	1
II	調査結果の概要	2
1	介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果の概要	2
2	在宅介護実態調査結果の概要	12
3	介護人材実態調査・介護職員調査結果の概要	15
III	介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果	20
	回答者本人について	20
	問1 あなたのご家族や生活状況について	22
	問2 からだを動かすことについて	27
	問3 食べることについて	32
	問4 毎日の生活について	36
	問5 地域での活動について	39
	問6 就労について	50
	問7 たすけあいについて	51
	問8 健康について	55
	問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	61
	問10 終末期の療養について	68
	問11 その他	73
IV	在宅介護実態調査結果	84
	A票 調査対象者本人について	84
	B票 主な介護者の方について	90
V	介護人材実態調査・介護職員調査結果	94
1	介護人材実態調査	94
2	介護職員調査	99

I 調査概要

1 調査目的

「芽室町第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和 9 年度～令和 11 年度）」を策定するにあたり、高齢者の方々が健康で安心して暮らすことのできる長寿社会の実現に向けて、高齢者保健福祉施策を推進していくための基礎資料とすることを目的とします。

2 調査仕様

- (1) 調査地域 芽室町全域
- (2) 調査対象 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査：65 歳以上の一般高齢者及び
要支援 1・2 の高齢者
在宅介護実態調査：認定調査の対象となる高齢者の家族
介護人材実態調査・介護職員調査：町内の介護事業所
- (3) 調査時期 令和 7 年 12 月～令和 8 年 1 月

3 回収結果

配布別	配布数	回収数	回収率 (%)
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	2,000	1,542	77.1%
在宅介護実態調査	230	160	69.6%
介護人材実態調査	—	9	—
介護職員調査	—	119	—

4 結果の表示

- (1) 百分比（全体を 100 としたときの割合）は回答数を 100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位まで示しました。このため、百分比の合計が 100%に満たない場合や上回る場合があります。
- (2) 図表によっては「無回答」の表示を省略する場合があります。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。

Ⅱ 調査結果の概要

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果の概要

(1) 運動機能について

以下の5つの設問は、運動機能の低下を問う設問です。

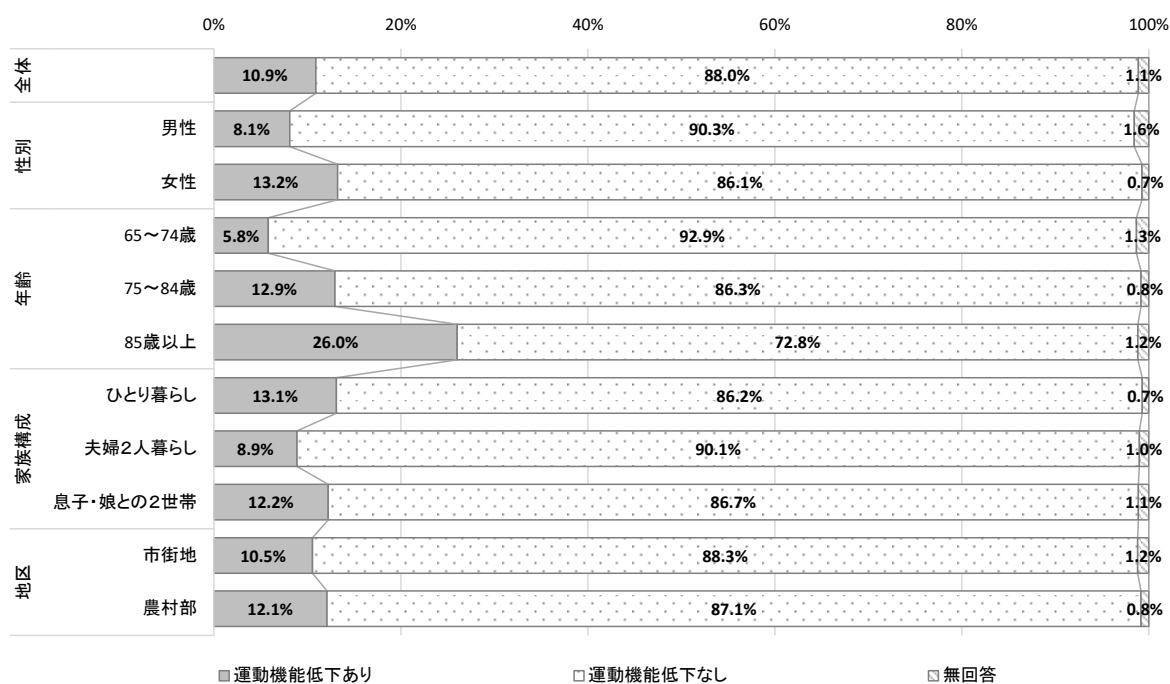
この設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）が回答された場合は、運動機能の低下している高齢者となります。

No	設問内容	選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

◆「運動機能低下あり」の割合について

- ・「男性（8.1%）」と比べて「女性（13.2%）」の方が、割合が高くなっています。
- ・年齢に比例して、割合が高くなっており、「85歳以上」では26.0%となっています。
- ・家族構成では、「夫婦2人暮らし（8.9%）」と比べて「ひとり暮らし（13.1%）」／息子・娘との2世帯（12.2%）」の方が、割合が高くなっています。
- ・地区による差はほとんどありませんでした。

	割合（%）		
	運動機能低下あり	運動機能低下なし	無回答
全体	10.9	88.0	1.1
男性	8.1	90.3	1.6
女性	13.2	86.1	0.7
65～74歳	5.8	92.9	1.3
75～84歳	12.9	86.3	0.8
85歳以上	26.0	72.8	1.2
ひとり暮らし	13.1	86.2	0.7
夫婦2人暮らし	8.9	90.1	1.0
息子・娘との2世帯	12.2	86.7	1.1
市街地	10.5	88.3	1.2
農村部	12.1	87.1	0.8



(2) こころの健康について

以下の2つの設問は、うつ傾向を問う設問です。

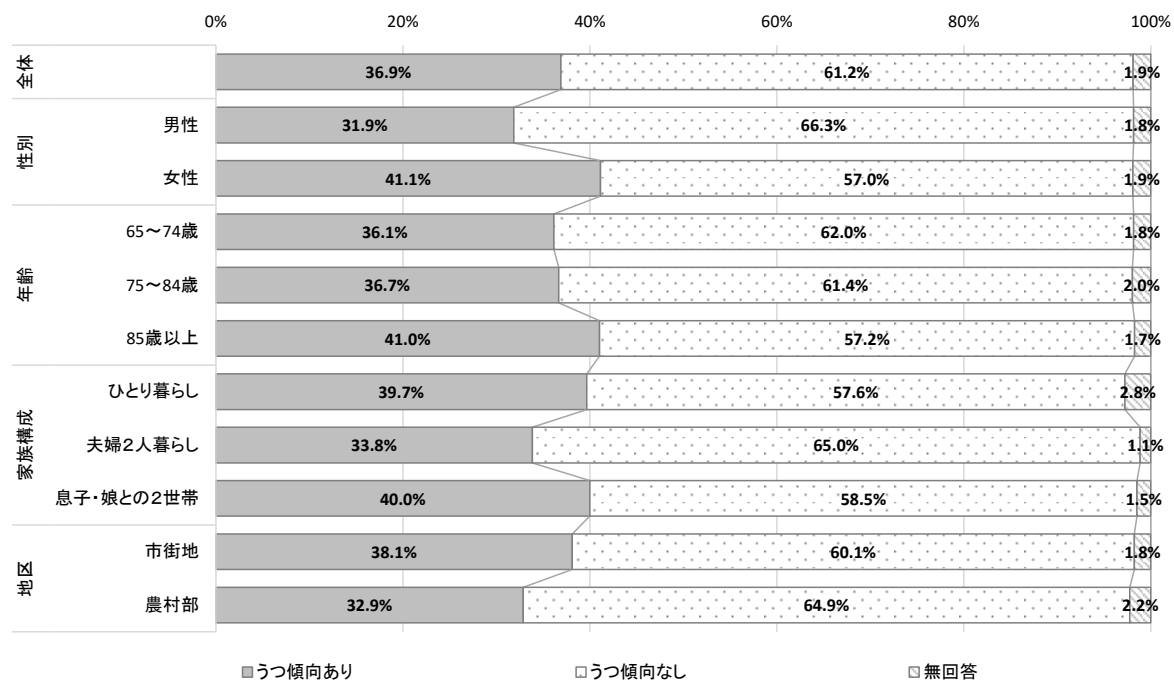
いずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者となります。

No	設問内容	選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

◆「うつ傾向あり」の割合について

- ・「男性（31.9%）」と比べて「女性（41.1%）」の方が、割合が高くなっています。
- ・年齢に比例して、割合が高くなっており、「85歳以上」では41.0%となっています。
- ・家族構成では、「夫婦2人暮らし（33.8%）」と比べて「ひとり暮らし（39.7%）／息子・娘との2世帯（40.0%）」の方が、割合が高くなっています。
- ・地区では、「農村部（32.9%）」と比べて「市街地（38.1%）」の方が、割合が高くなっています。

	割合（%）		
	うつ傾向あり	うつ傾向なし	無回答
全体	36.9	61.2	1.9
男性	31.9	66.3	1.8
女性	41.1	57.0	1.9
65～74歳	36.1	62.0	1.8
75～84歳	36.7	61.4	2.0
85歳以上	41.0	57.2	1.7
ひとり暮らし	39.7	57.6	2.8
夫婦2人暮らし	33.8	65.0	1.1
息子・娘との2世帯	40.0	58.5	1.5
市街地	38.1	60.1	1.8
農村部	32.9	64.9	2.2

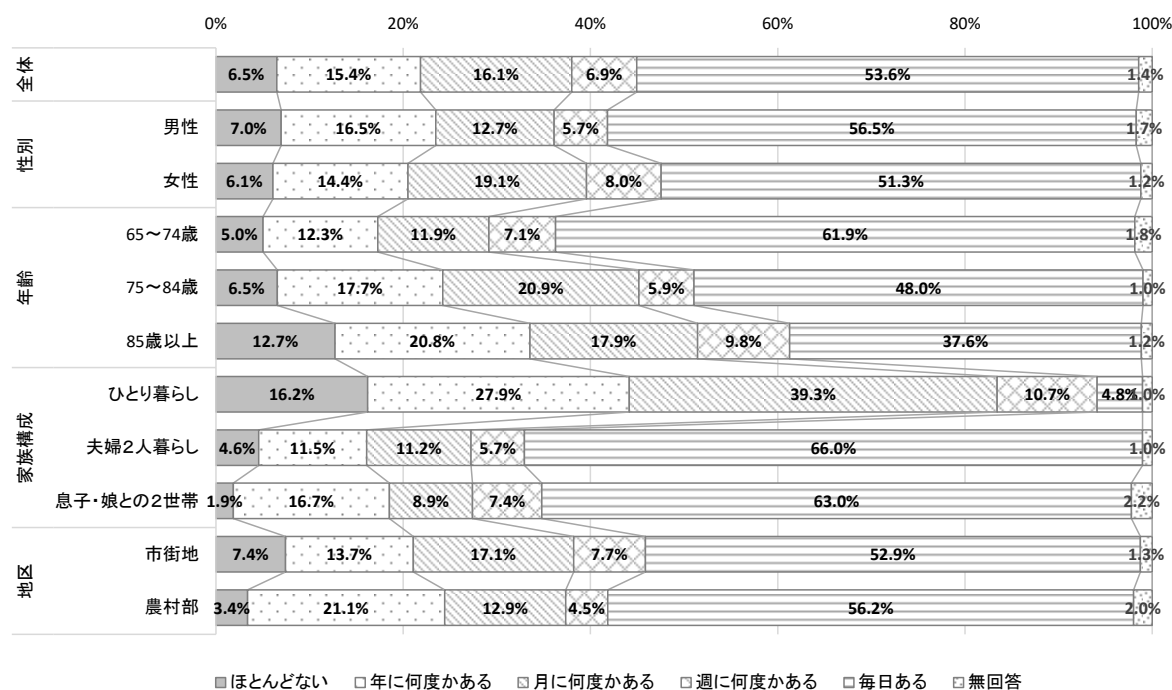


(3) 食事について

◆「どなたかと食事をともにする機会がほとんどない」割合について

- ・性別による差はほとんどありませんでした。
- ・年齢に比例して、割合が高くなっており、「85 歳以上」では 12.7%となっています。
- ・家族構成では、「ひとり暮らし（16.2%）」が最も高くなっています。
- ・地区では、「農村部（3.4%）」と比べて「市街地（7.4%）」の方が、割合が高くなっています。

	割合 (%)					
	ほとんど ない	年に何度 かある	月に何度 かある	週に何度 かある	毎日ある	無回答
全体	6.5	15.4	16.1	6.9	53.6	1.4
男性	7.0	16.5	12.7	5.7	56.5	1.7
女性	6.1	14.4	19.1	8.0	51.3	1.2
65～74 歳	5.0	12.3	11.9	7.1	61.9	1.8
75～84 歳	6.5	17.7	20.9	5.9	48.0	1.0
85 歳以上	12.7	20.8	17.9	9.8	37.6	1.2
ひとり暮らし	16.2	27.9	39.3	10.7	4.8	1.0
夫婦 2 人暮らし	4.6	11.5	11.2	5.7	66.0	1.0
息子・娘との 2 世帯	1.9	16.7	8.9	7.4	63.0	2.2
市街地	7.4	13.7	17.1	7.7	52.9	1.3
農村部	3.4	21.1	12.9	4.5	56.2	2.0

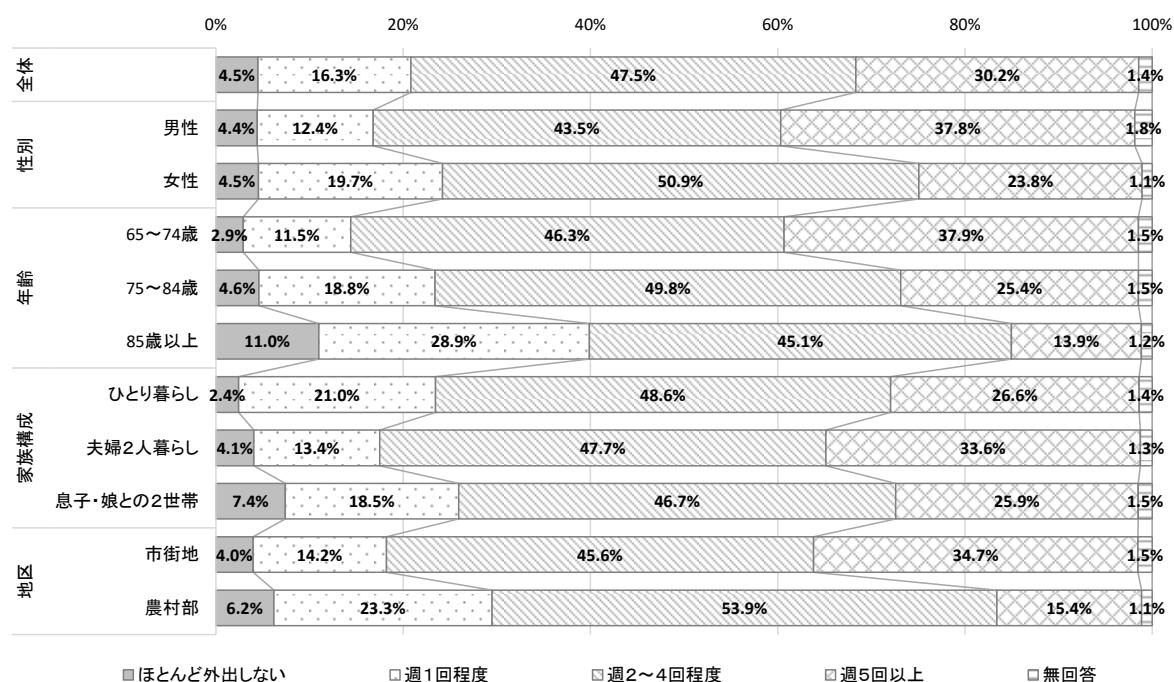


(4) 外出について

◆「ほとんど外出しない」割合について

- ・性別による差はほとんどありませんでした。
- ・年齢に比例して、割合が高くなっており、「85 歳以上」では 11.0%となっています。
- ・家族構成では、「息子・娘との2世帯（7.4%）」が最も高くなっています。
- ・地区による差はほとんどありませんでした。

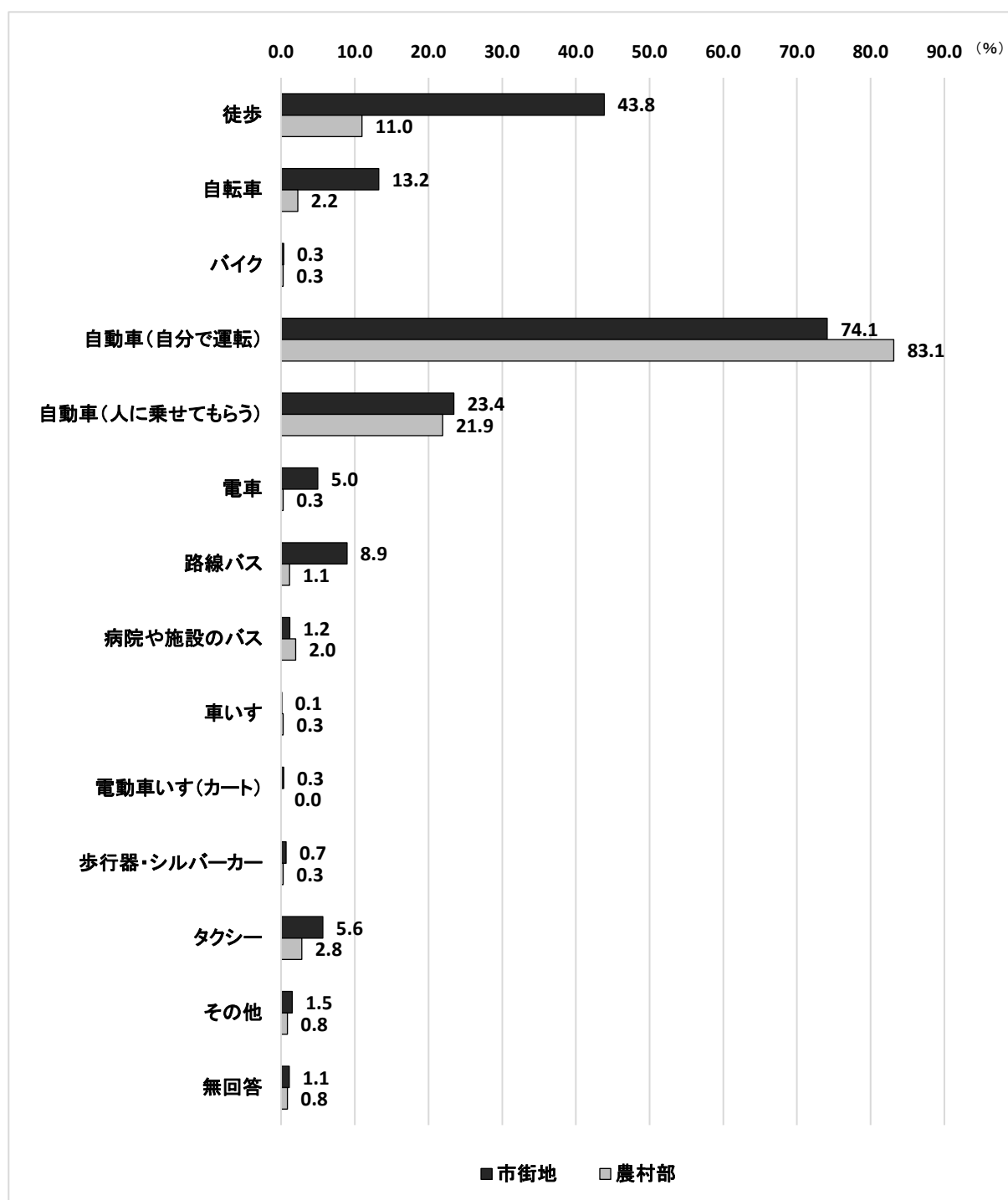
	割合 (%)				
	ほとんど外出しない	週1回程度	週2～4回程度	週5回以上	無回答
全体	4.5	16.3	47.5	30.2	1.4
男性	4.4	12.4	43.5	37.8	1.8
女性	4.5	19.7	50.9	23.8	1.1
65～74 歳	2.9	11.5	46.3	37.9	1.5
75～84 歳	4.6	18.8	49.8	25.4	1.5
85 歳以上	11.0	28.9	45.1	13.9	1.2
ひとり暮らし	2.4	21.0	48.6	26.6	1.4
夫婦2人暮らし	4.1	13.4	47.7	33.6	1.3
息子・娘との2世帯	7.4	18.5	46.7	25.9	1.5
市街地	4.0	14.2	45.6	34.7	1.5
農村部	6.2	23.3	53.9	15.4	1.1



(4) 外出する際の移動手段について

◆地区（市街地、市街地以外）とのクロス集計

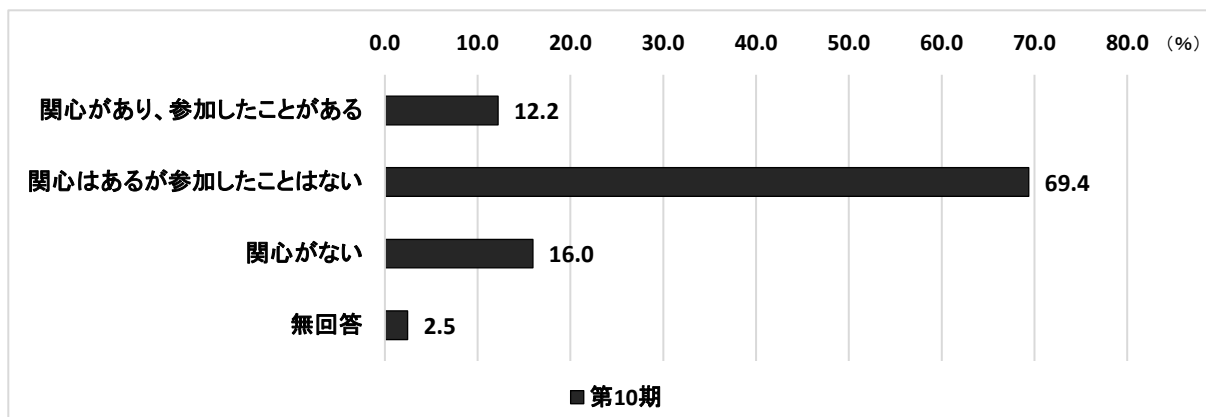
- ・市街地では、「徒歩」、「自転車」、「自動車」、「電車」、「路線バス」、「タクシー」の割合が高くなっており、多様な移動手段が使用されています。
- ・一方、農村部では、「自動車（自分で運転）」の割合が高く、市街地よりも自動車を移動手段とすることが多いといえます。



(5) 認知症について

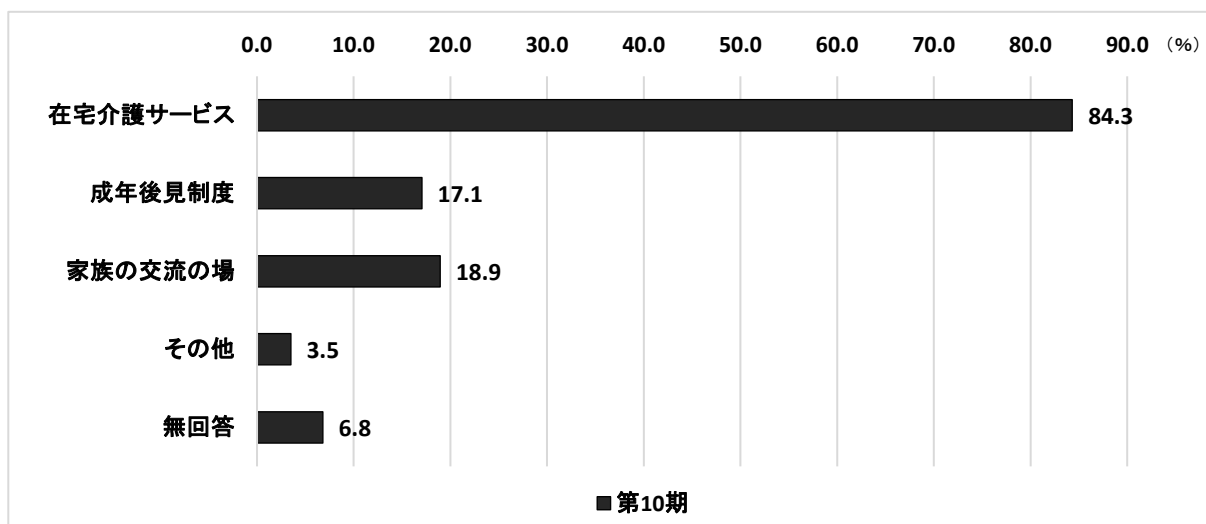
① 認知症講演会、認知症サポーター養成講座などの関心度

- ・「関心があり、参加したことがある（12.2%）」と「関心はあるが参加したことはない（69.4%）」を合わせると 81.6%であり、8割以上の方が認知症に関する講演会等に関心を持っていることがわかります。



② 認知症になっても今の住まいで生活するために必要な支援

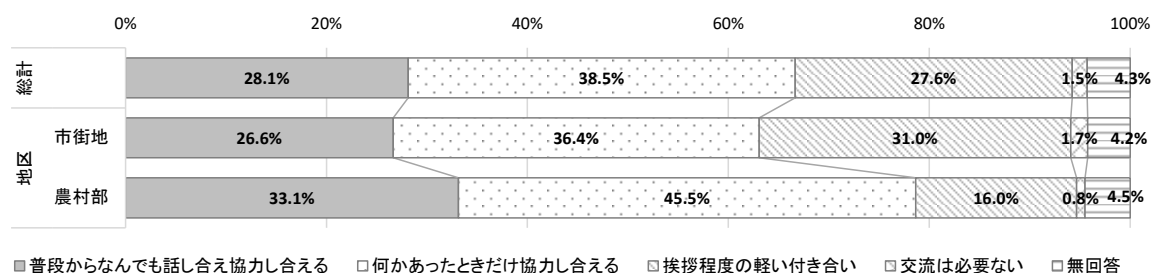
- ・「在宅介護サービス」が 84.3%で最も高くなっています。
- ・また、「成年後見制度」、「家族の交流の場」については、約2割の方が必要な支援と認識していることがわかります。



(6) 近所との付き合いについて

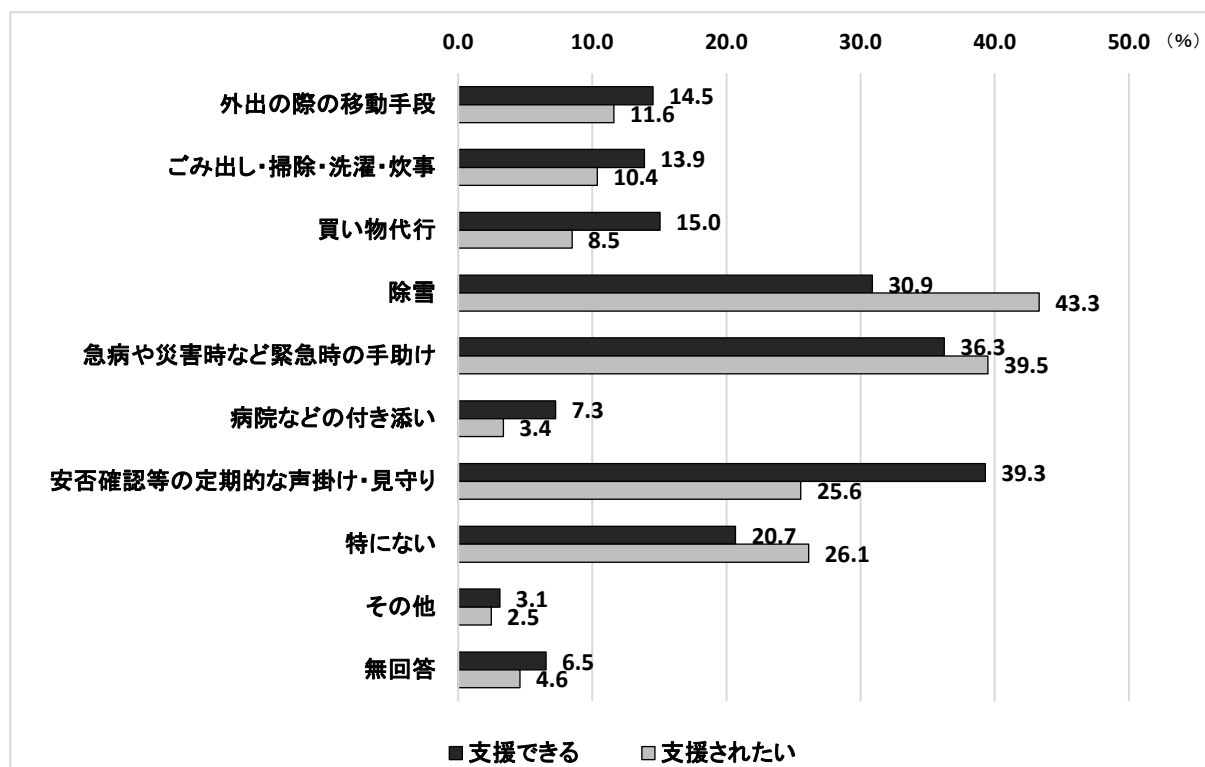
① 近所との付き合い方

- ・総計では、「何かあったときだけ協力し合える」が38.5%で最も高く、次いで「普段からなんでも話し合え協力し合える（28.1%）」と続いています。
- ・また、23人（1.5%）の方が「交流は必要ない」と回答しています。
- ・地区別でみると、市街地よりも農村部の方が、近所と深い付き合いをしていることがわかります。



② できる支援とされたい支援

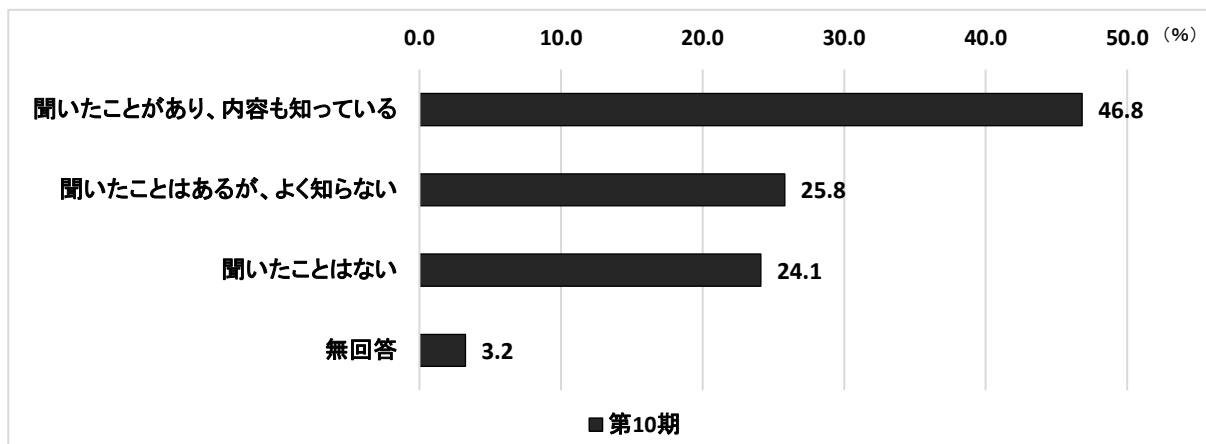
- ・多くの項目で「支援できる」が「支援されたい」を上回っており、近所で助け合う意識が高いことが見て取れます。
- ・「除雪」、「急病や災害時など緊急時の手助け」に関しては、支援できる割合の方が低く、近所の助け合いだけでは十分でないといえます。



(7) ヤングケアラーについて

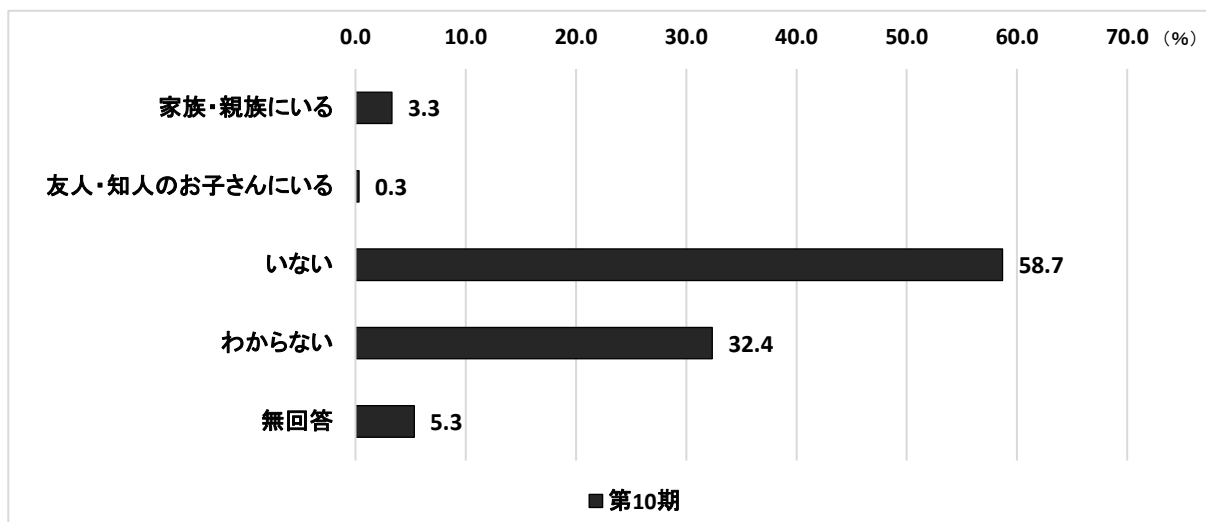
①ヤングケアラーの認知度

- ・「聞いたことがあり、内容も知っている（46.8%）」と「聞いたことはあるが、よく知らない（25.8%）」を足すと72.6%であり、7割以上の認知度があります。



②ヤングケアラーと思われるお子さんがいる割合

- ・「家族・親族にいる（3.3%）」と「友人・知人のお子さんにいる（0.3%）」を足すと3.6%であり、ヤングケアラーと思われるお子さんは56人いることがわかります。

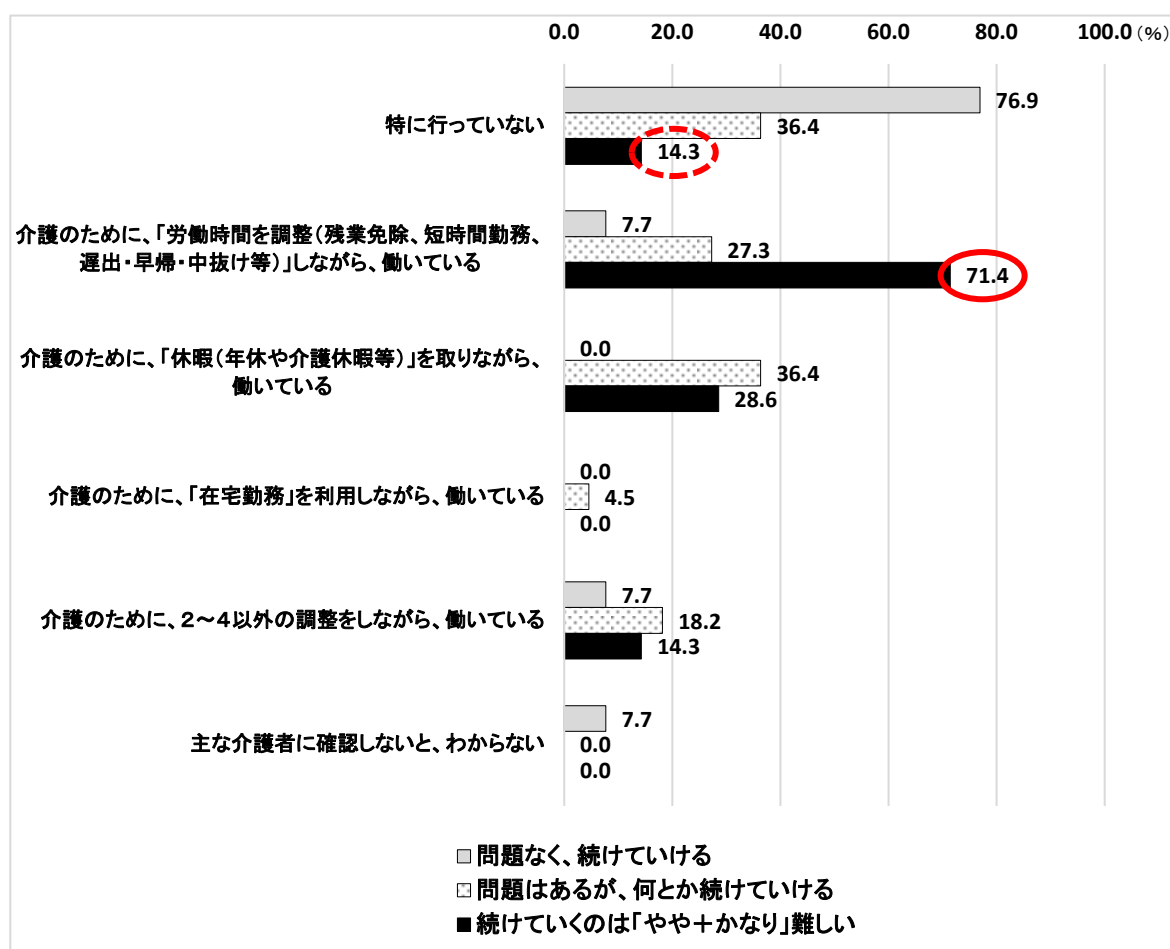


2 在宅介護実態調査結果の概要

(1) 働き方の調整について

- ・続けていくのは「やや＋かなり」難しい人の働き方の調整について、介護のために、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が、71.4%で最も高くなっています。
- ・一方、続けていくのは「やや＋かなり」難しい状態においても、働き方の調整を「特に行っていない」が14.3%となっており、働き方の調整をすること自体が難しい状況も考えられます。そのため、介護の状況に応じて必要な制度が、必要な期間、利用できるような環境を整備していく事業所の取組みを促進していくことが必要とされています。

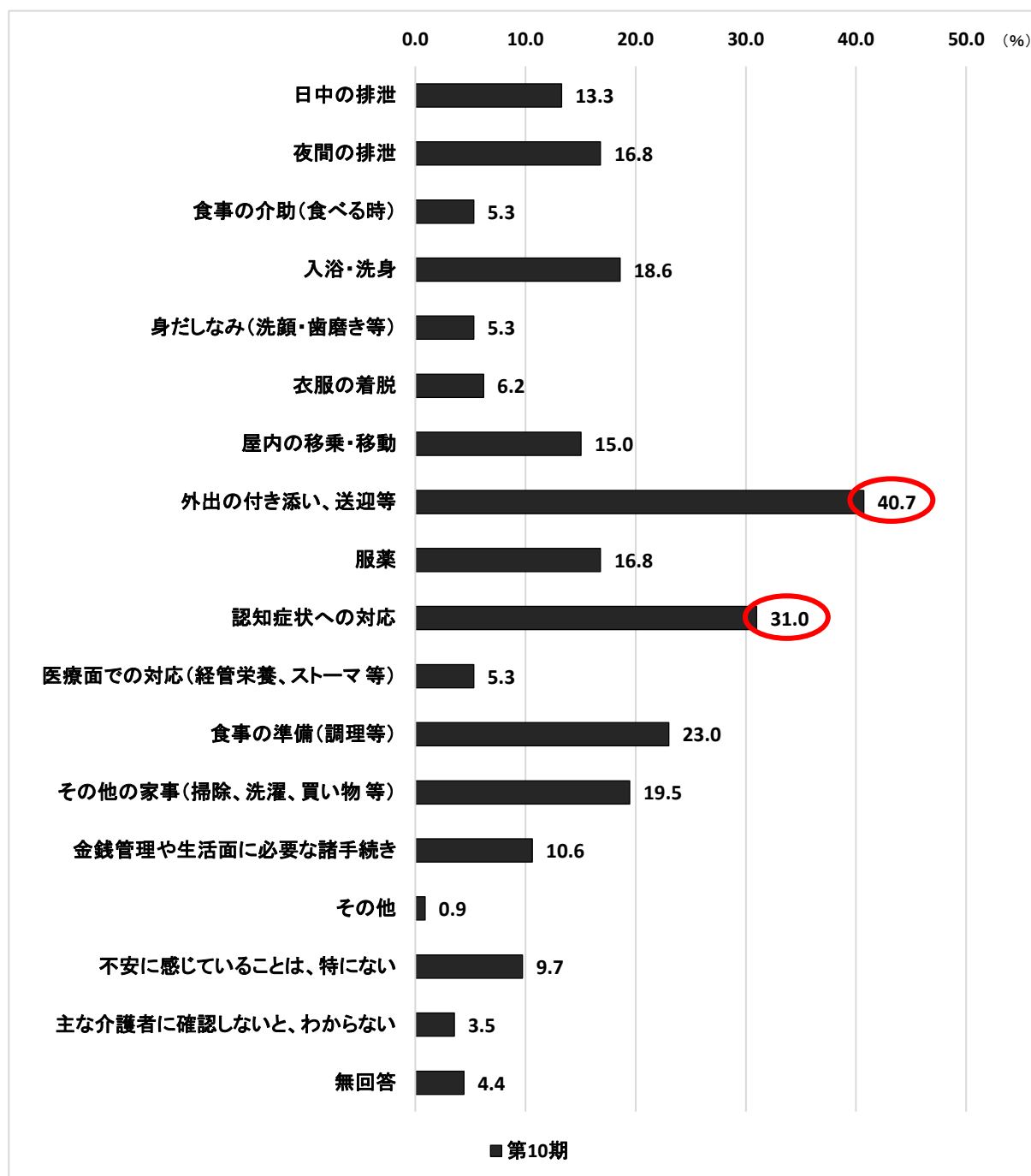
就労継続見込別 介護のための働き方の調整



(2) 介護者が不安を感じる介護について

- ・現在の生活を継続していくにあたり、介護者が不安を感じる介護は、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が高い割合となっています。
- ・在宅限界点に影響を与える要素として得られた介護者の「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」に係る介護不安を如何に軽減していくかが、在宅限界点の向上を図るための重要なポイントになると考えられます。

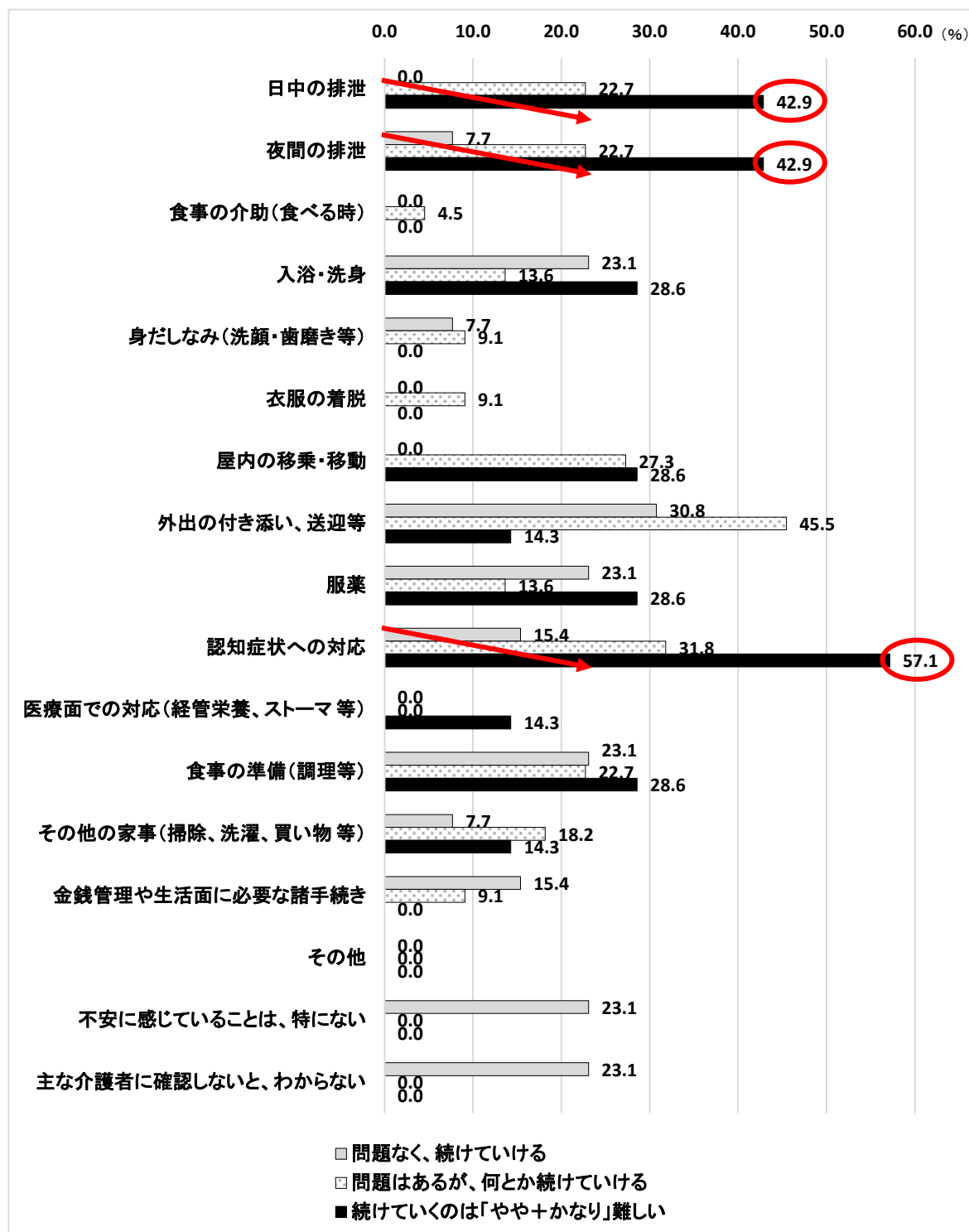
介護者が不安を感じる介護



(3) 介護者が就業困難となる主な原因について

- ・要介護者が在宅で生活を続けていくことが難しくなる人ほど、「日中・夜間の排泄」、「認知症への対応」について、介護者が不安に感じる傾向が高くなっています。
- ・これらの介護が、在宅生活を継続しながらの就労を継続していくことについて、介護者が可否を判断するポイントとなっているといえます。

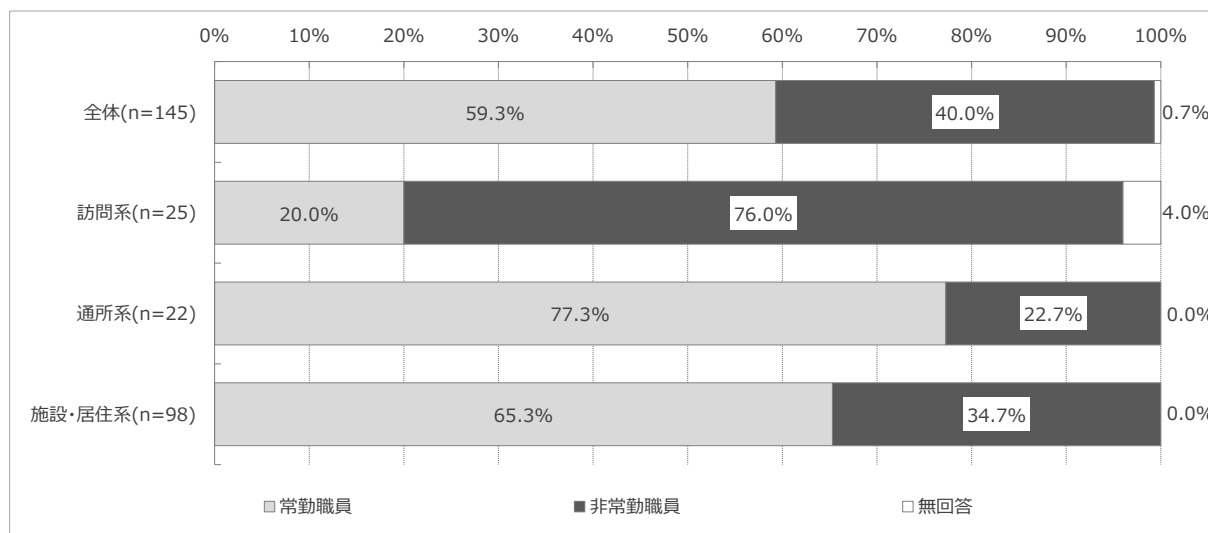
就労継続見込別 介護者が不安に感じる介護



3 介護人材実態調査・介護職員調査結果の概要

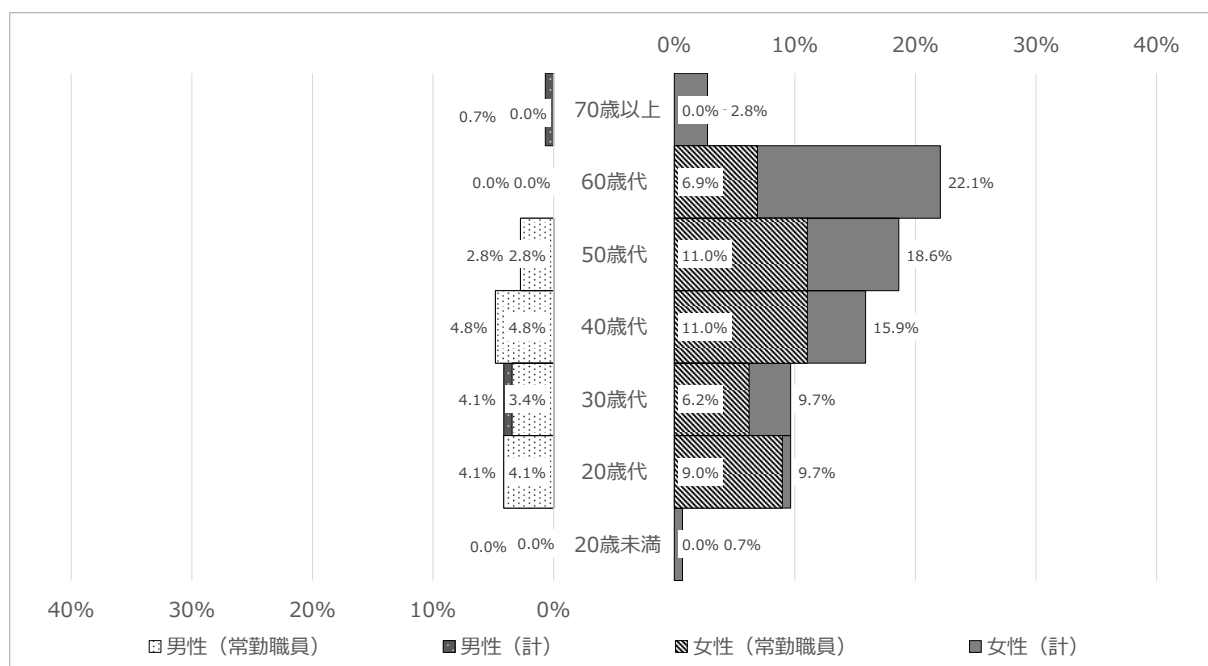
(1) サービス系統別の常勤職員・非常勤職員の割合

- ・全体の常勤職員の割合は、59.3%となっています。
- ・介護サービス別の常勤職員の割合は、「訪問系」の20.0%が最も低く、「通所系」、「施設・居住系」はともに約7割となっています。



(2) 性別・年齢別の雇用形態の構成比

- ・常勤職員の割合は、男性は「40歳代（4.8%）」、女性は「40歳代／50歳代（11.0%）」が最も高くなっています。
- ・また、男女ともに「30歳代」よりも「20歳代」の方が、常勤職員の割合が高くなっています。



(3) 介護職員数の変化

- すべてのサービスで、前年よりも職員数が増加しています。
- 常勤職員の増加率が最も高いのは、「訪問系」の125.0%となっています。
- 非常勤職員の増加率が最も高いのは、「施設・居住系」の114.8%となっています。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計
全体(n=9)	93人	47人	140人	26人	17人	43人	17人	12人	29人	110.7%	111.9%	111.1%
訪問系(n=1)	5人	10人	15人	2人	6人	8人	1人	5人	6人	125.0%	111.1%	115.4%
通所系(n=4)	24人	6人	30人	5人	2人	7人	2人	2人	4人	114.3%	100.0%	111.1%
施設・居住系(n=4)	64人	31人	95人	19人	9人	28人	14人	5人	19人	108.5%	114.8%	110.5%

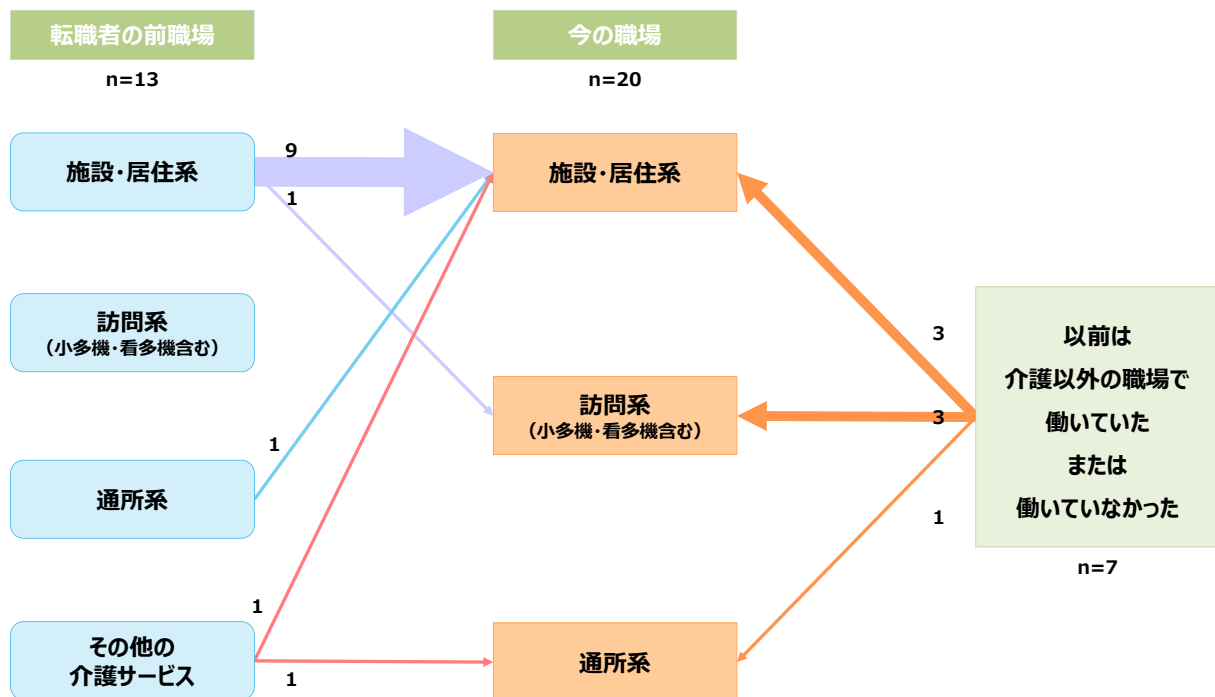
(4) 前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

- 町内から町内の介護事業所へ転職した割合は、30.8%となっています。
- 他の市区町村から町内の介護事業所へ転職した割合は、69.2%となっています。

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
全体	13人	100.0%	1人	100.0%	1人	100.0%	11人	100.0%
町内	4人	30.8%	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	36.4%
他の市区町村	9人	69.2%	1人	100.0%	1人	100.0%	7人	63.6%

(5) 過去 1 年間の介護職員の職場の変化

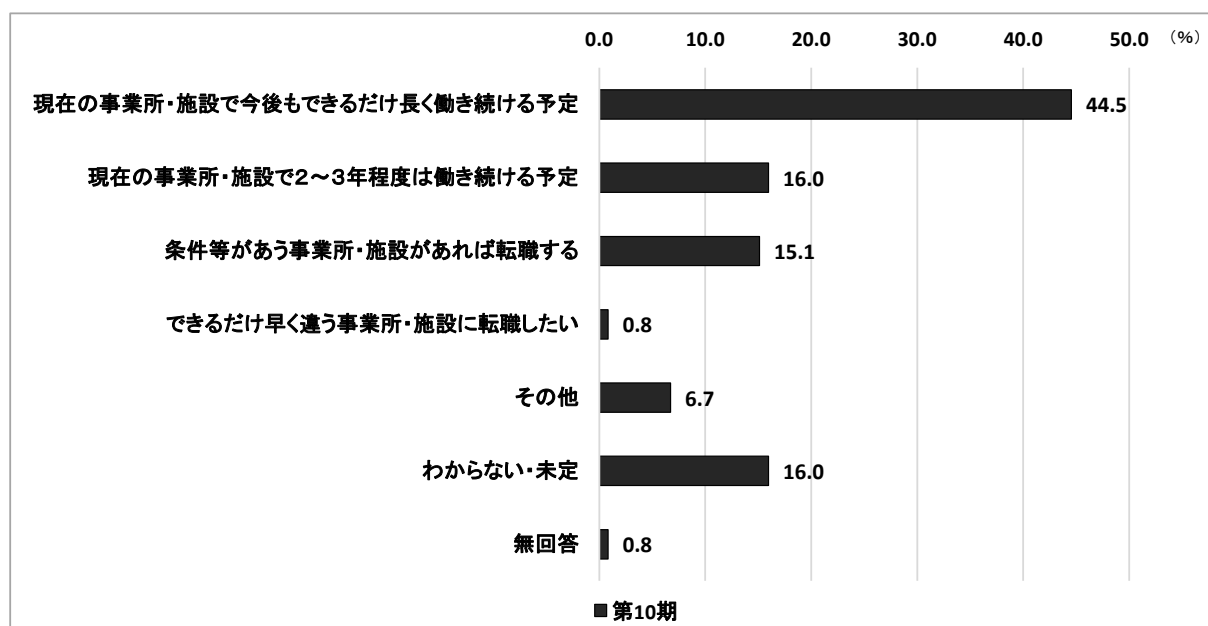
- ・過去 1 年間の介護職員の職場の変化をみると、「施設・居住系」から「施設・居住系」への動線が多くなっています。
- ・「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」人については、「施設・居住系」、「訪問系」と比較して、「通所系」での採用はわずかとなっています。



(6) 就業継続意向

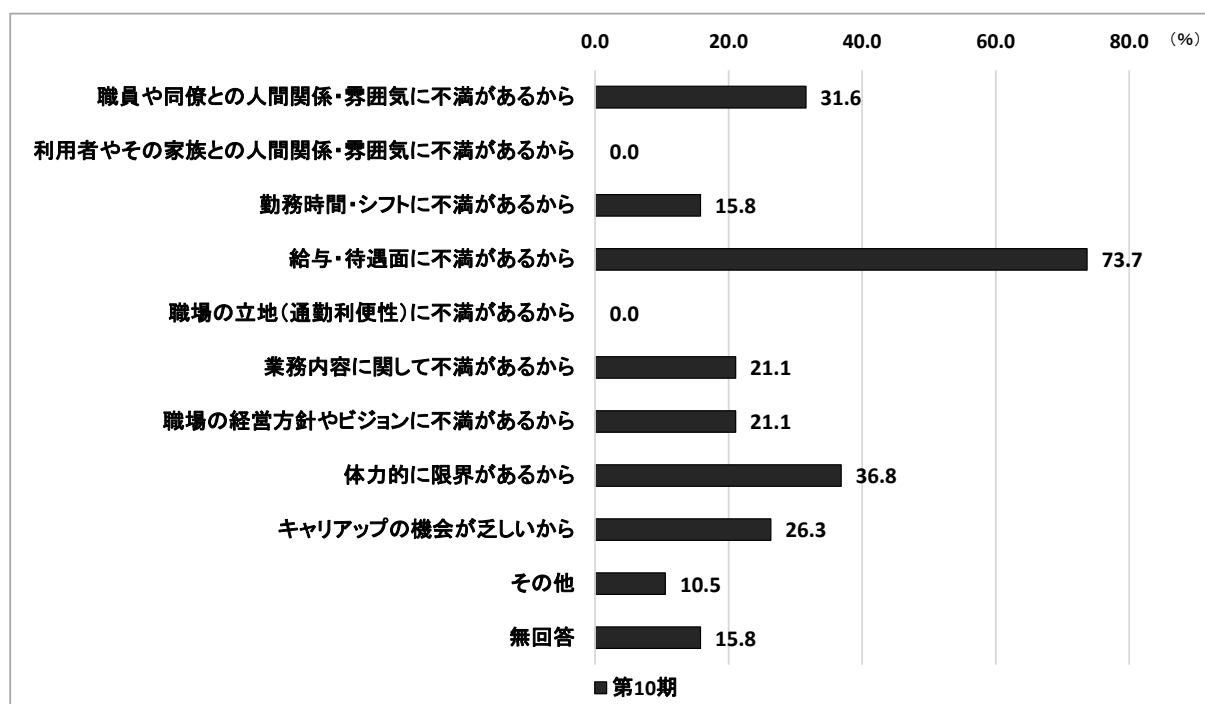
- ・「現在の事業所・施設で今後もできるだけ長く働き続ける予定」の割合が最も高いのは、「年収 400 万以上」の 75.0%となっています。
- ・一方、「条件等があう事業所・施設があれば転職する」の割合が最も高いのは、「年収 250 ～400 万未満」の 33.3%となっています。
- ・また、「できるだけ早く違う事業所・施設に転職したい」を回答したのは、「年収 130 万未満」のみで、3.0%となっています。

	割合 (%)				
	現在の事業所・施設で今後もできるだけ長く働き続ける予定	現在の事業所・施設で2～3年程度は働き続ける予定	条件等があう事業所・施設があれば転職する	できるだけ早く違う事業所・施設に転職したい	わからない・未定
全体	44.5	16.0	15.1	0.8	16.0
130 万未満	30.3	24.2	0.0	3.0	27.3
130～250 万未満	48.0	24.0	12.0	0.0	12.0
250～400 万未満	40.5	9.5	33.3	0.0	14.3
400 万以上	75.0	6.3	6.3	0.0	6.3



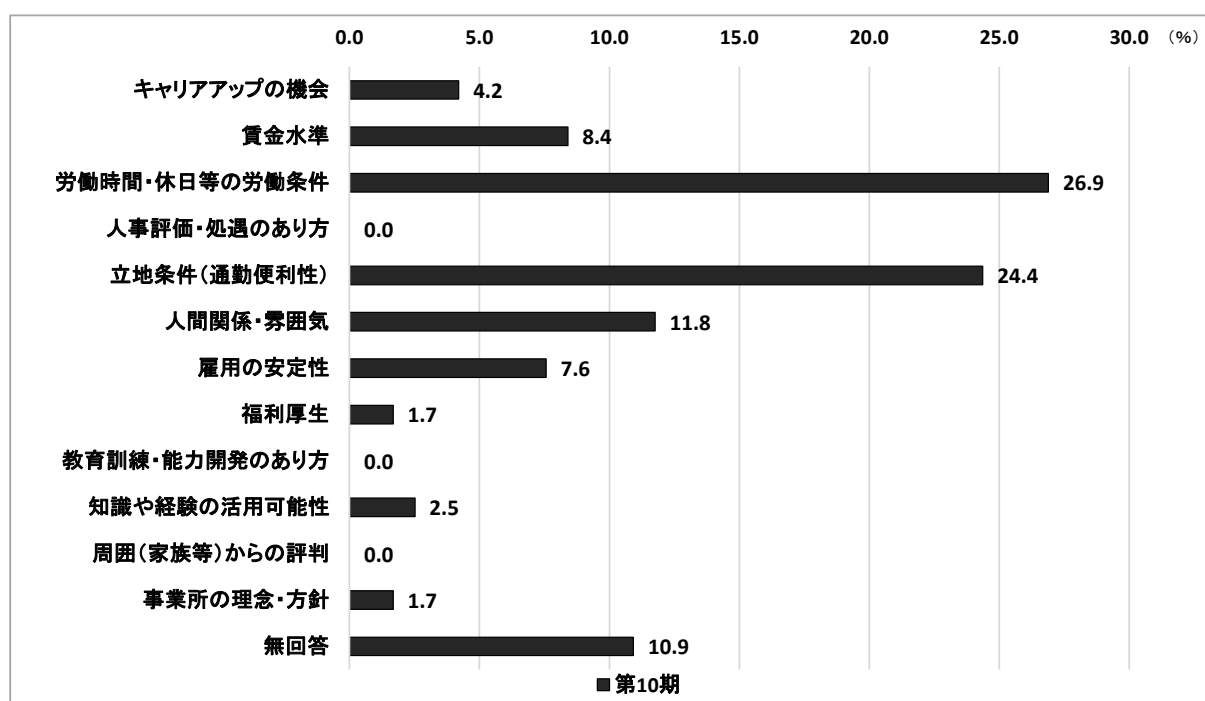
(7) 現在、勤めている事業所・施設で仕事を継続していきたくないと思う理由

- ・「給与・待遇面に不満があるから」が73.7%で最も高く、次いで「体力的に限界があるから(36.8%)」と続いています。



(8) 就業を決める際に、重視した要素

- ・「労働時間・休日等の労働条件」が26.9%で最も高く、次いで「立地条件(通勤利便性)」(24.4%)」と続いています。

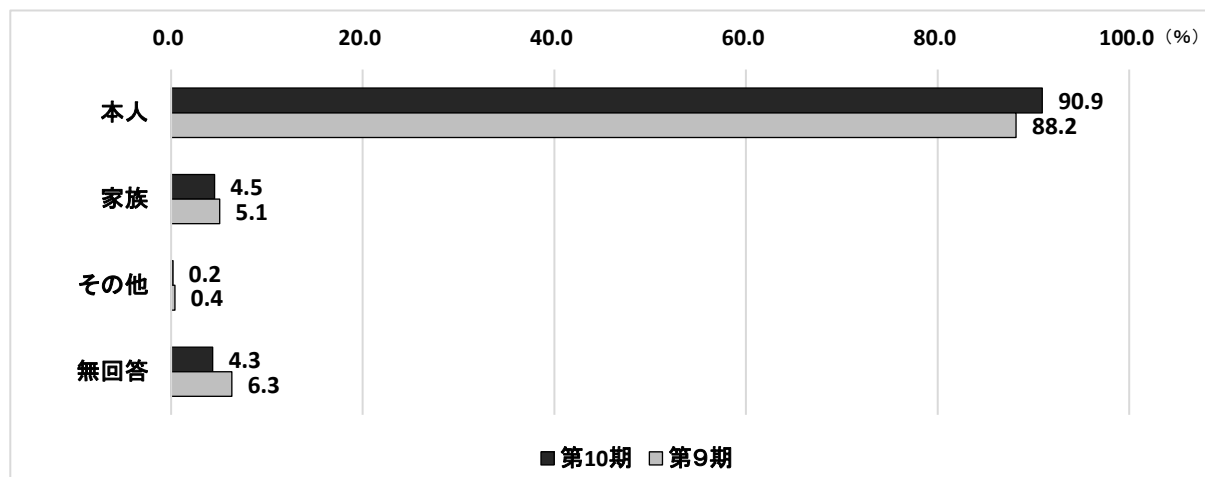


Ⅲ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

回答者本人について

◆ 調査票を記入されたのはどなたですか。（○はひとつ）

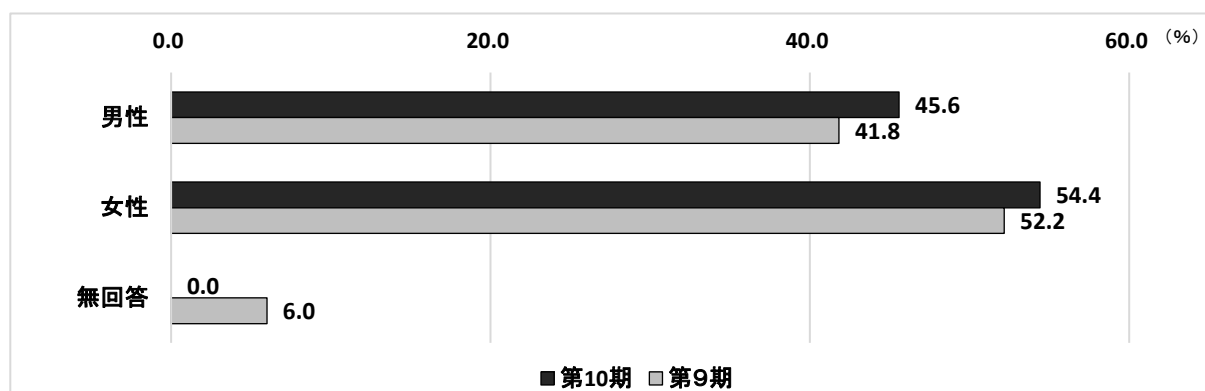
- ・「本人」が90.9%で最も高く、次いで「家族（4.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



◆ 調査票を記入されたのはどなたですか。（○はひとつ）

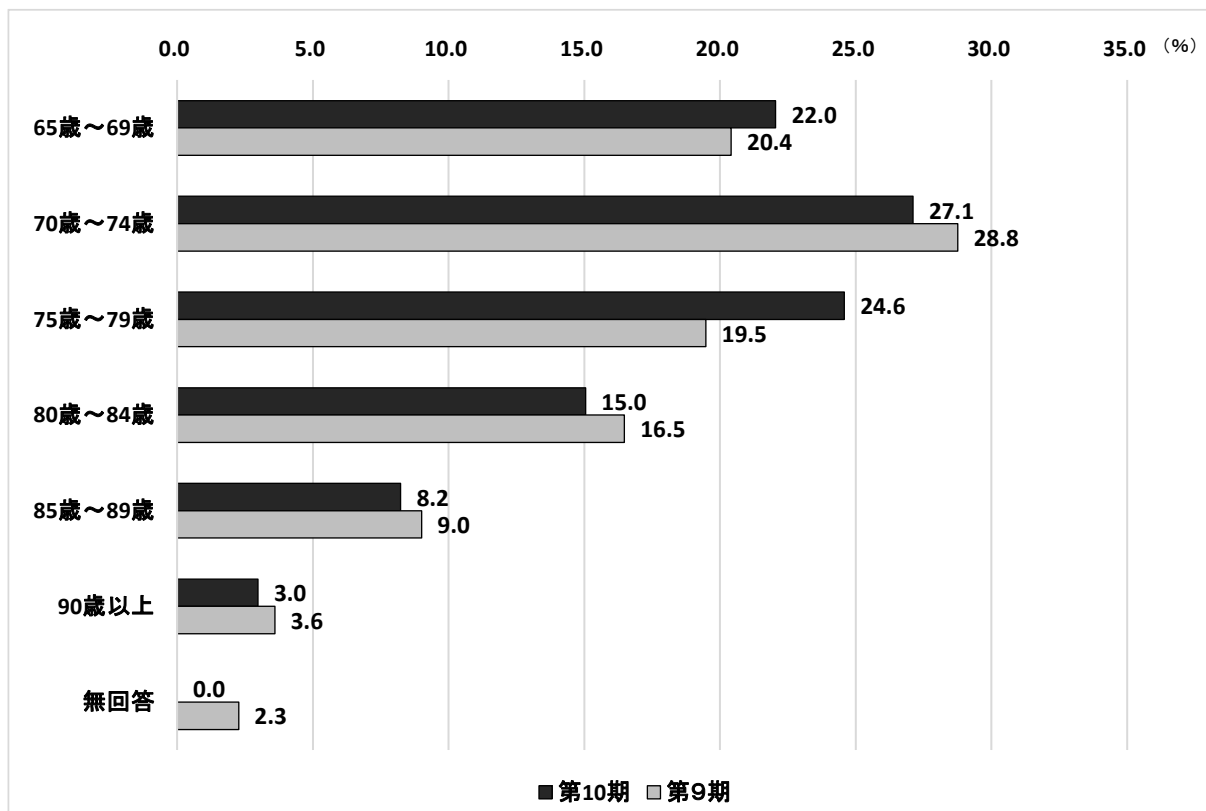
①性別

- ・「女性」が54.4%で最も高く、次いで「男性（45.6%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



②年齢

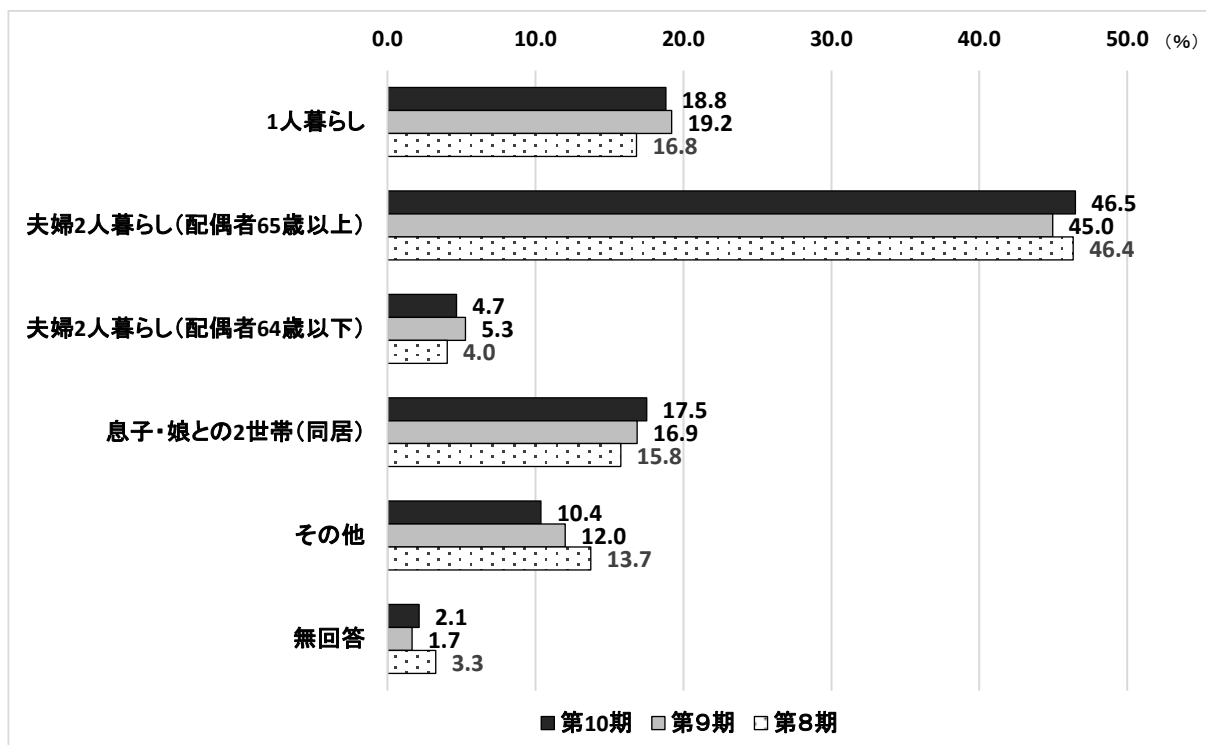
- ・「70 歳～74 歳」が 27.1%で最も高く、次いで「75 歳～79 歳（24.6%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「75 歳～79 歳」が増加しています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

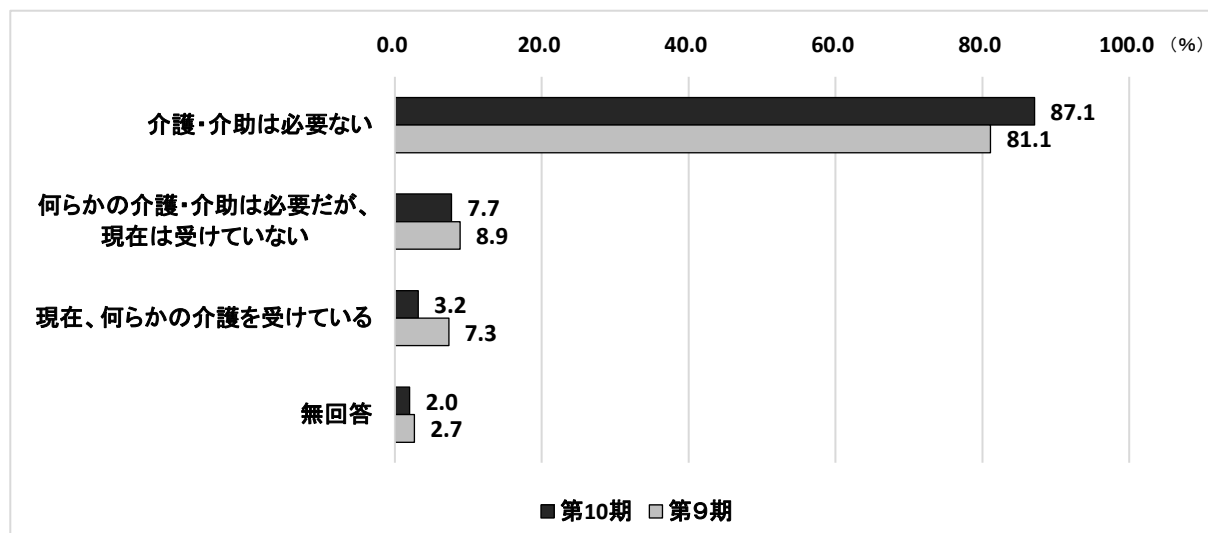
(1) 家族構成をお教えてください。(○はひとつ)

- ・「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が46.5%で最も高く、次いで「1人暮らし(18.8%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

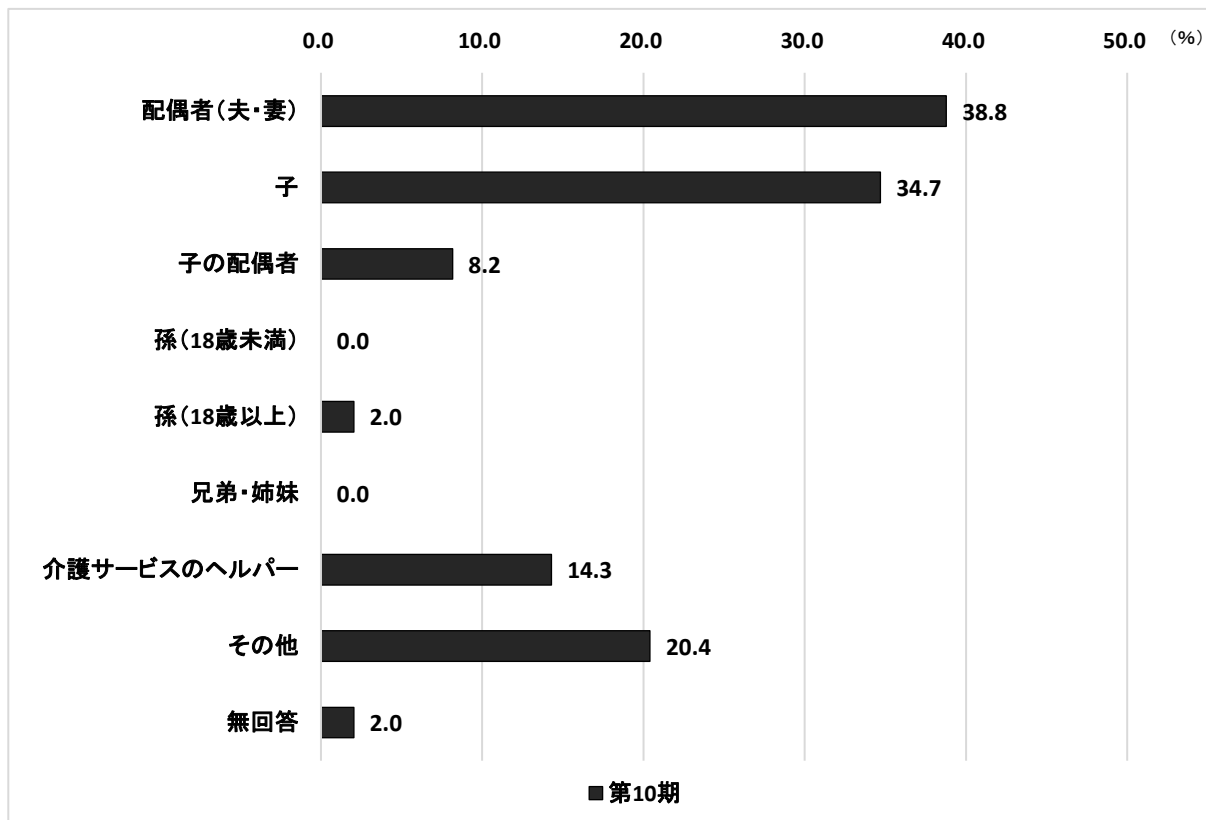
- ・「介護・介助は必要ない」が87.1%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(7.7%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」が増加し、「現在、何らかの介護を受けている」が減少しています。



【(2) で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。】 n = 49

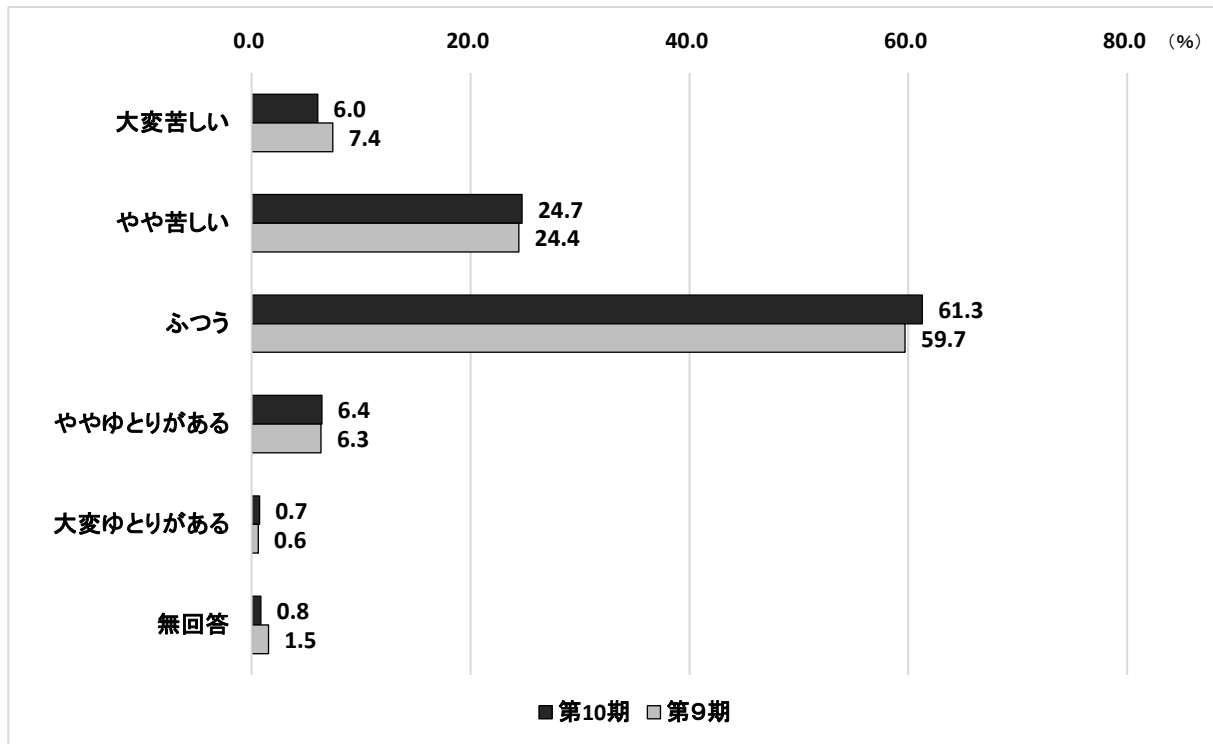
(2-1) 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「配偶者(夫・妻)」が38.8%で最も高く、次いで「子(34.7%)」と続いています。



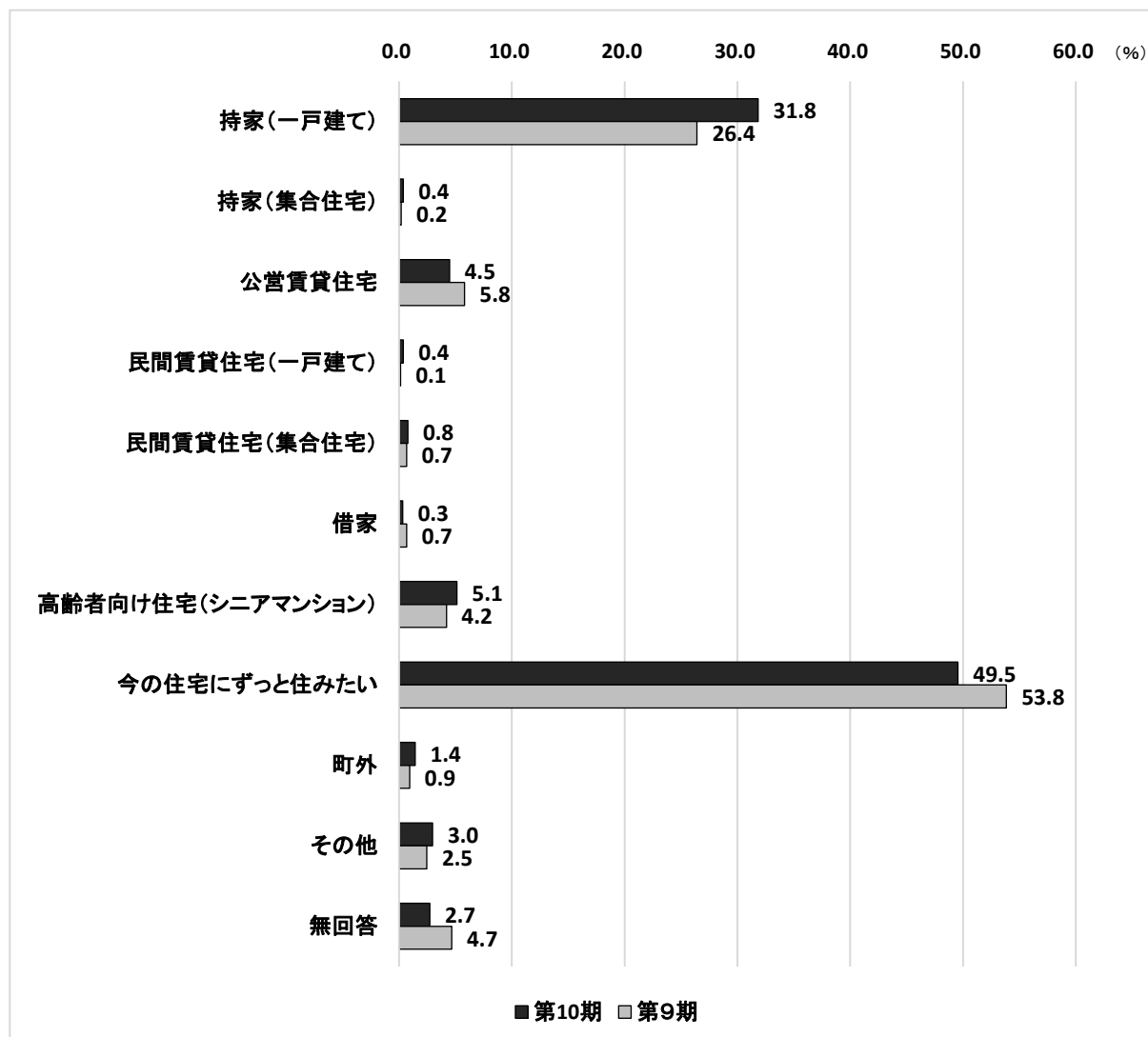
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

- ・「ふつう」が61.3%で最も高く、次いで「やや苦しい(24.7%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(4) 今後、今住んでいる場所以外での居住を考えていますか。(○はひとつ)

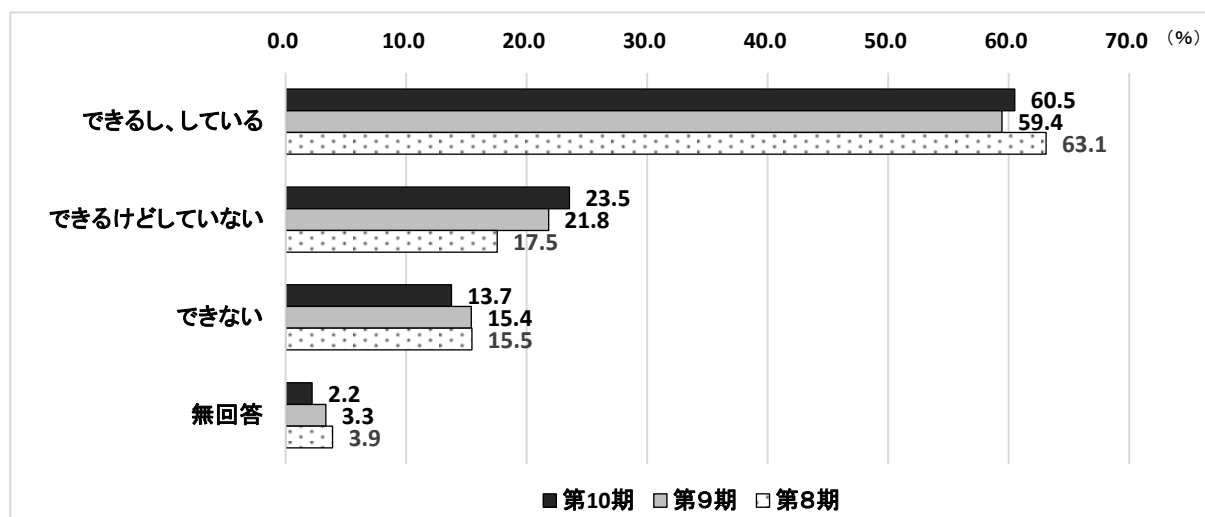
- 「今の住宅にずっと住みたい」が 49.5%で最も高く、次いで「持家(一戸建て) (31.8%)」と続いています。
- 前回調査と比較すると、「持家(一戸建て)」が増加し、「今の住宅にずっと住みたい」が減少しています。



問2 からだを動かすことについて

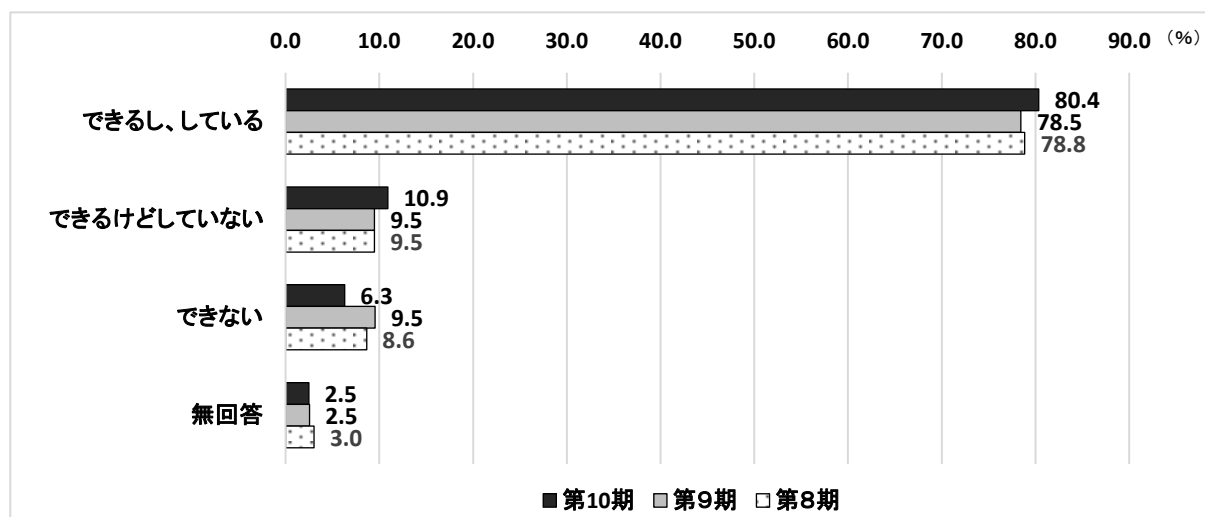
(1) 階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が60.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない(23.5%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



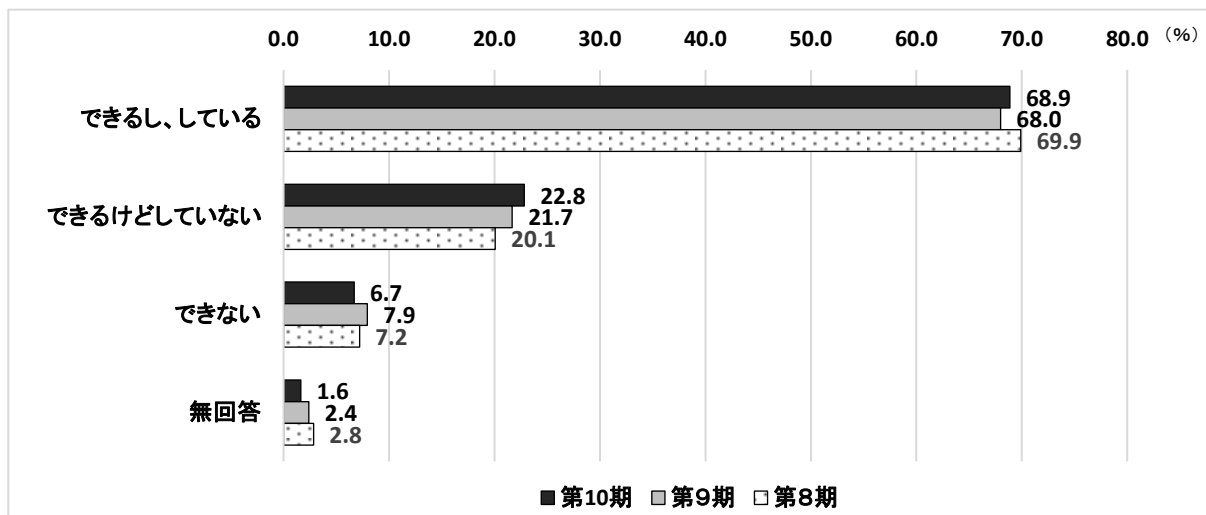
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が80.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない(10.9%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



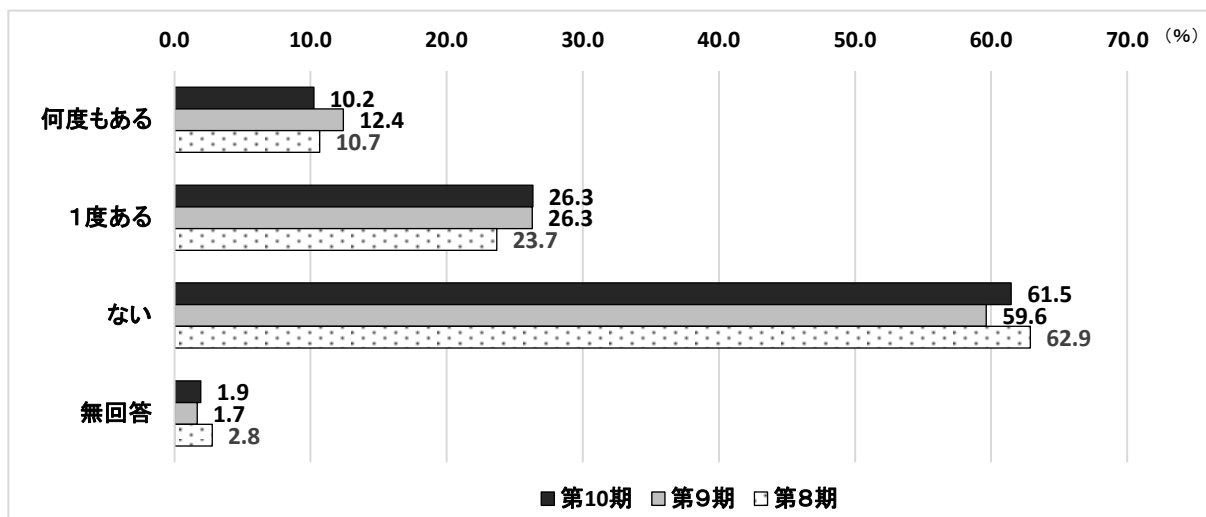
(3) 15 分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が68.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない(22.8%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



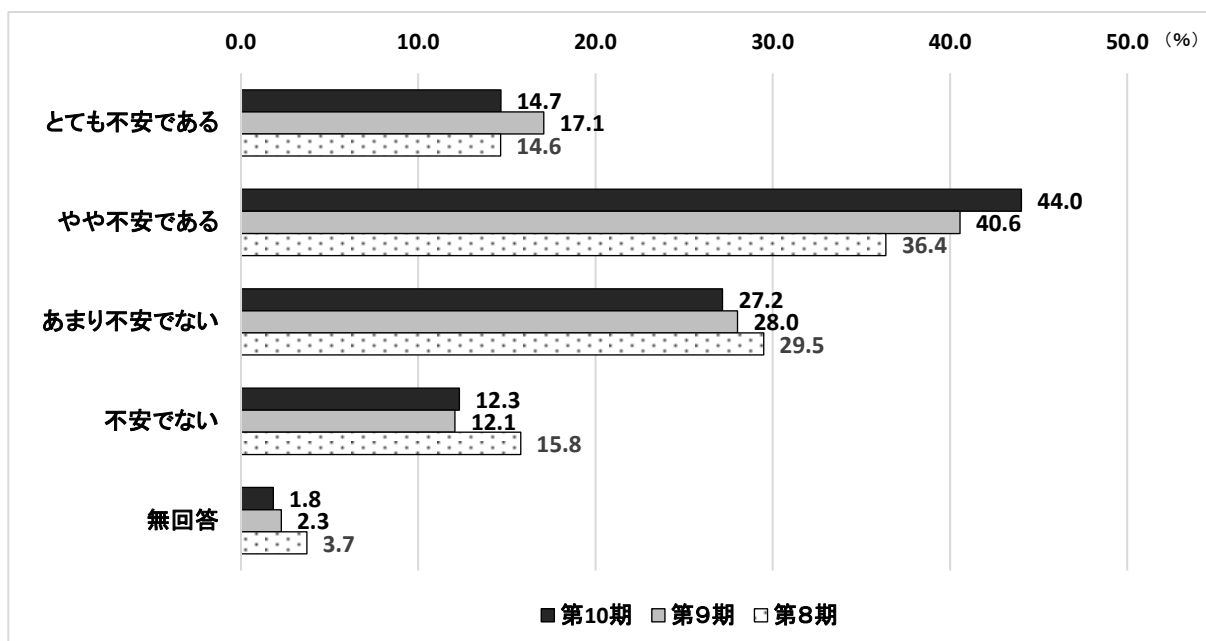
(4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

- ・「ない」が61.5%で最も高く、次いで「1度ある(26.3%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



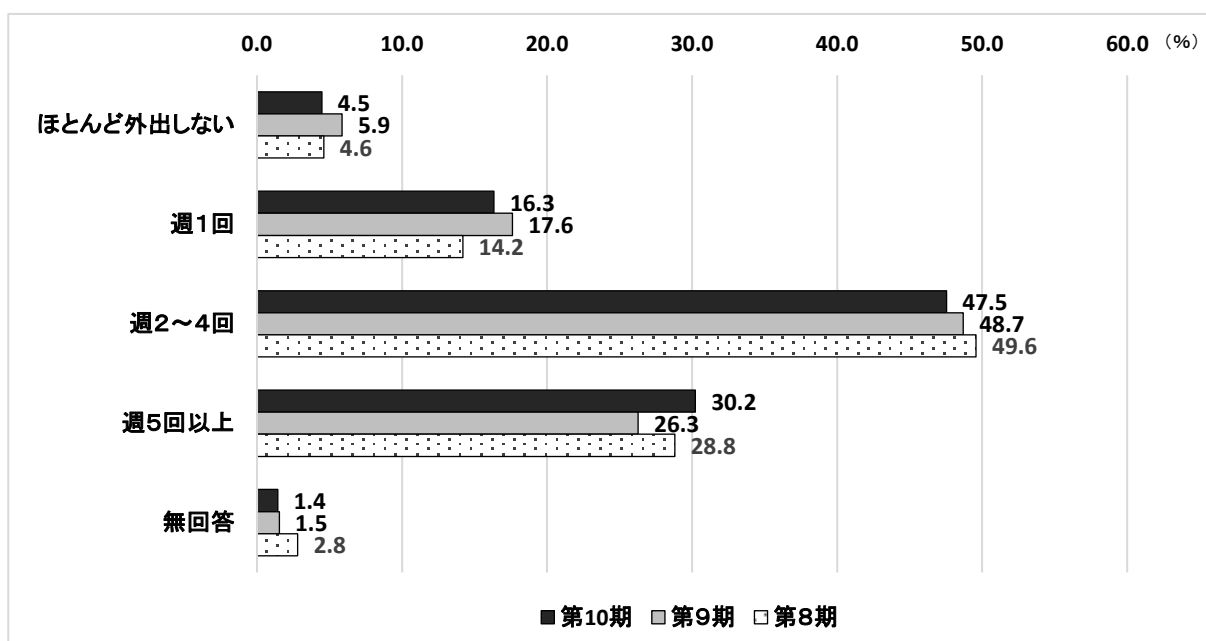
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

- ・「やや不安である」が44.0%で最も高く、次いで「あまり不安でない(27.2%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「やや不安である」が増加しています。



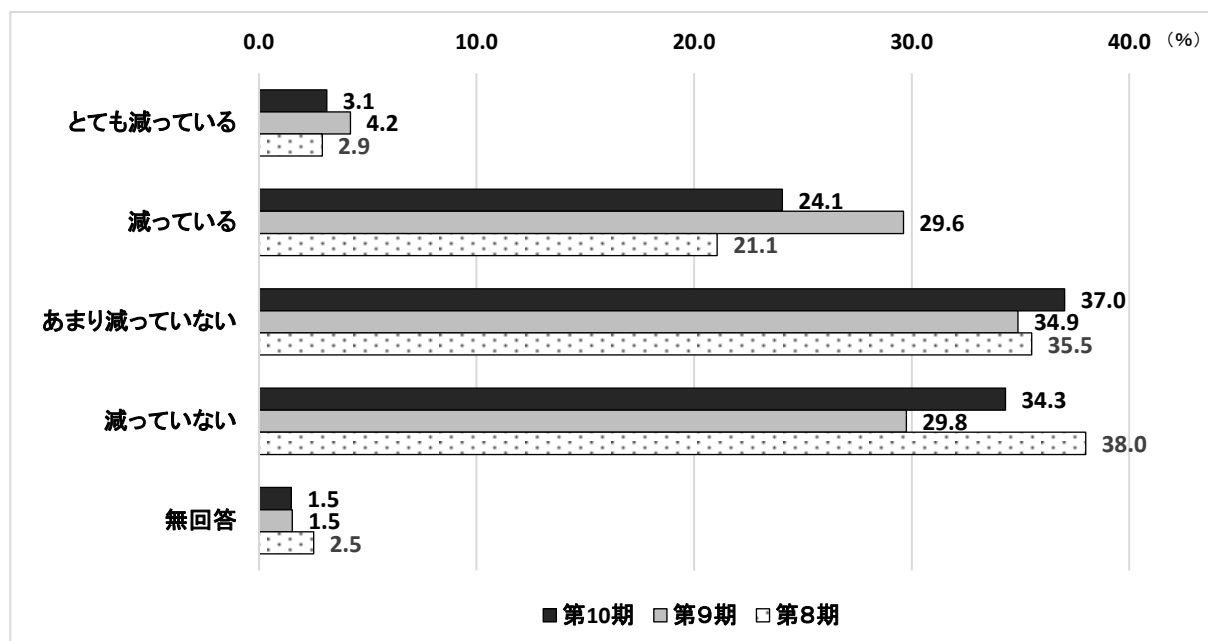
(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

- ・「週2～4回」が47.5%で最も高く、次いで「週5回以上(30.2%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



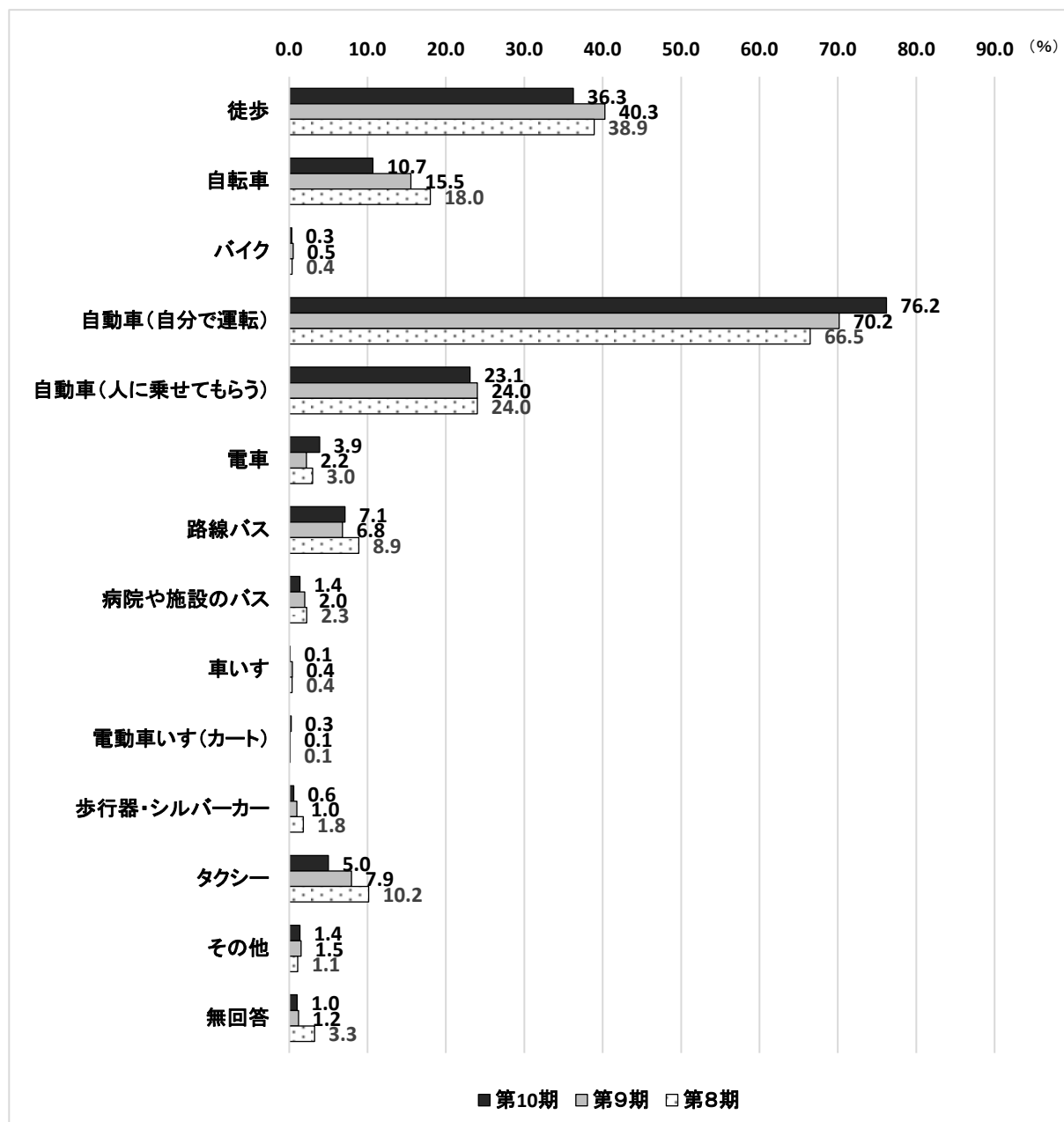
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

- ・「あまり減っていない」が37.0%で最も高く、次いで「減っていない(34.3%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「減っていない」が増加し、「減っている」が減少しています。



(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

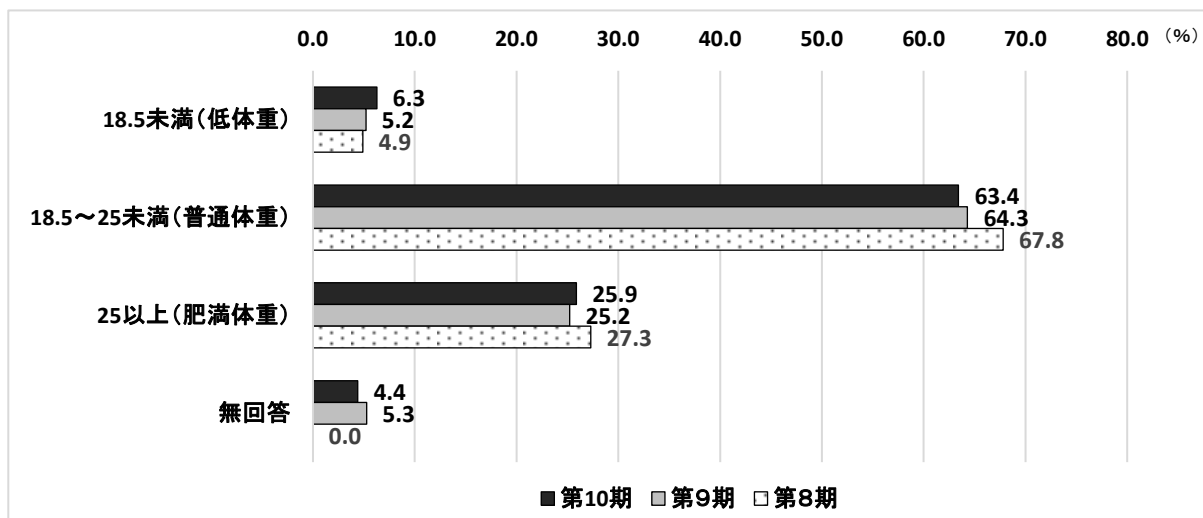
- ・「自動車（自分で運転）」が76.2%で最も高く、次いで「徒歩（36.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「自動車（自分で運転）」が増加し、「自転車／タクシー」が減少しています。



問3 食べることについて

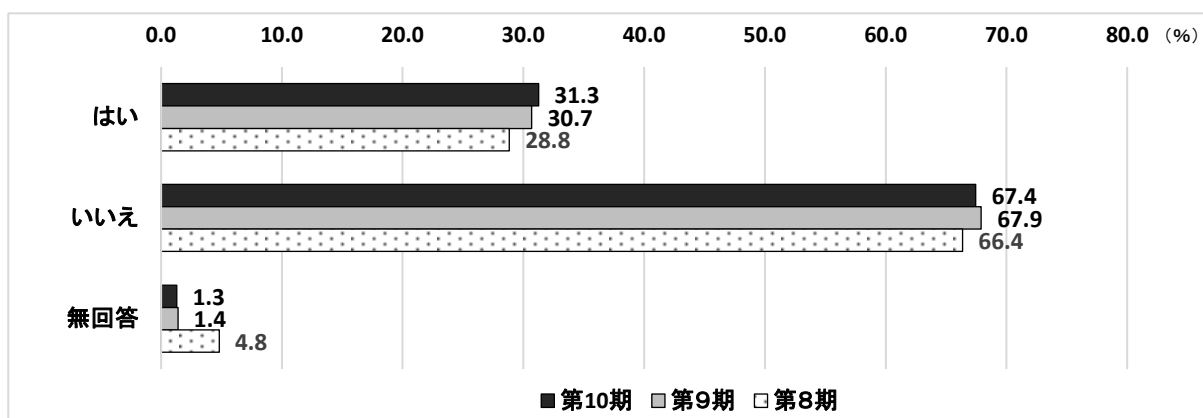
(1) 身長・体重を教えてください。

- ・「18.5～25 未満（普通体重）」が 63.4%で最も高く、次いで「25 以上（肥満体重）（25.9%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



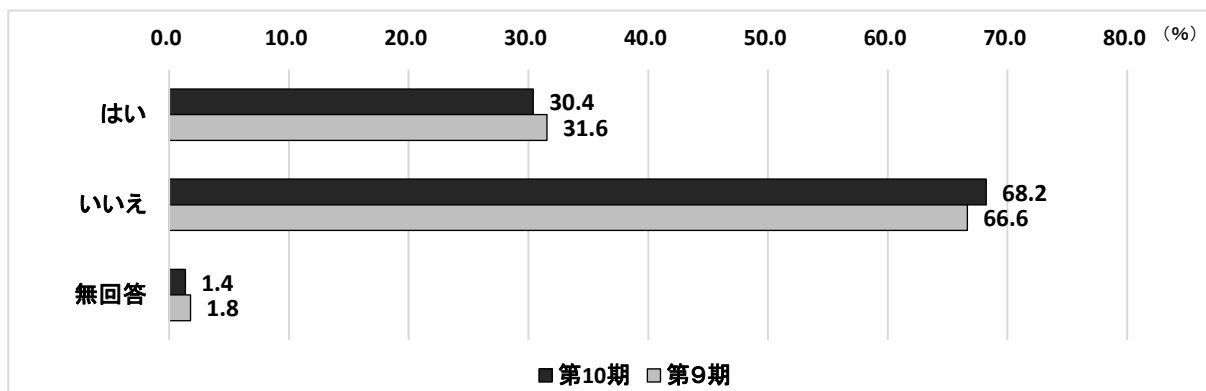
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が 67.4%で最も高く、次いで「はい（31.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



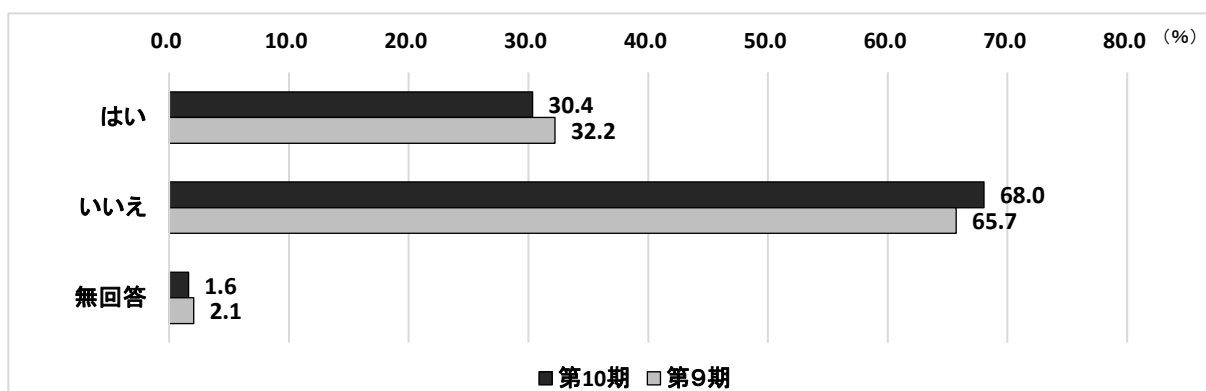
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が68.2%で最も高く、次いで「はい(30.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



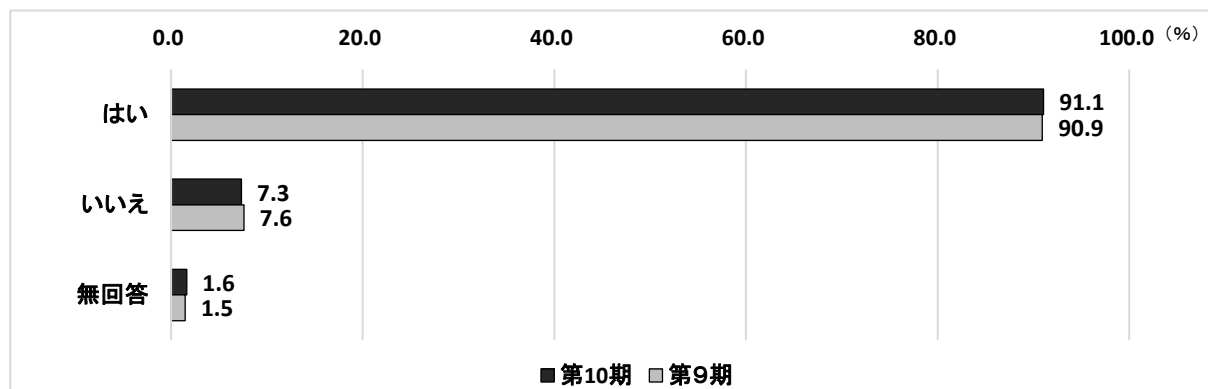
(4) 口の渇きが気になりますか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が68.0%で最も高く、次いで「はい(30.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



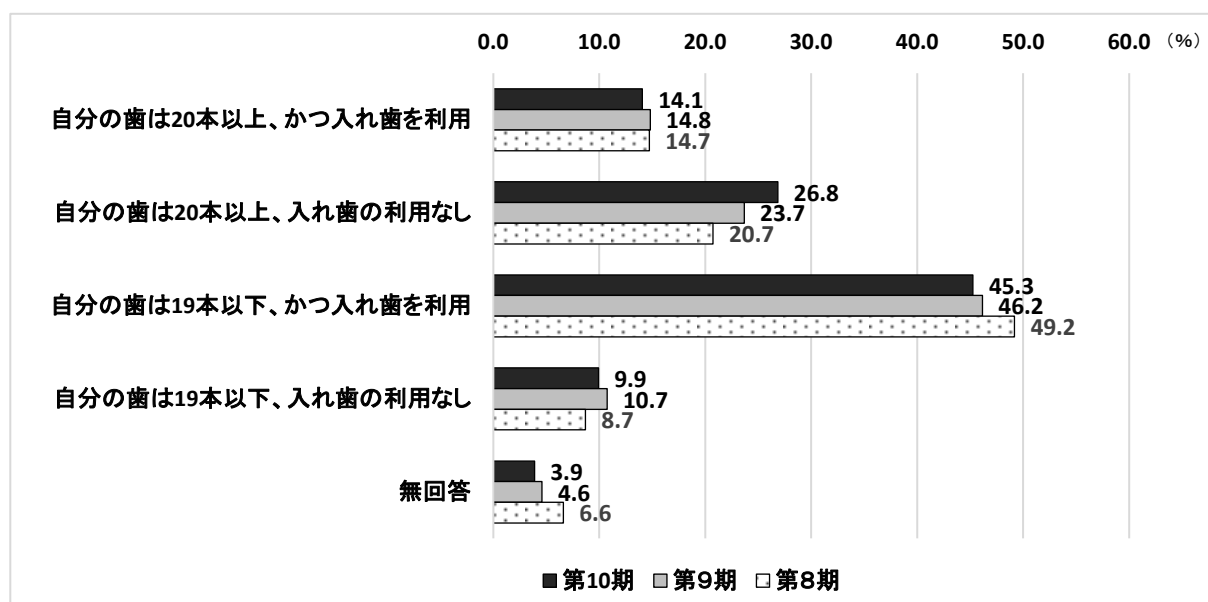
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○はひとつ）

- ・「はい」が91.1%で最も高く、次いで「いいえ（7.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



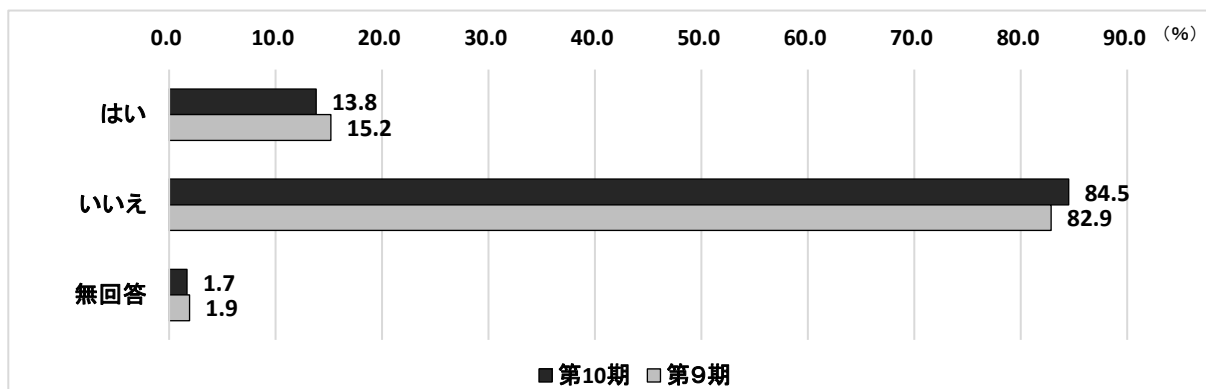
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（○はひとつ）

- ・「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が45.3%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし（26.8%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が増加しています。



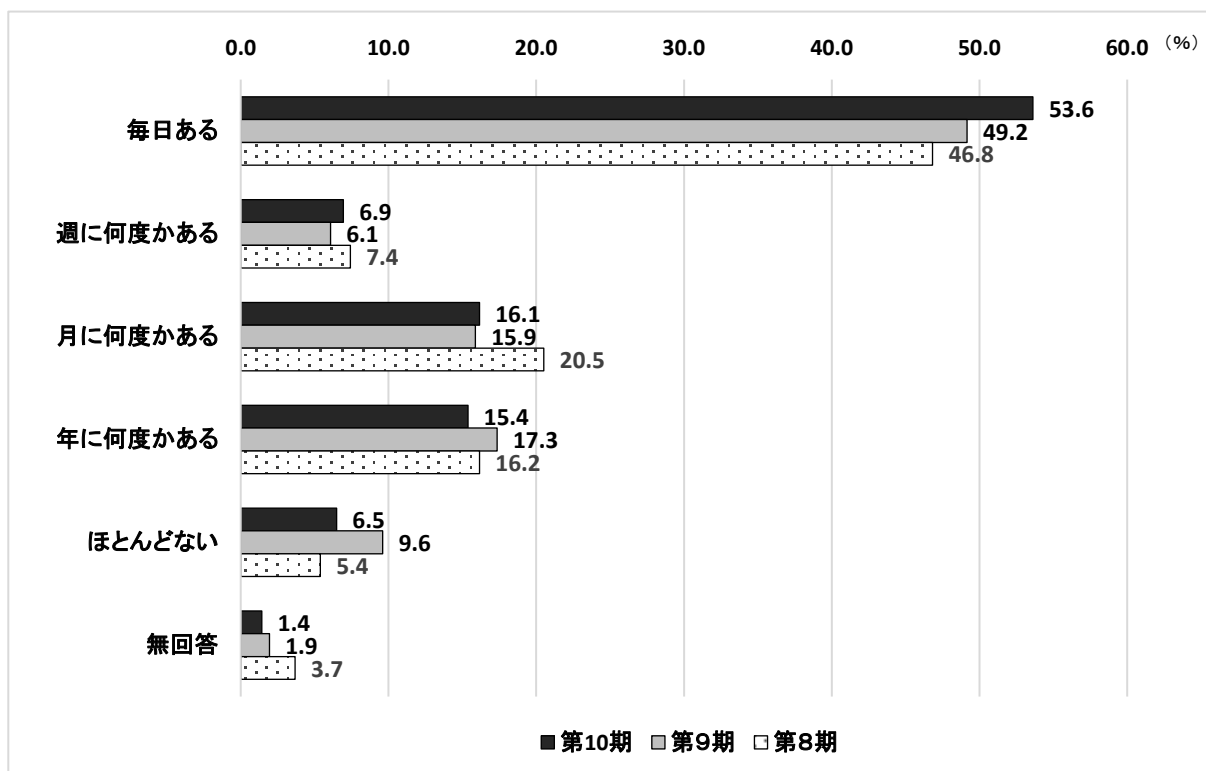
(7) 6 か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が84.5%で最も高く、次いで「はい(13.8%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○はひとつ)

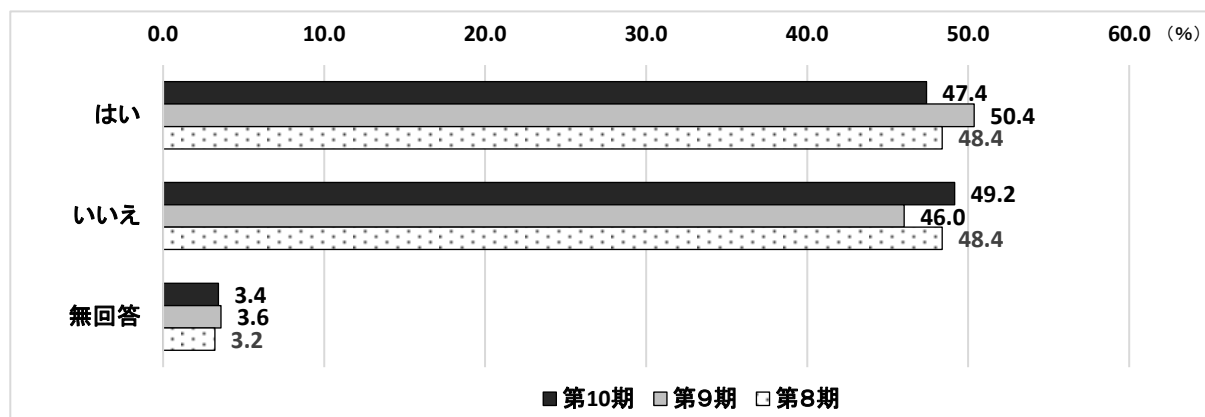
- ・「毎日ある」が53.6%で最も高く、次いで「月に何度かある(16.1%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「毎日ある」が増加しています。



問4 毎日の生活について

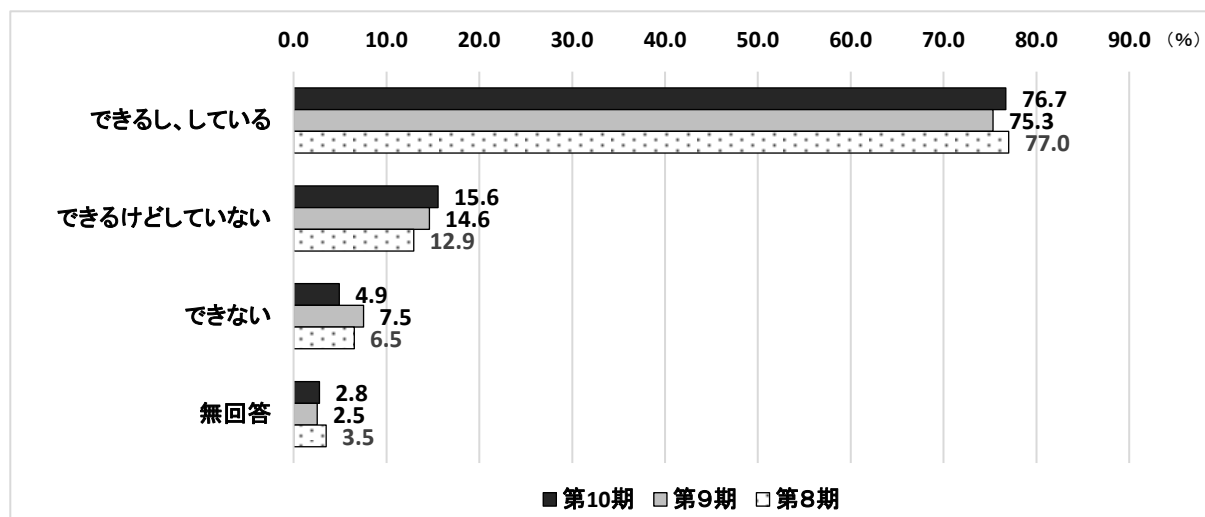
(1) 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が49.2%で最も高く、次いで「はい(47.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



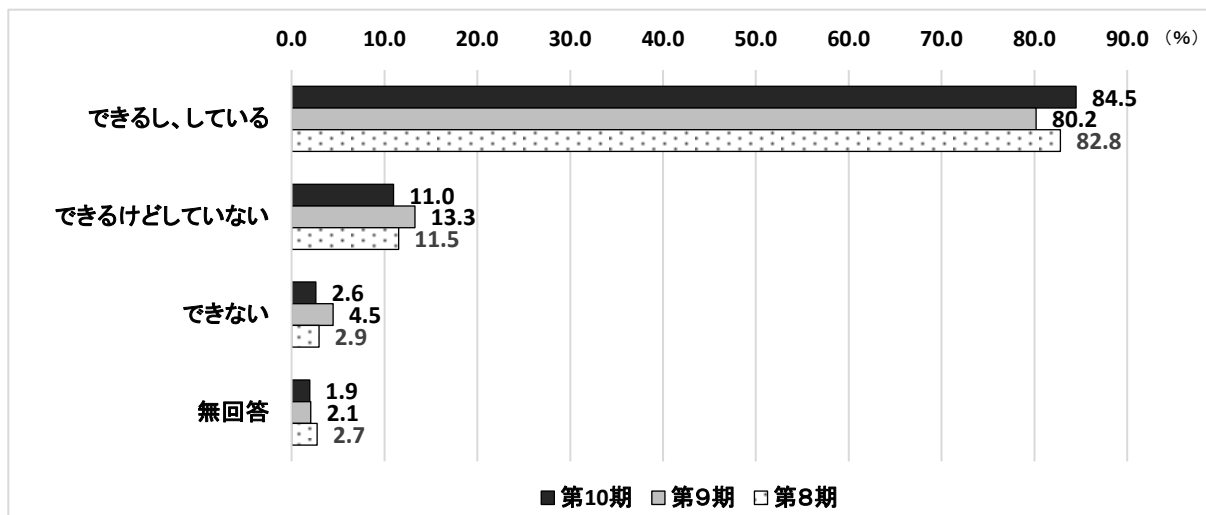
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が76.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない(15.6%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



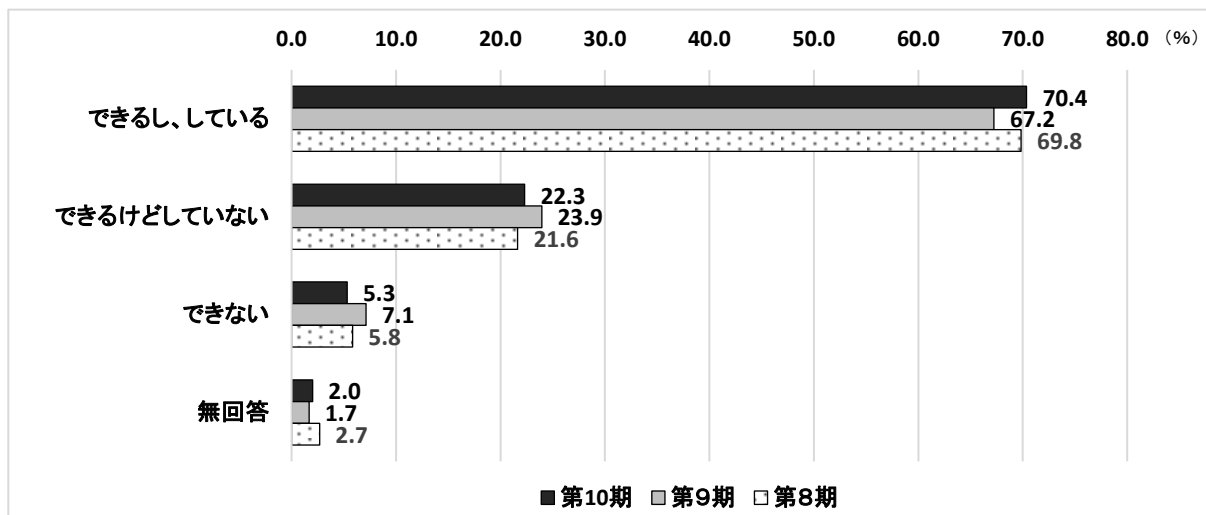
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が84.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない(11.0%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



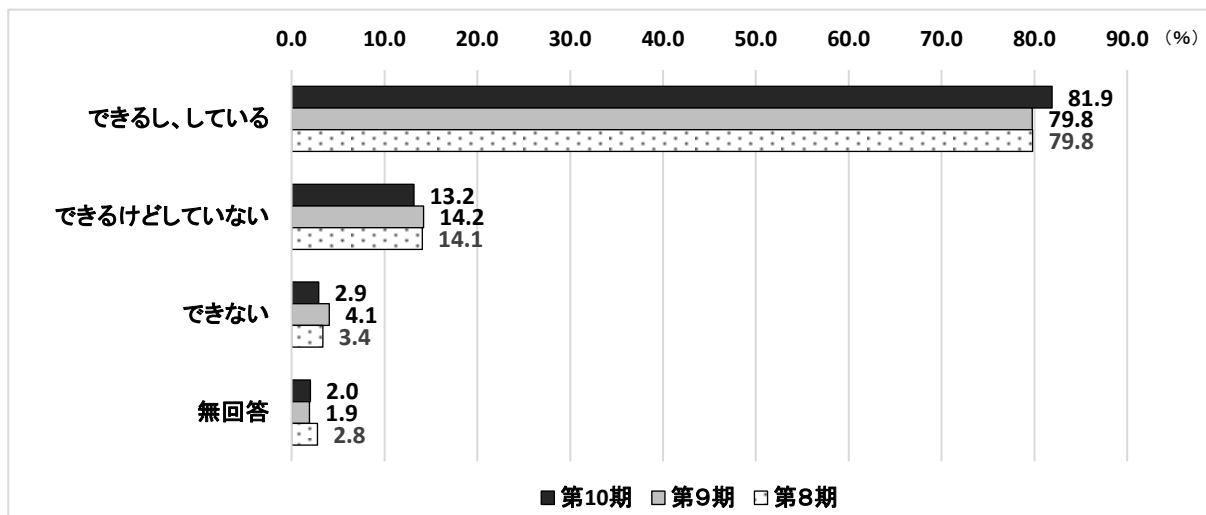
(4) 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が70.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない(22.3%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



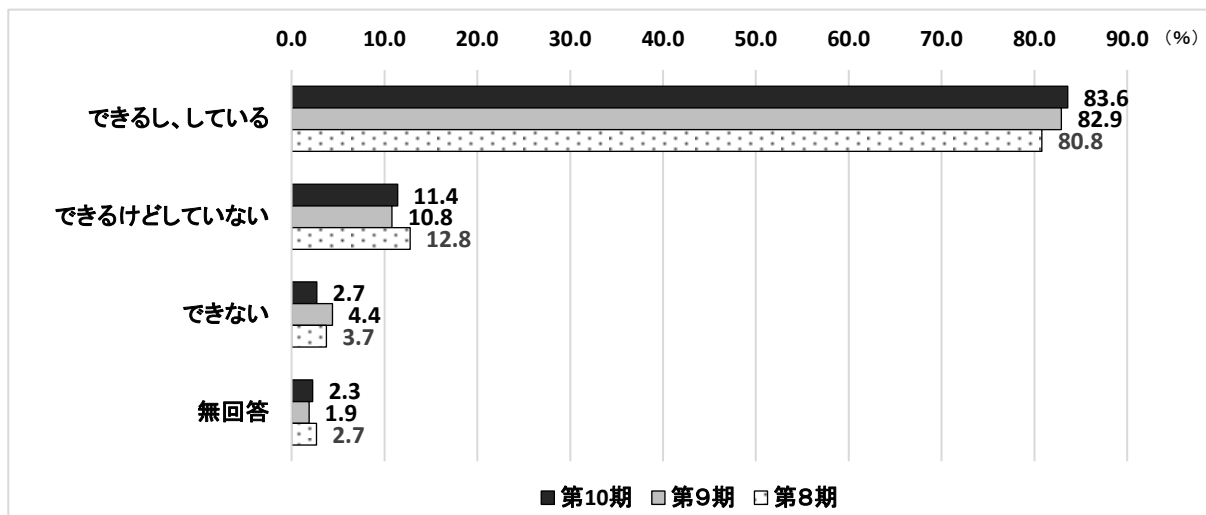
(5) 自分で請求書などの支払いをしていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が81.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない(13.2%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

- ・「できるし、している」が83.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない(11.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



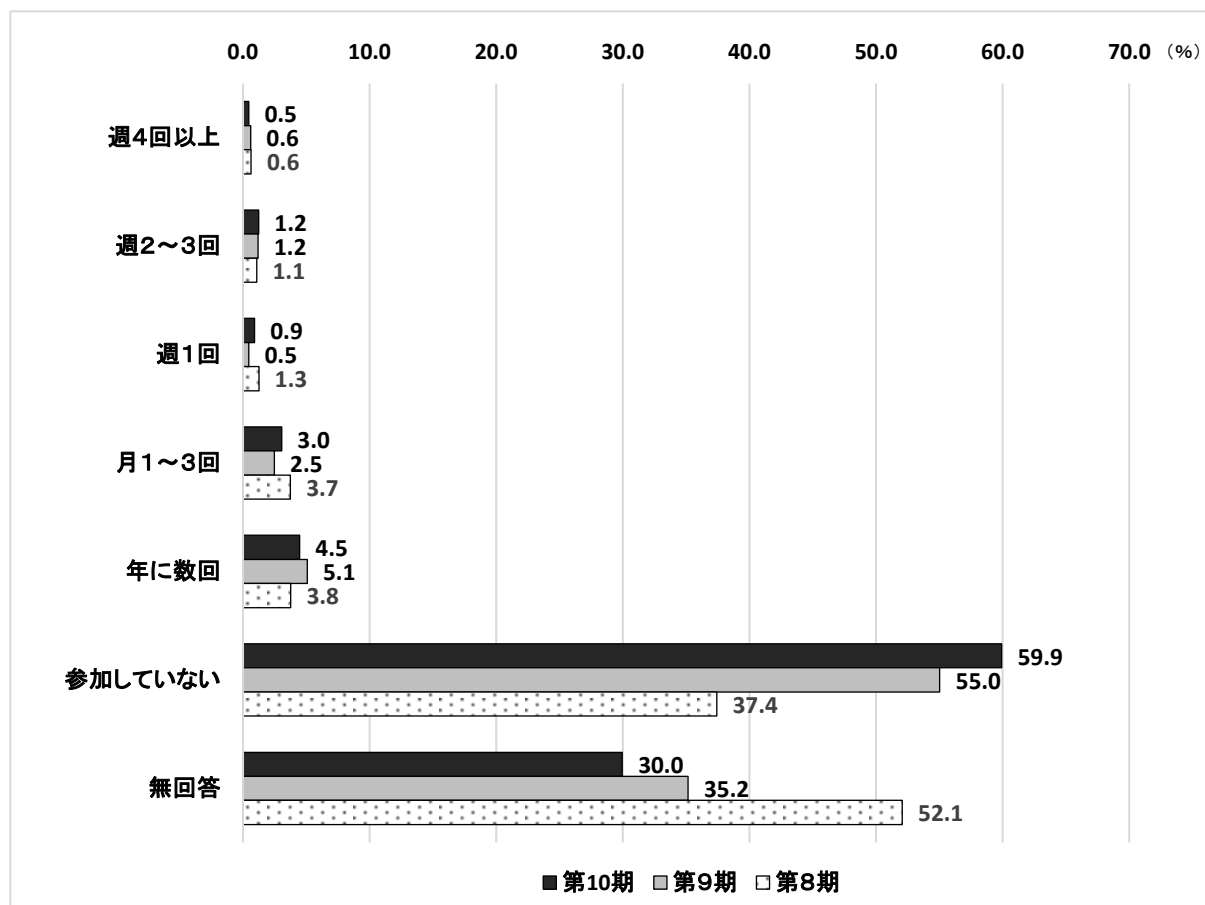
問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください（あてはまる数字に○）

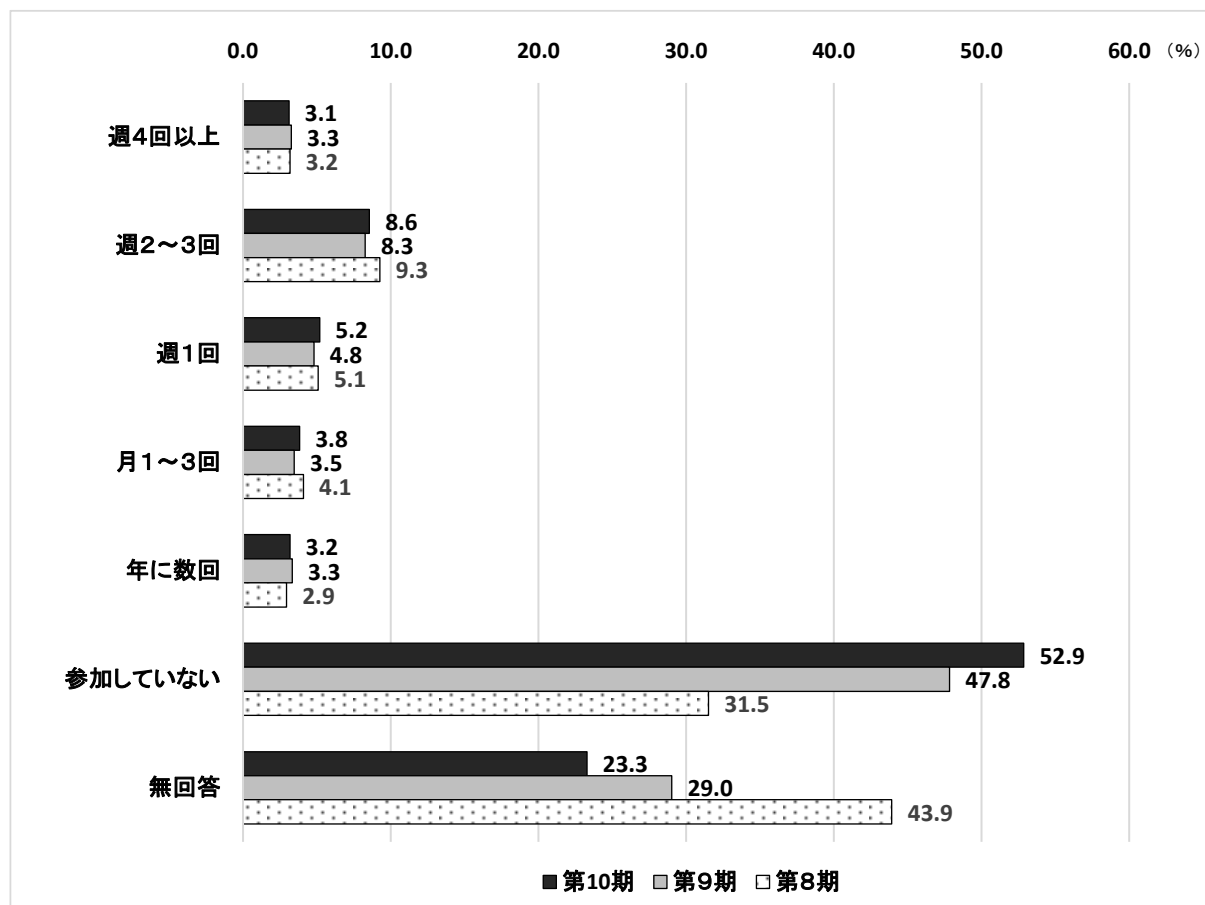
①ボランティアのグループ

- ・「参加していない」が59.9%で最も高く、次いで「年に数回（4.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



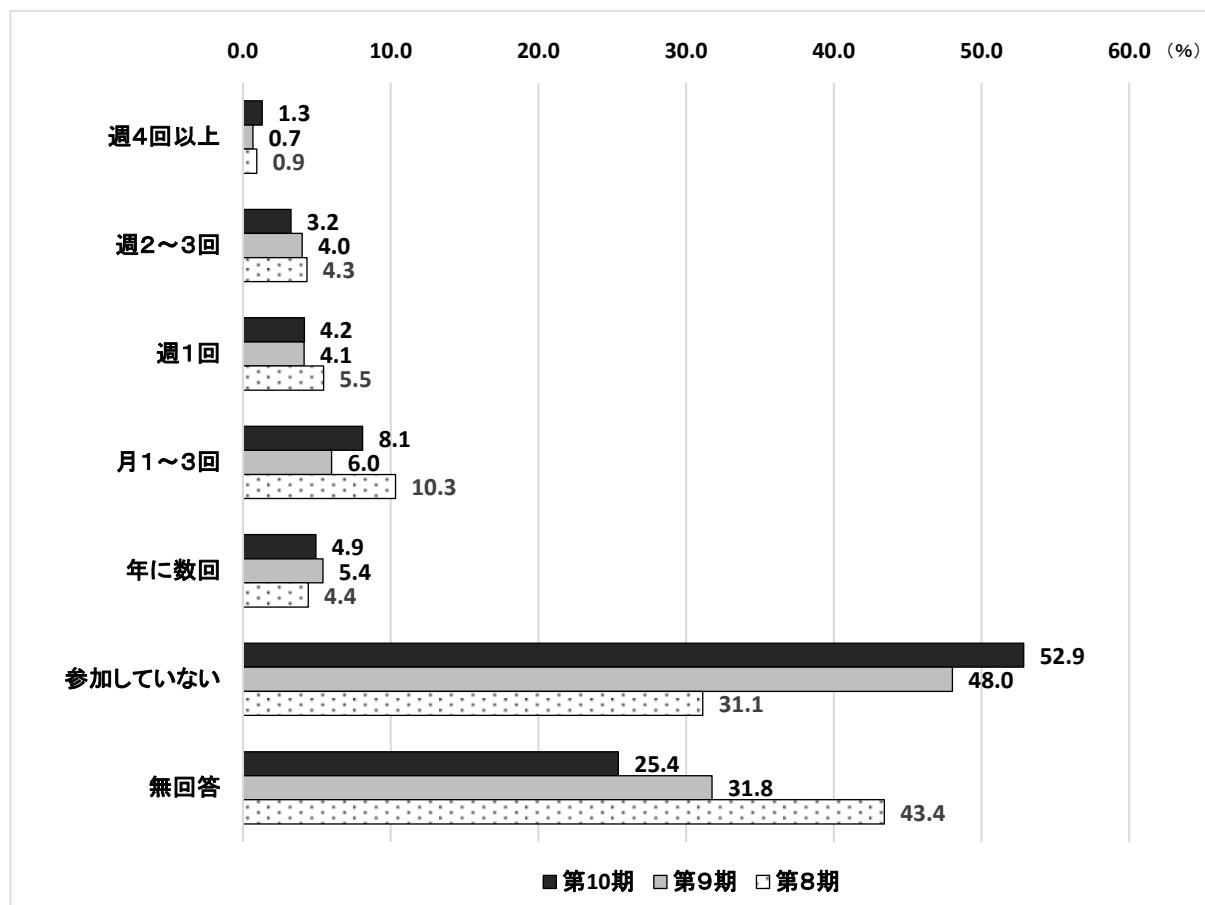
②スポーツ関係のグループやクラブ

- ・「参加していない」が52.9%で最も高く、次いで「週2～3回（8.6%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



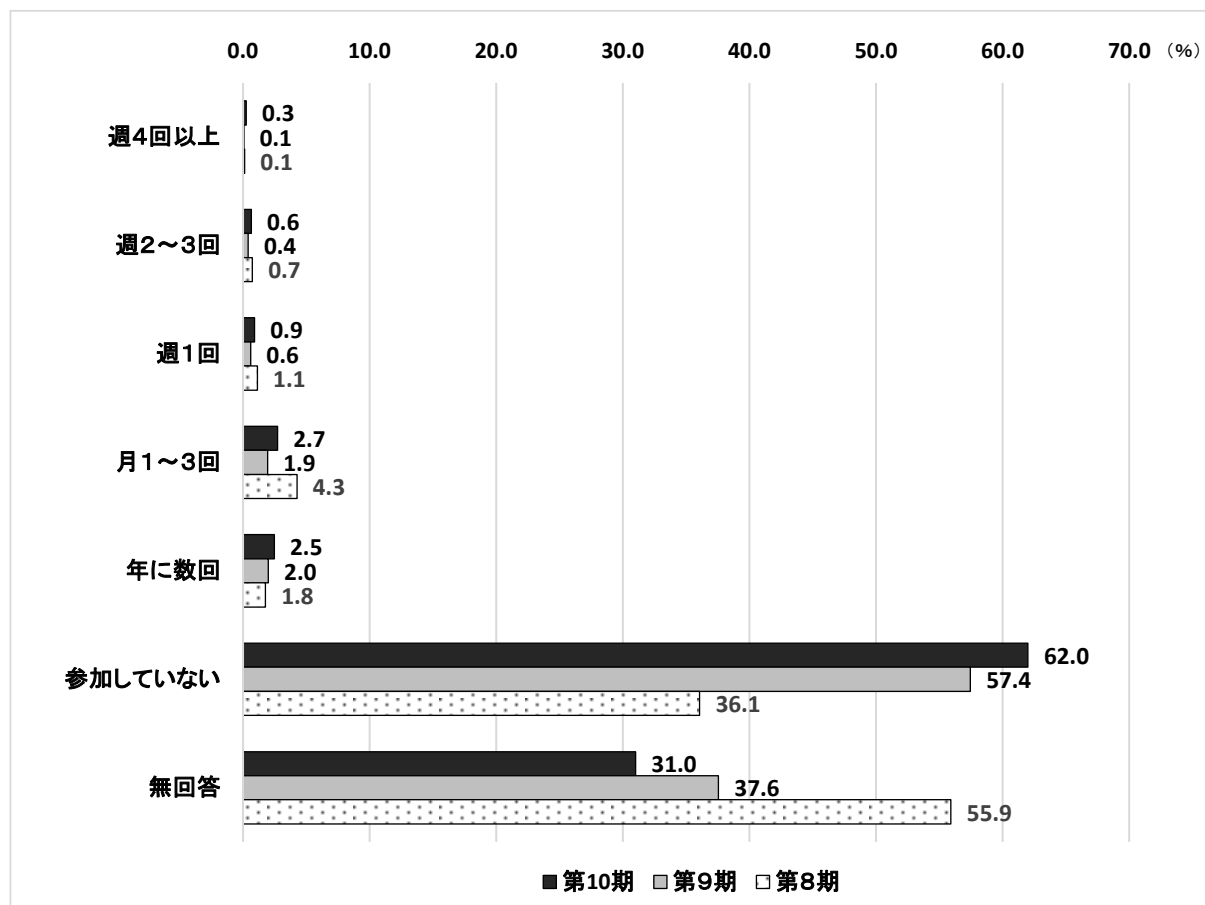
③趣味関係のグループ

- ・「参加していない」が52.9%で最も高く、次いで「月1～3回（8.1%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



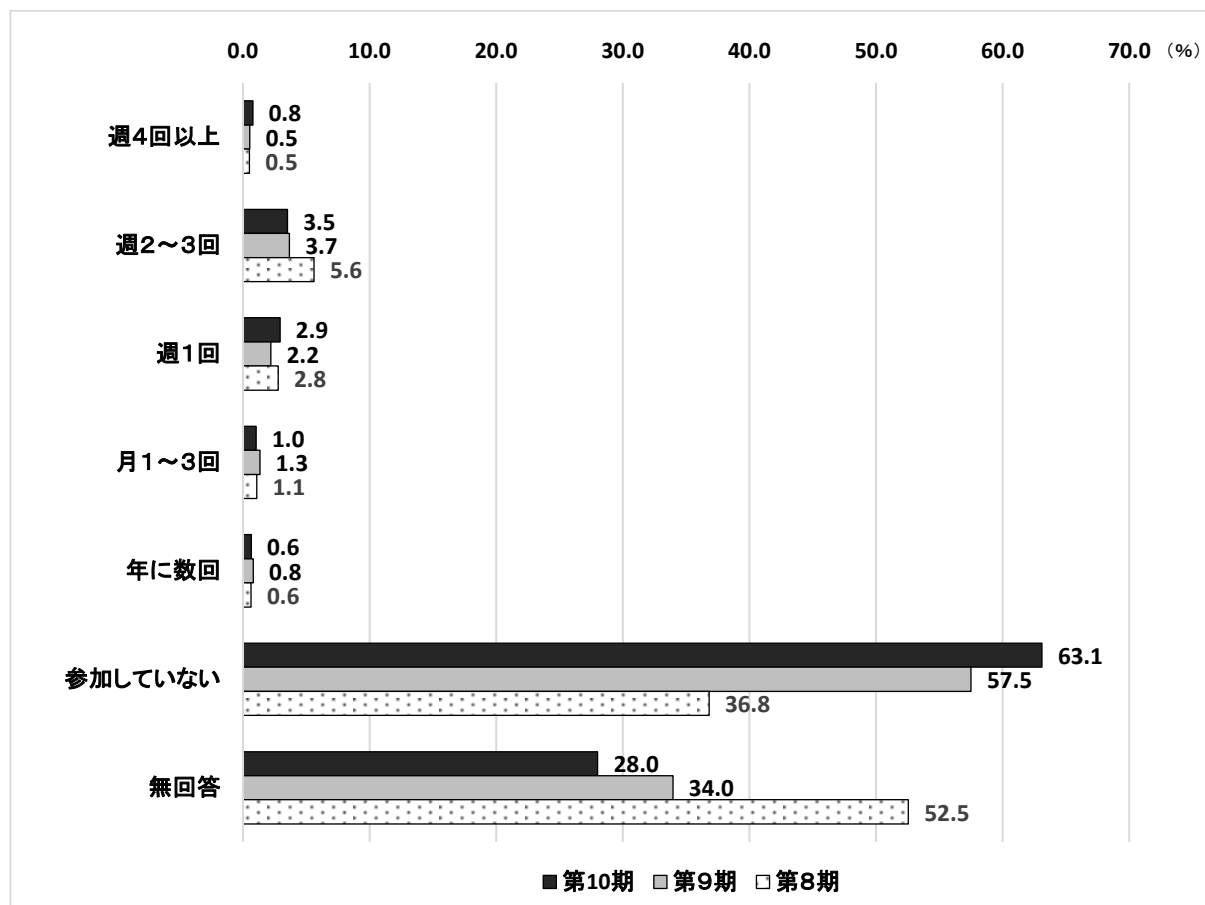
④学習・教養サークル

- ・「参加していない」が62.0%で最も高く、次いで「月1～3回（2.7%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



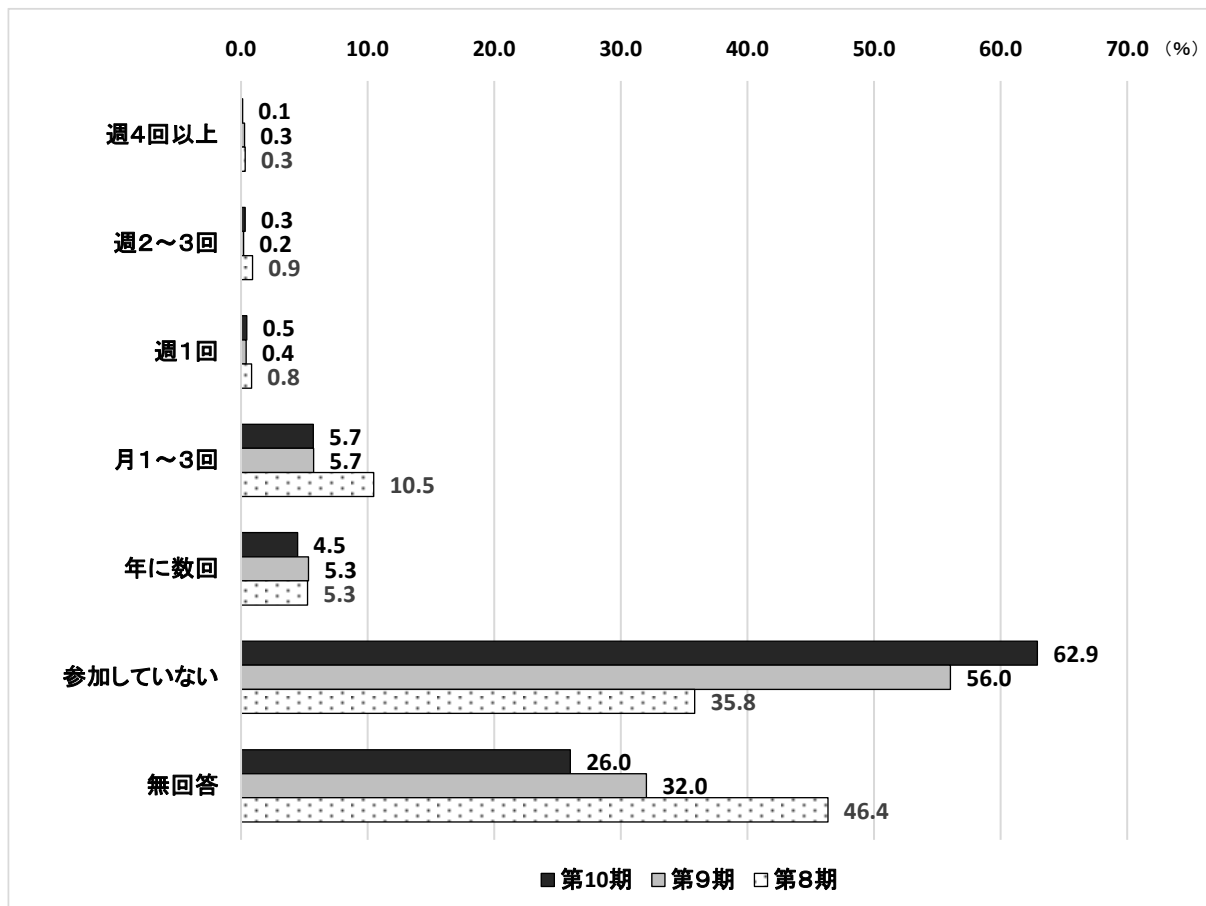
⑤ひまわり、運動塾などの介護予防のための集いの場

- ・「参加していない」が63.1%で最も高く、次いで「週2～3回（3.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



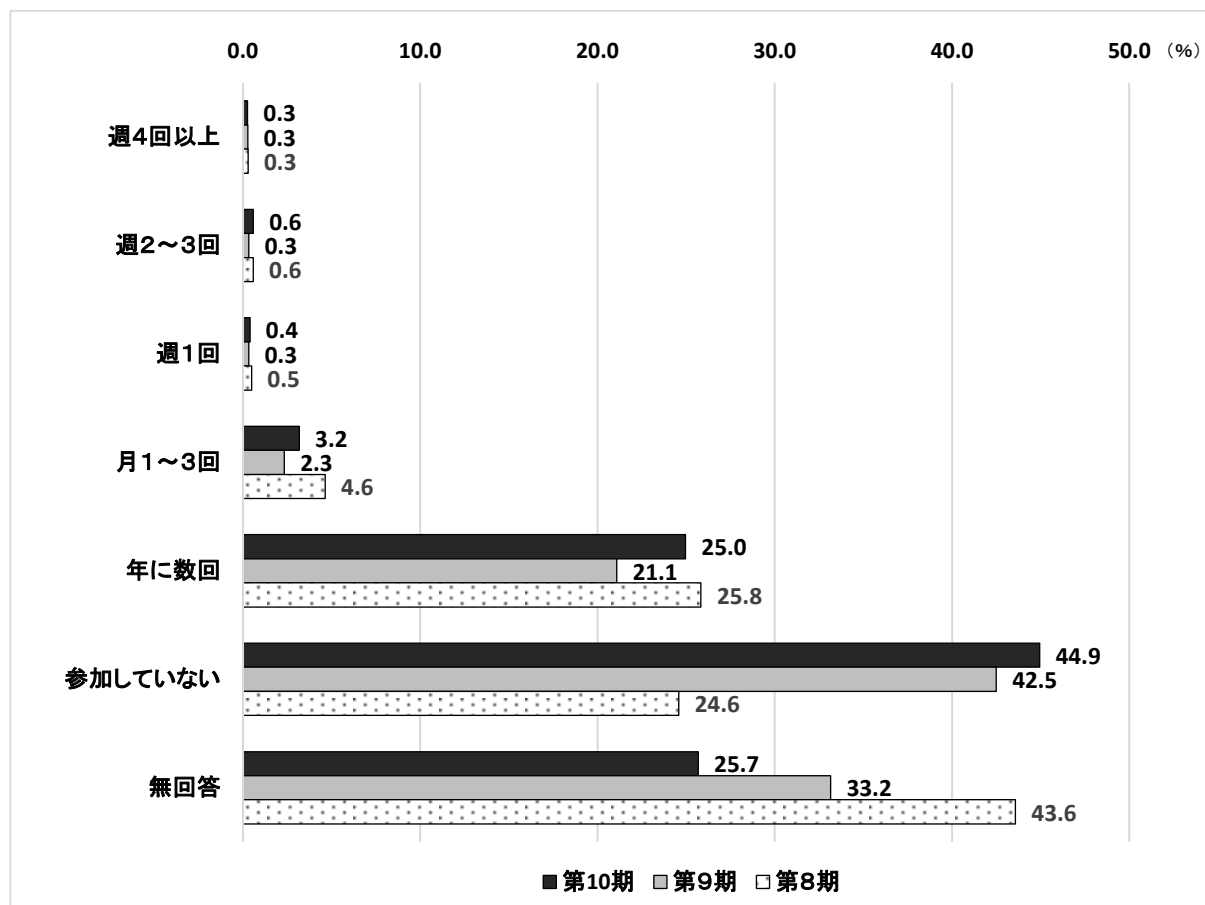
⑥老人クラブ

- ・「参加していない」が62.9%で最も高く、次いで「月1～3回（5.7%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



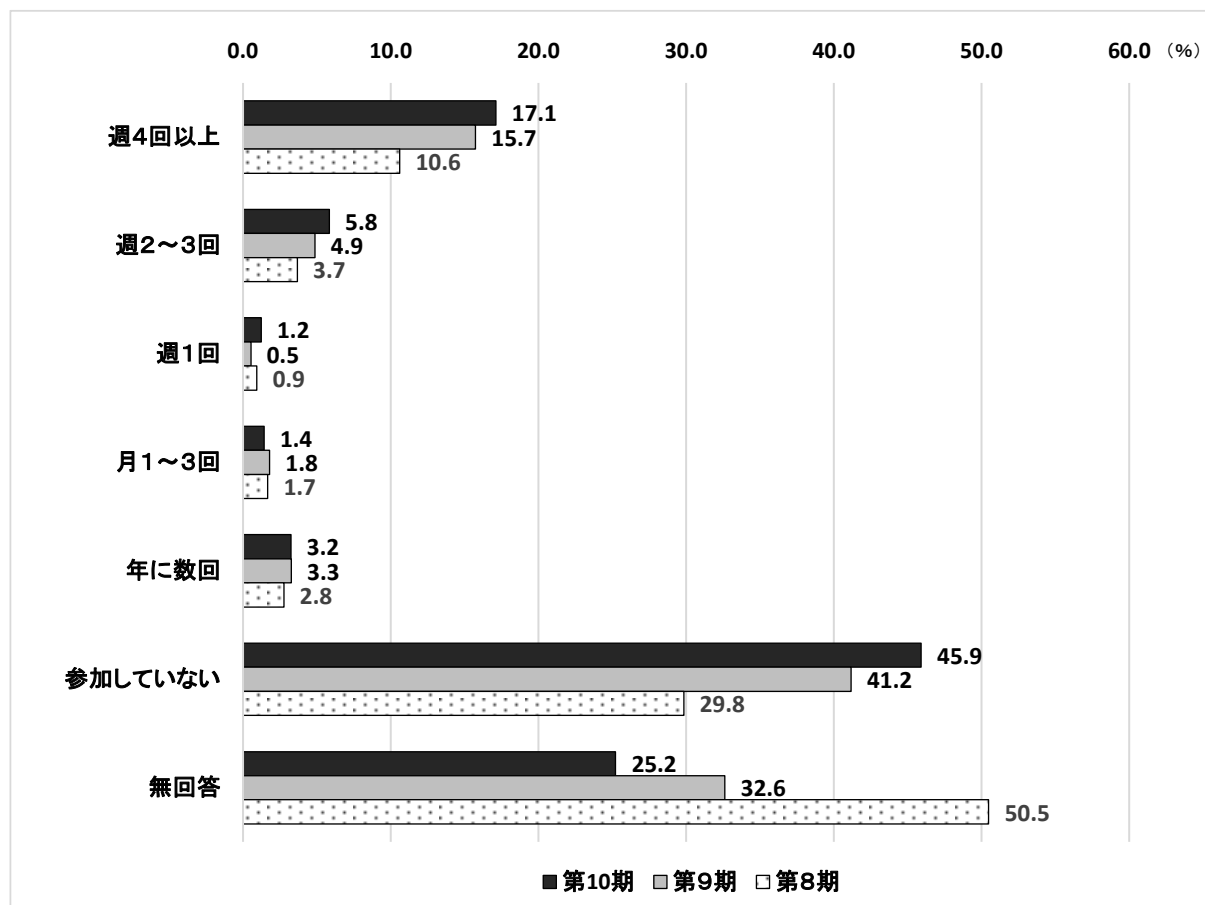
⑦町内会・自治会

- ・「参加していない」が44.9%で最も高く、次いで「年に数回（25.0%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



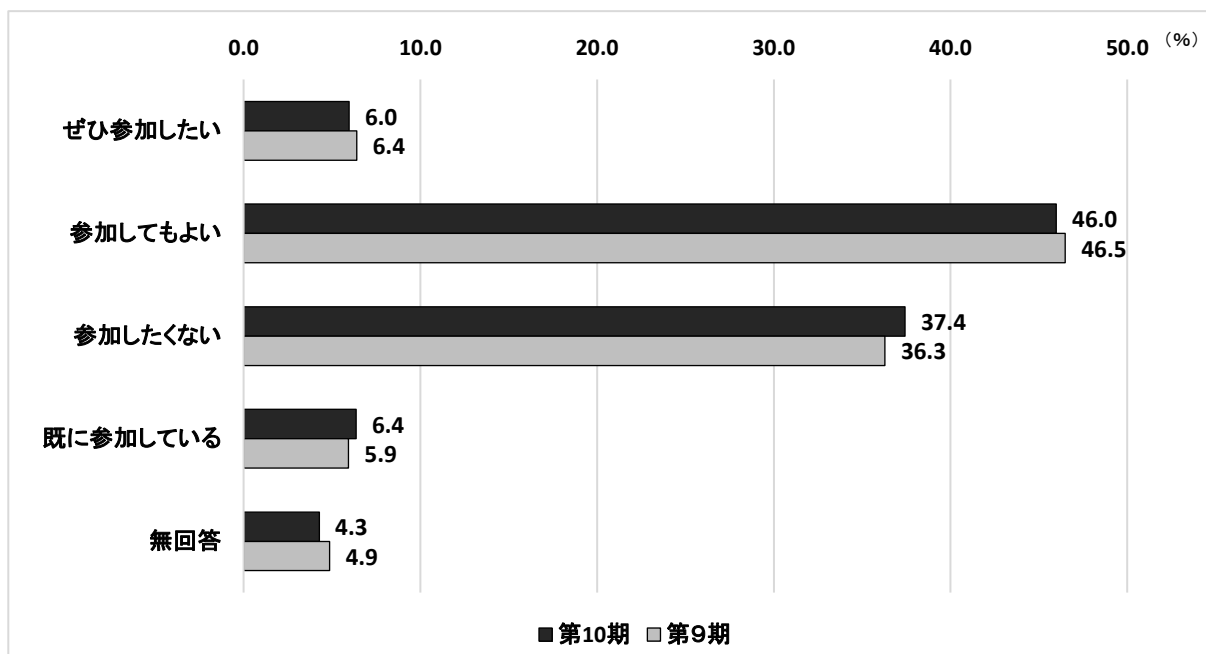
⑧収入のある仕事

- ・「参加していない」が45.9%で最も高く、次いで「週4回以上（17.1%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「参加していない」が増加しています。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

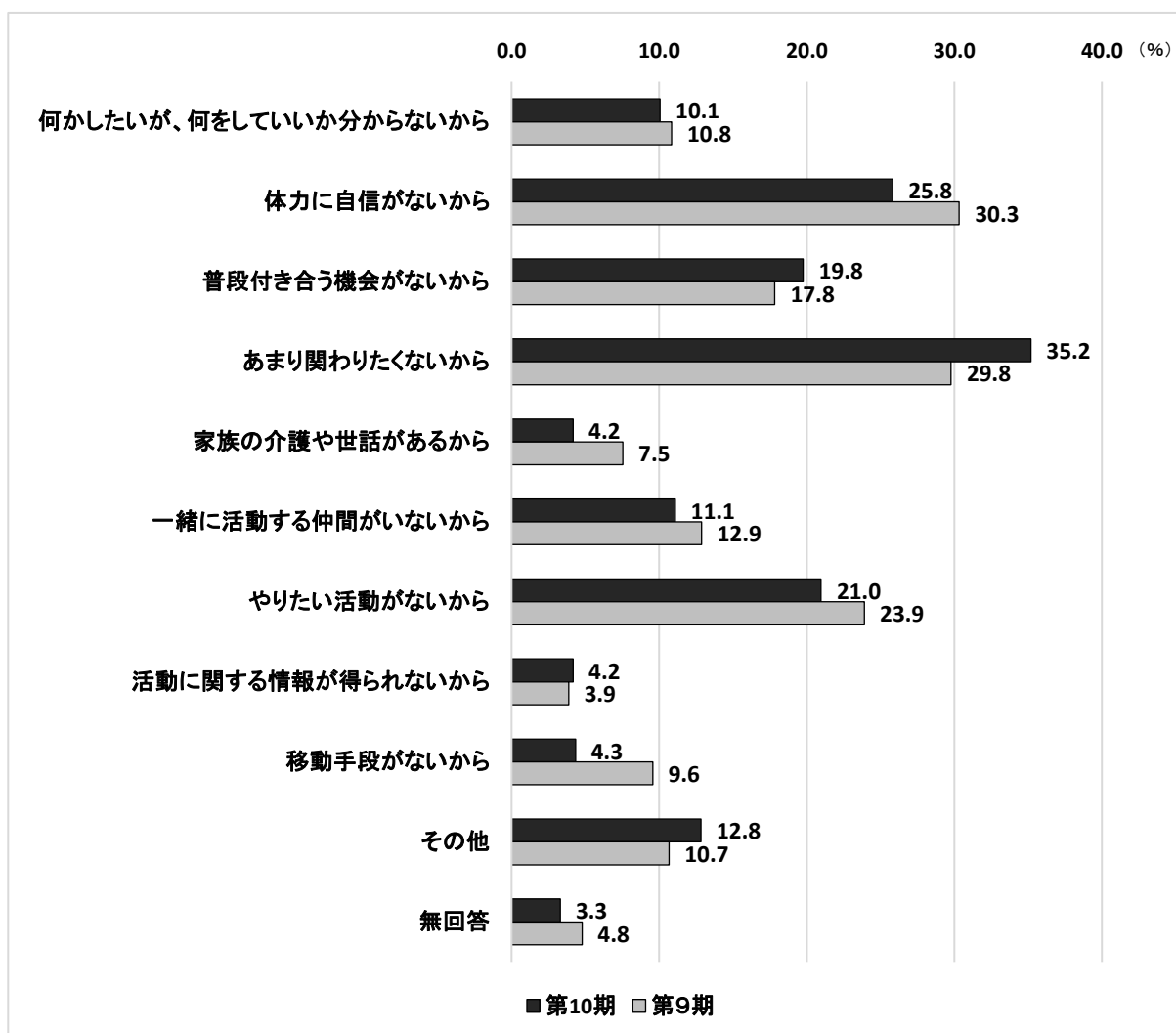
- ・「参加してもよい」が46.0%で最も高く、次いで「参加したくない(37.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



【(2) で、「3. 参加したくない」と回答した方にお聞きします。】 n = 577

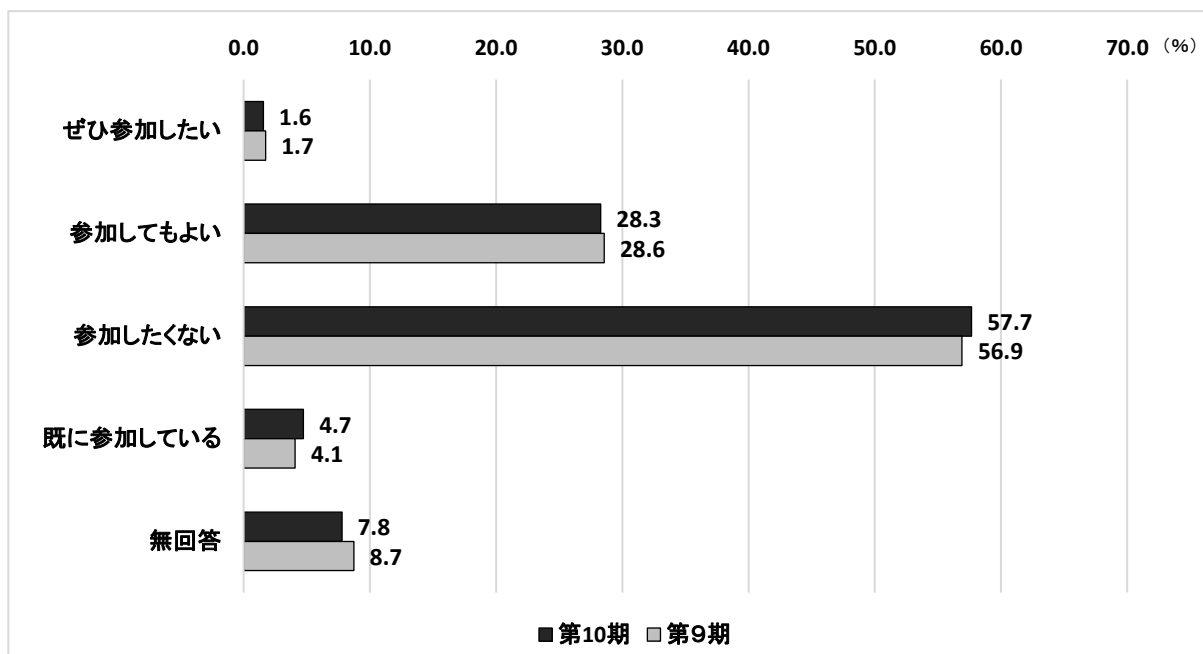
(2-1) 参加者として参加したくない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「あまり関わりたくないから」が 35.2%で最も高く、次いで「体力に自信がないから (25.8%) 」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「あまり関わりたくないから」が増加し、「体力に自信がないから」が減少しています。



（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○はひとつ）

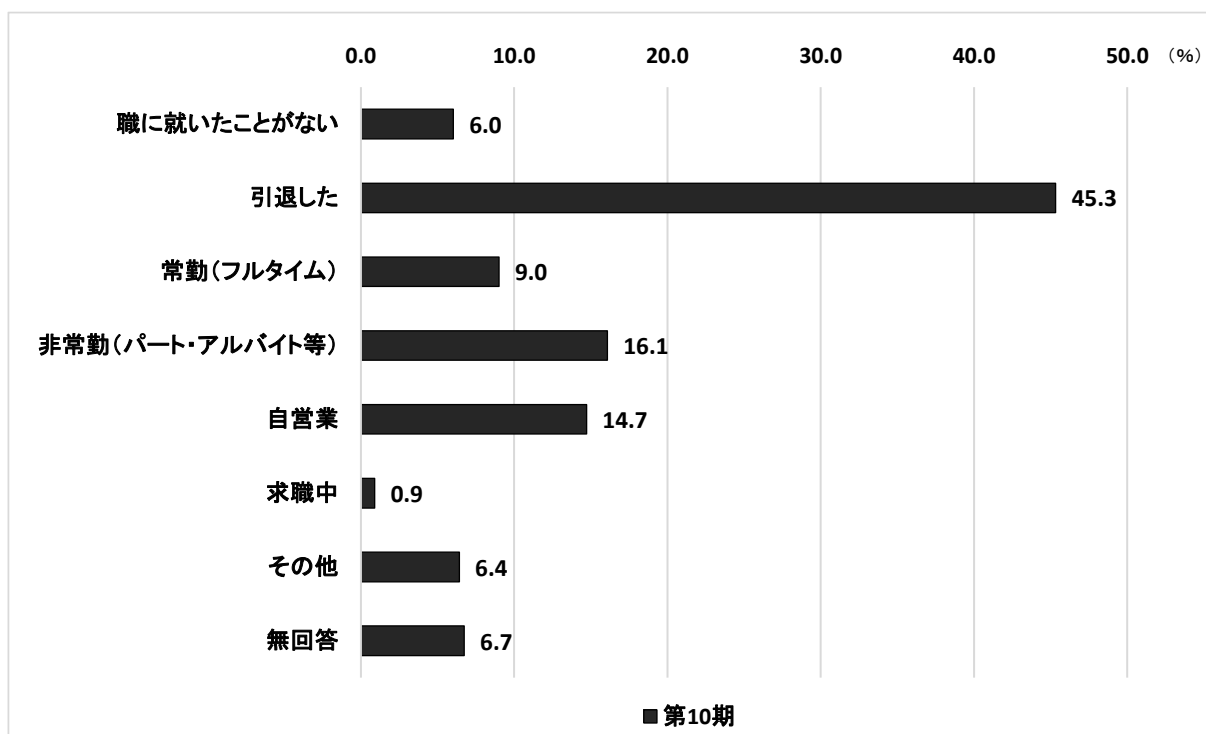
- ・「参加したくない」が57.7%で最も高く、次いで「参加してもよい（28.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



問6 就労について

（１）現在のあなたの就労状態はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

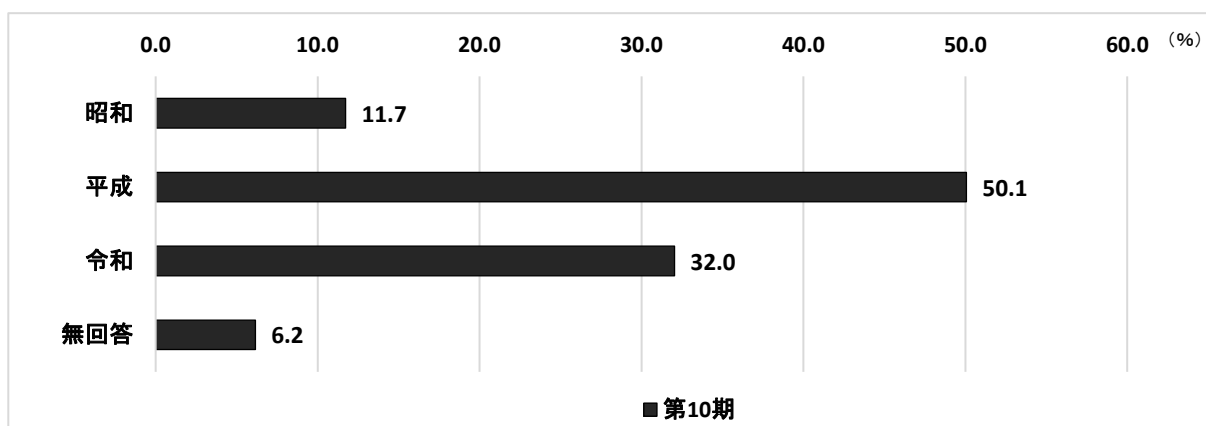
- ・「引退した」が45.3%で最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）（16.1%）」と続いています。



【（１）で、「２．引退した」と回答した方にお聞きします。】 n = 699

（２）あなたはいつ引退しましたか。

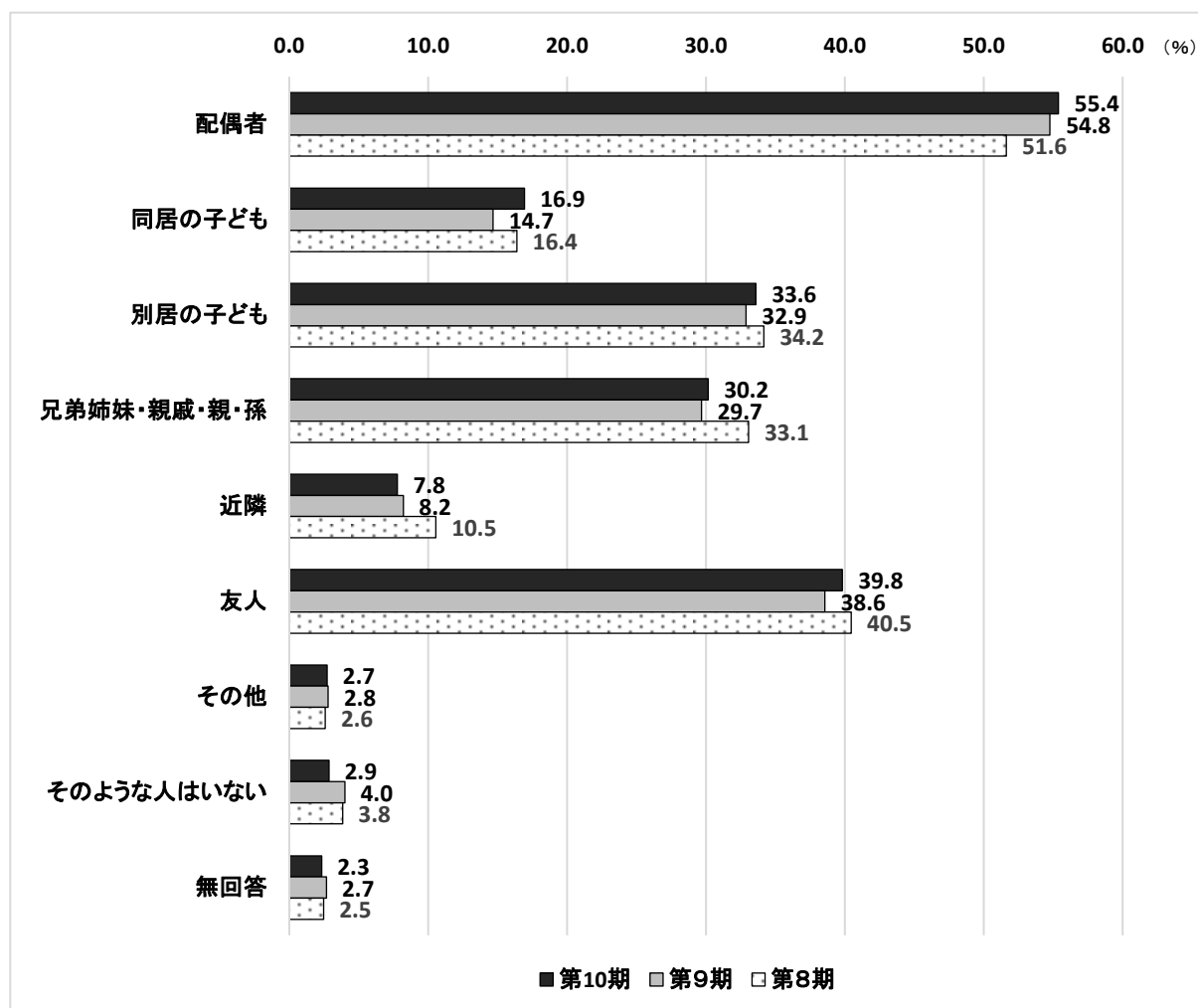
- ・「平成」が50.1%で最も高く、次いで「令和（32.0%）」と続いています。



問7 たすけあいについて

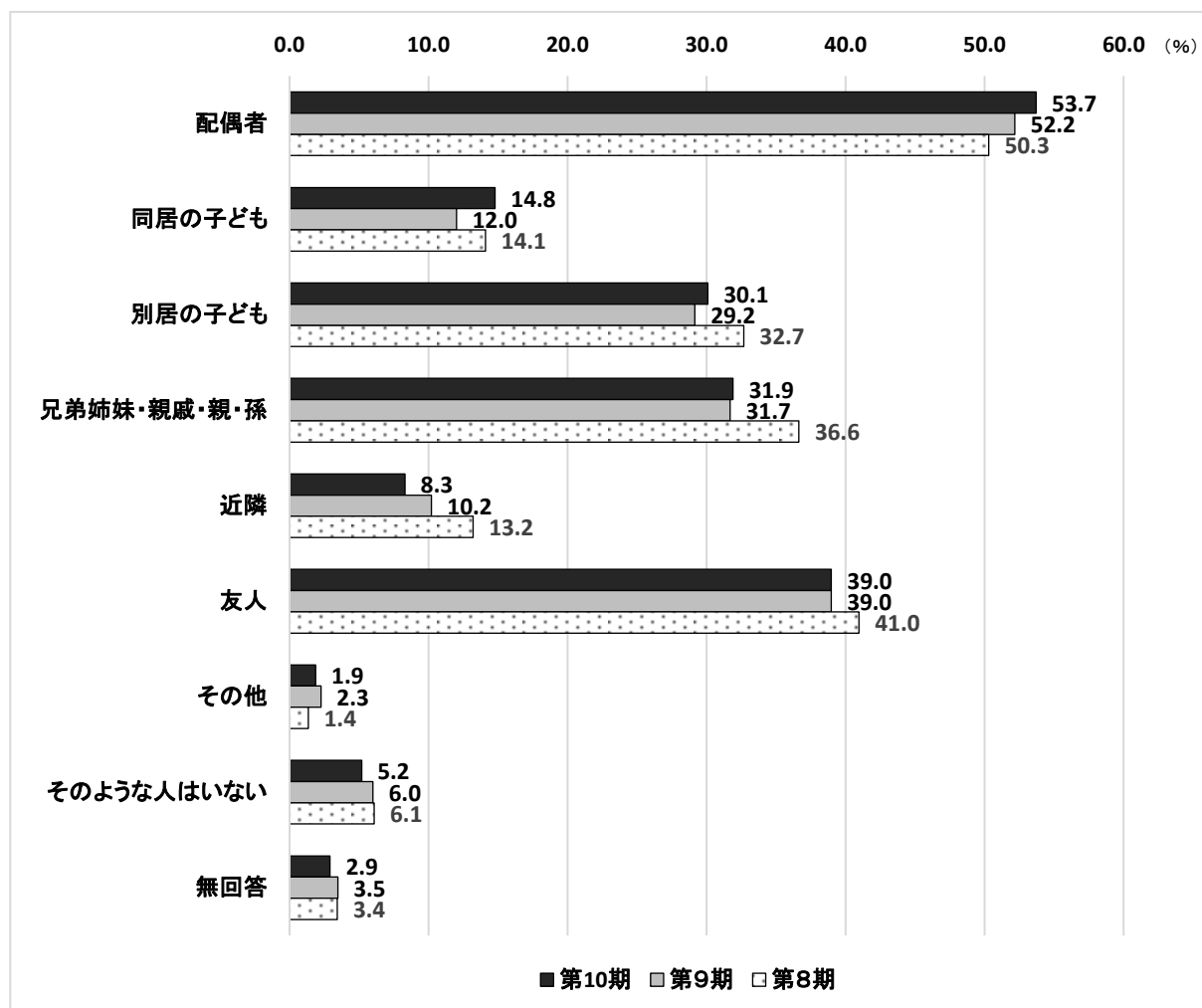
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「配偶者」が55.4%で最も高く、次いで「友人(39.8%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

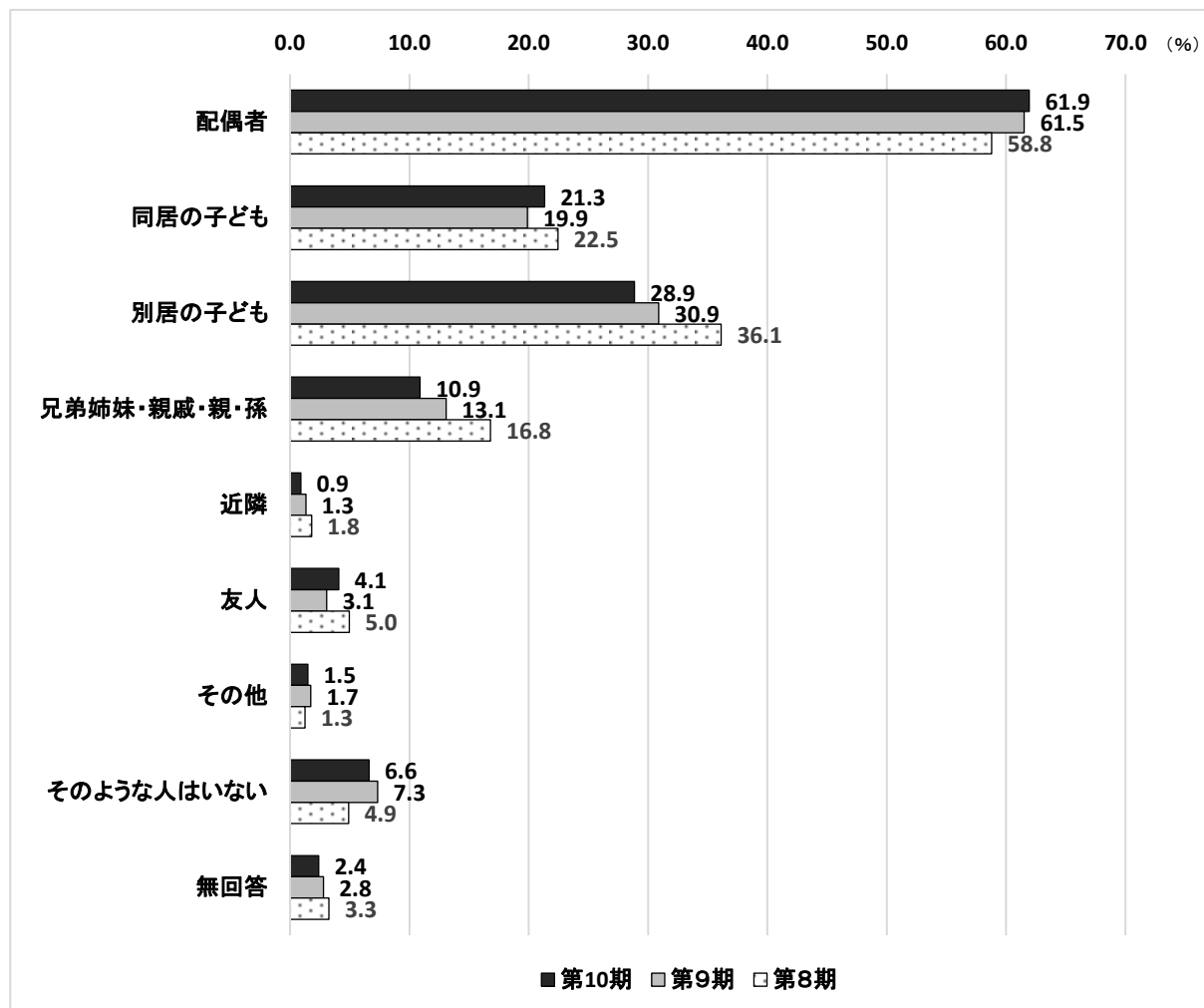
- ・「配偶者」が53.7%で最も高く、次いで「友人（39.0%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。

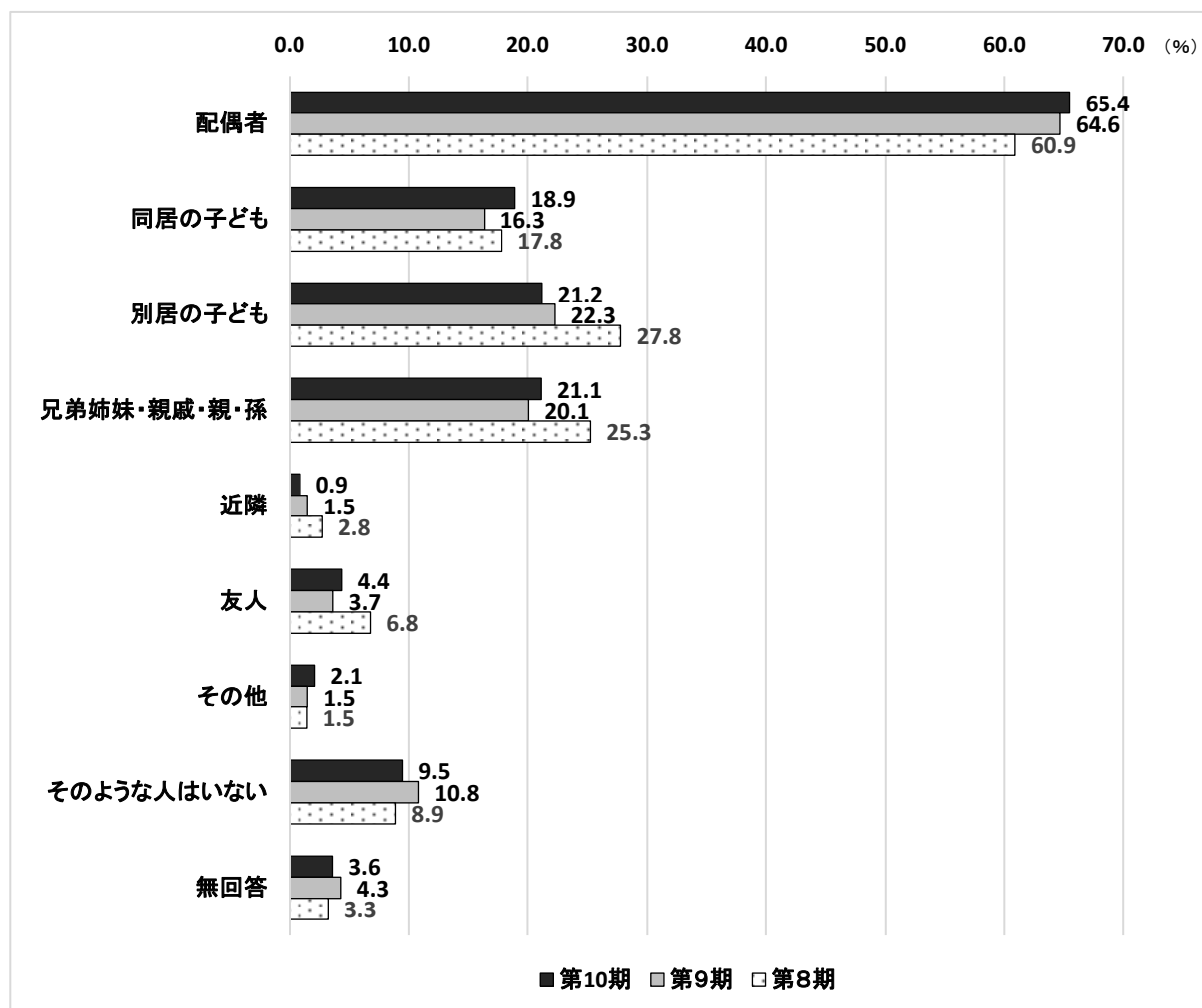
(あてはまるものすべてに○)

- ・「配偶者」が61.9%で最も高く、次いで「別居の子ども(28.9%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

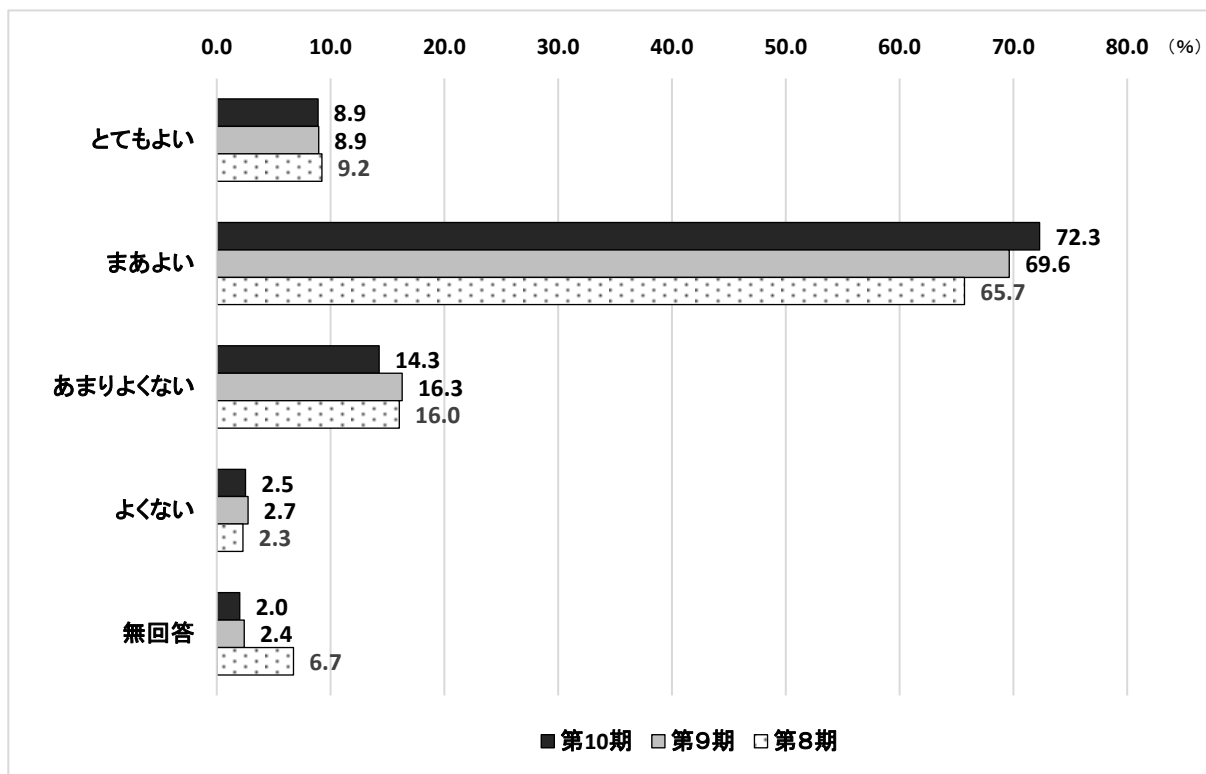
- ・「配偶者」が65.4%で最も高く、次いで「別居の子ども(21.2%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



問 8 健康について

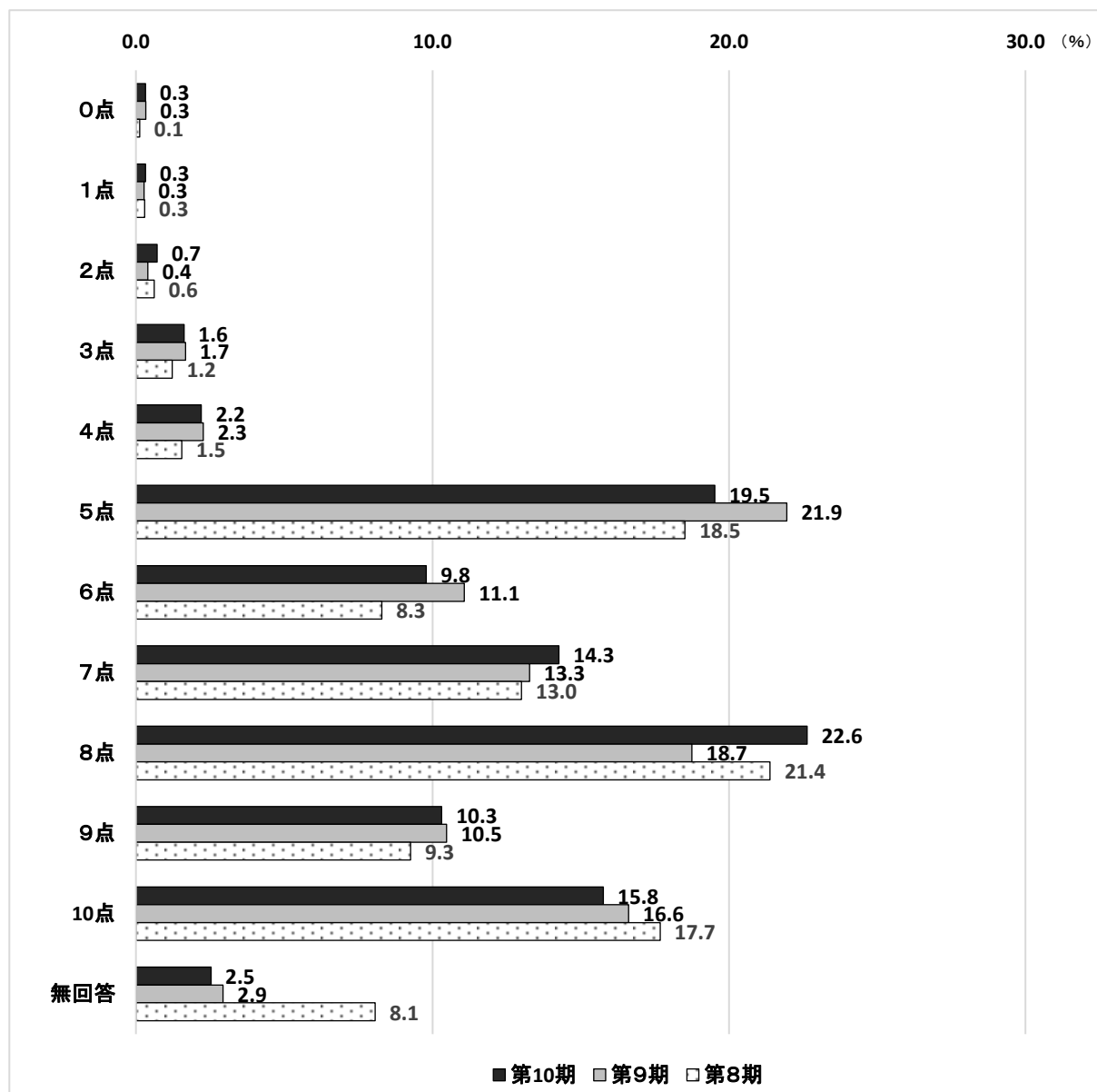
(1) あなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

- ・「まあよい」が72.3%で最も高く、次いで「あまりよくない(14.3%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



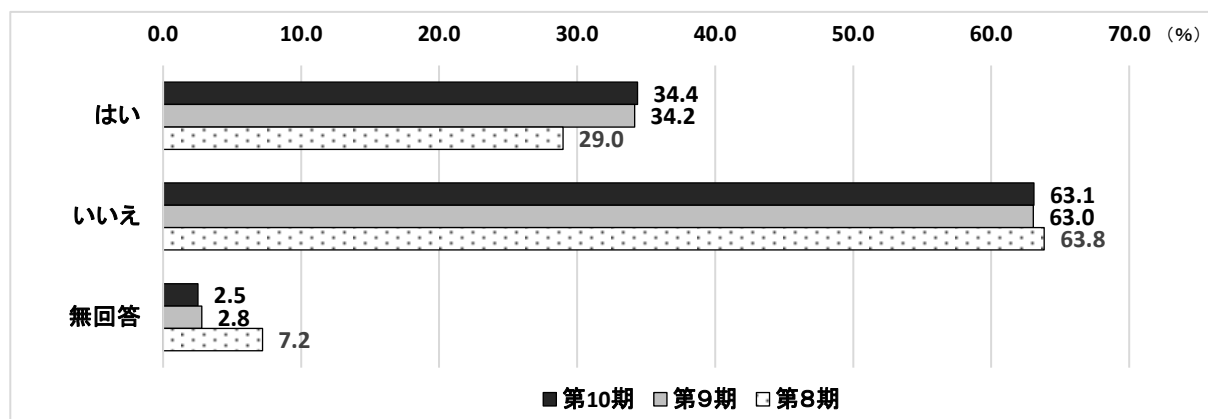
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○をつけてください)

- ・「8点」が22.6%で最も高く、次いで「5点(19.5%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



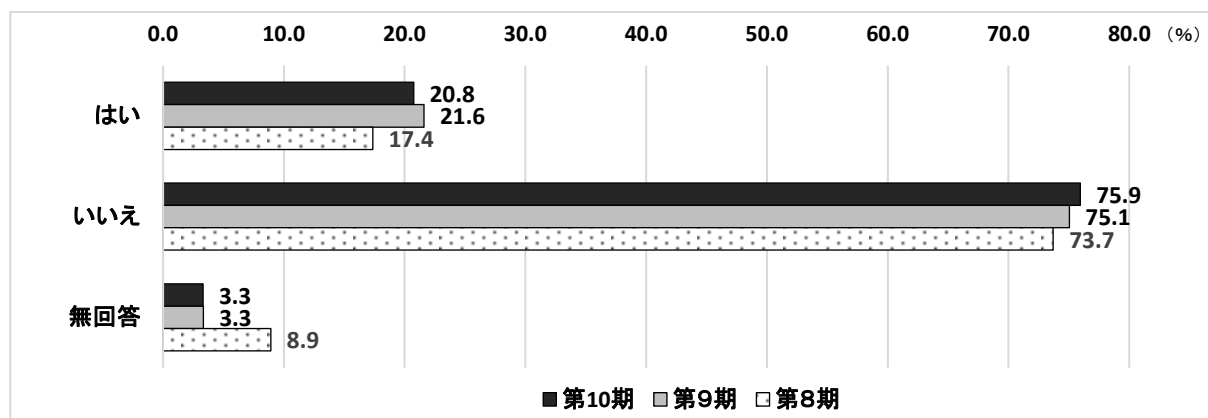
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が63.1%で最も高く、次いで「はい(34.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



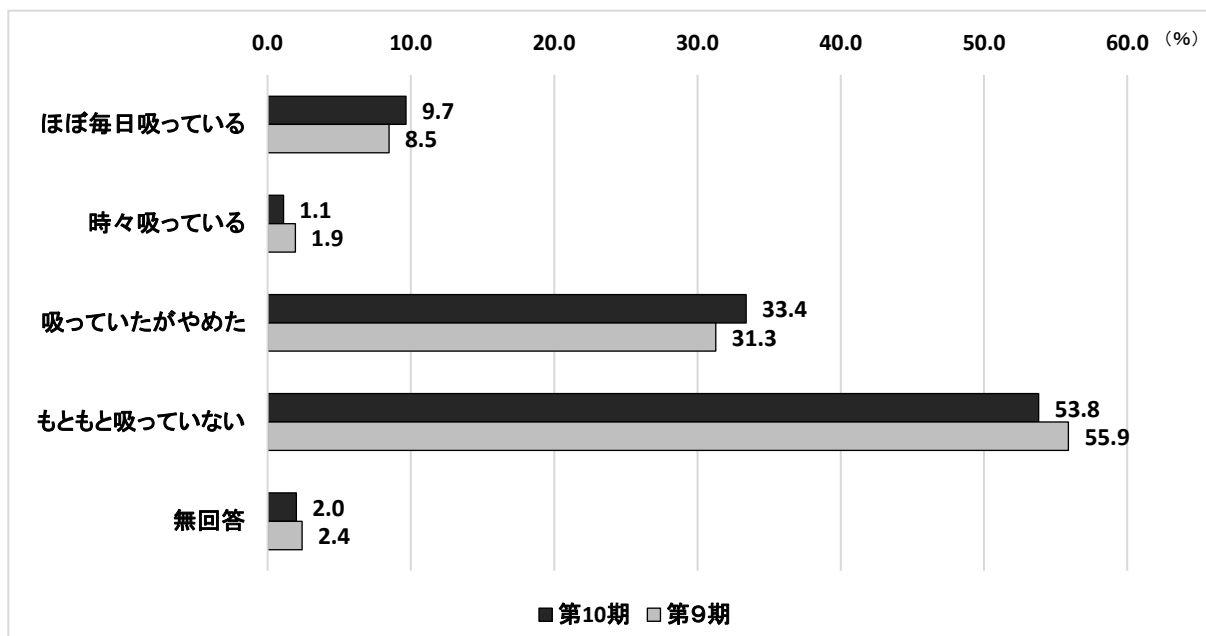
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が75.9%で最も高く、次いで「はい(20.8%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



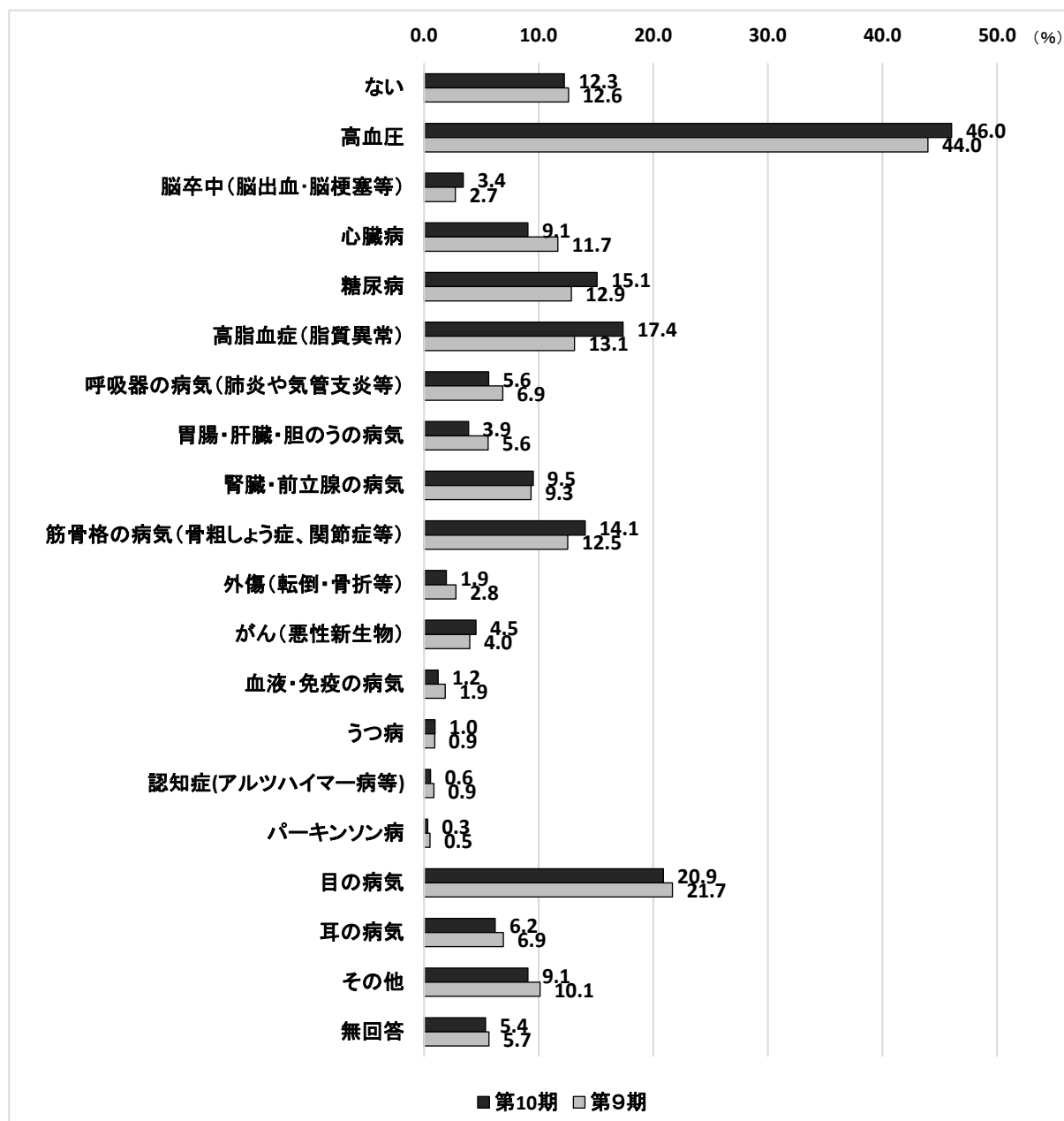
(5) タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

- ・「もともと吸っていない」が53.8%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた(33.4%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



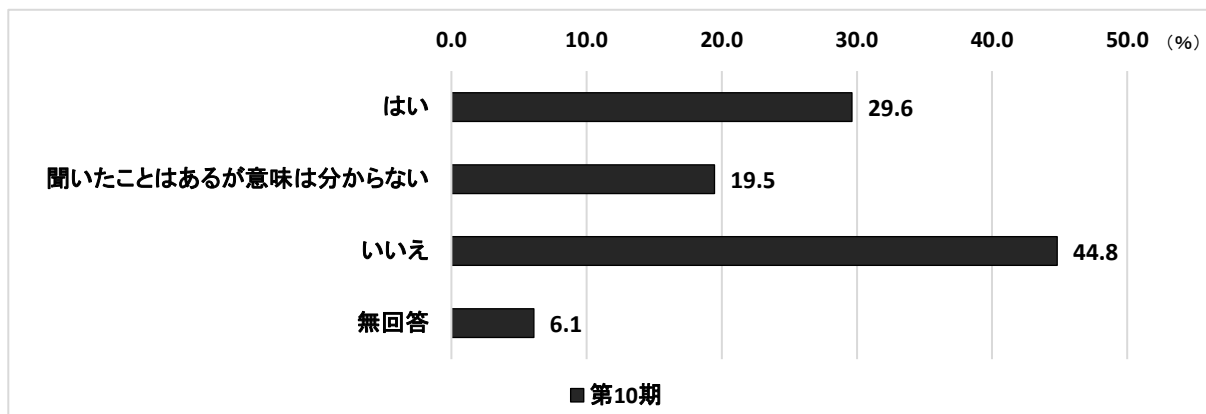
(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「高血圧」が46.0%で最も高く、次いで「目の病気(20.9%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(7)「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

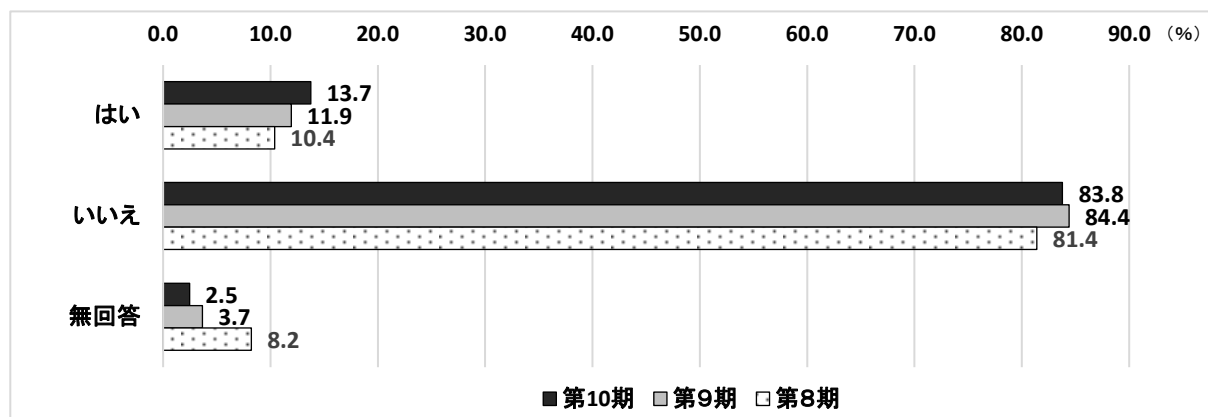
- ・「いいえ」が44.8%で最も高く、次いで「はい(29.6%)」と続いています。



問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

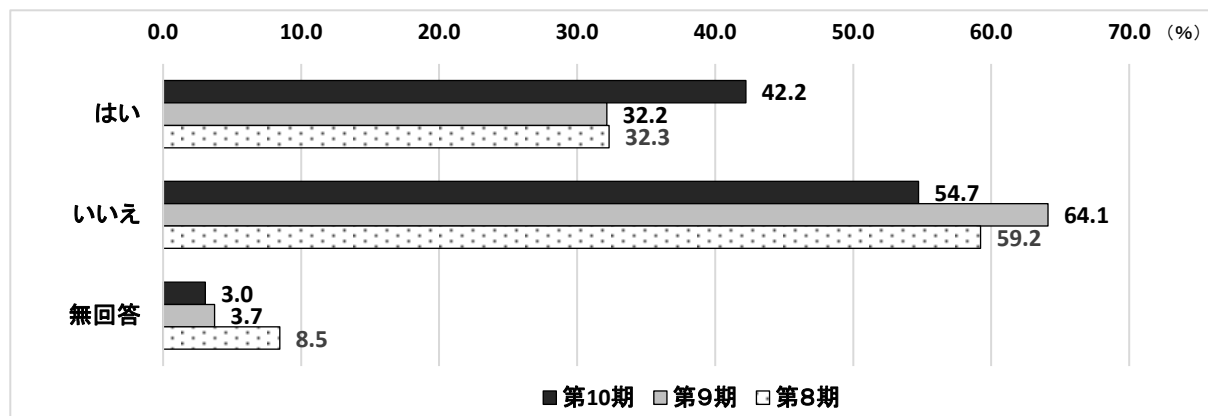
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が83.8%で最も高く、次いで「はい(13.7%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



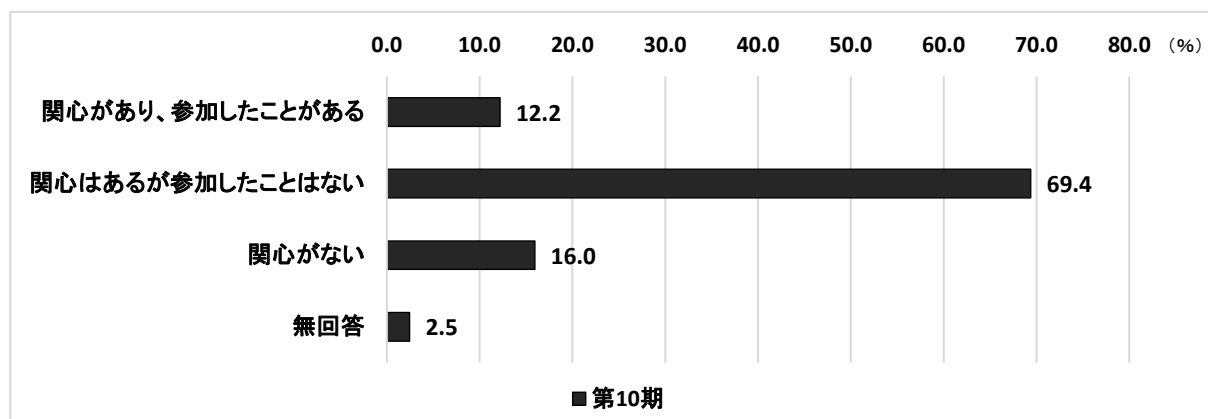
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

- ・「いいえ」が54.7%で最も高く、次いで「はい(42.2%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「はい」が増加し、「いいえ」が減少しています。



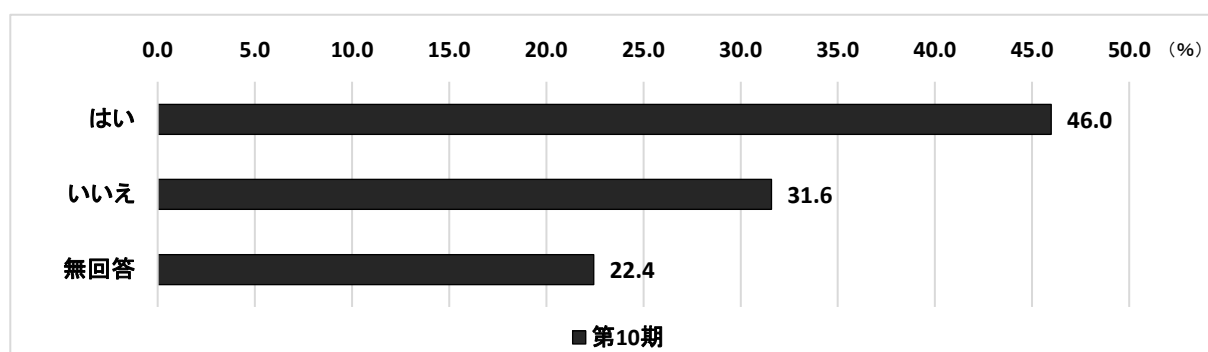
（３）認知症に関わる勉強会、説明会、講演会（認知症講演会、認知症サポーター養成講座など）に関心がありますか。（○はひとつ）

- ・「関心はあるが参加したことはない」が69.4%で最も高く、次いで「関心があり、参加したことがある（12.2%）」と続いています。



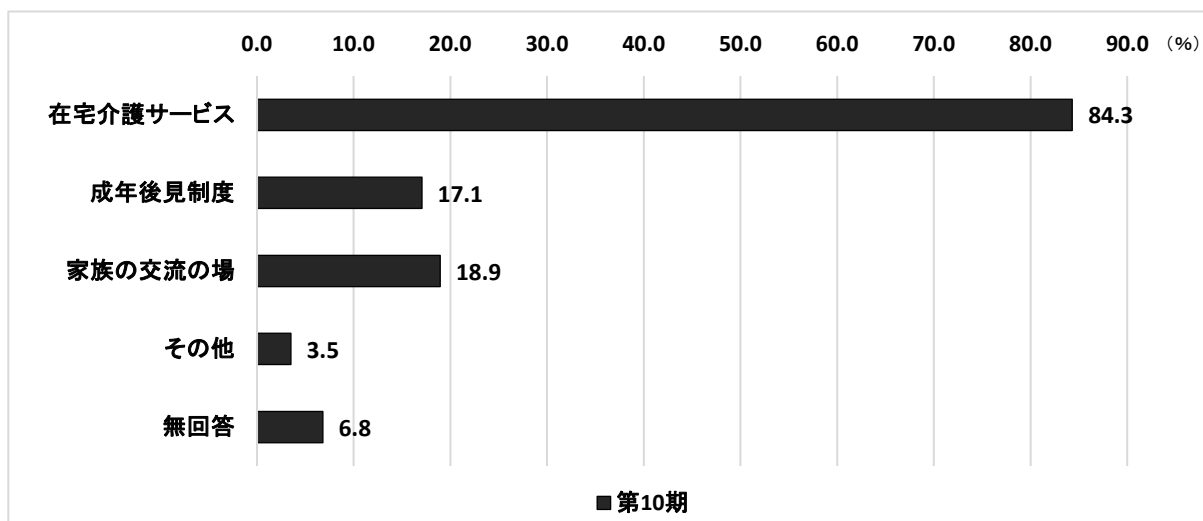
（４）認知症になっても生活しやすい町だと思いますか。（○はひとつ）

- ・「はい」が46.0%で最も高く、次いで「いいえ（31.6%）」と続いています。



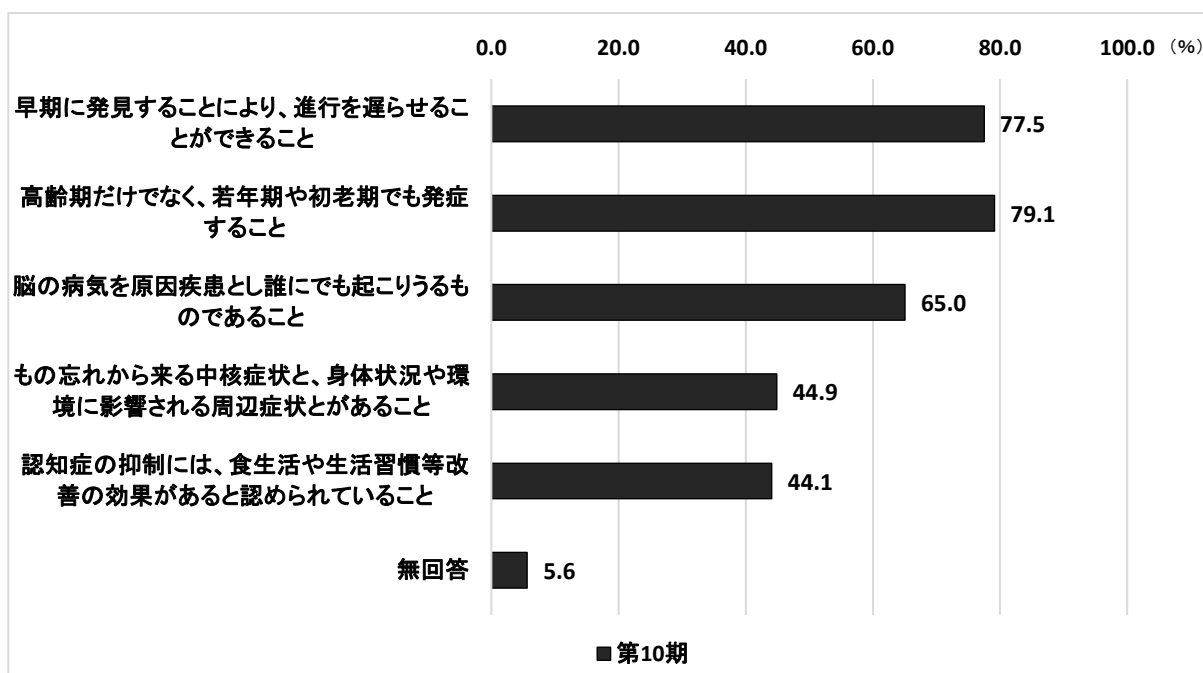
(5) 認知症になっても今の住まいで生活するために必要な支援はどんなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「在宅介護サービス」が84.3%で最も高く、次いで「家族の交流の場(18.9%)」と続いています。



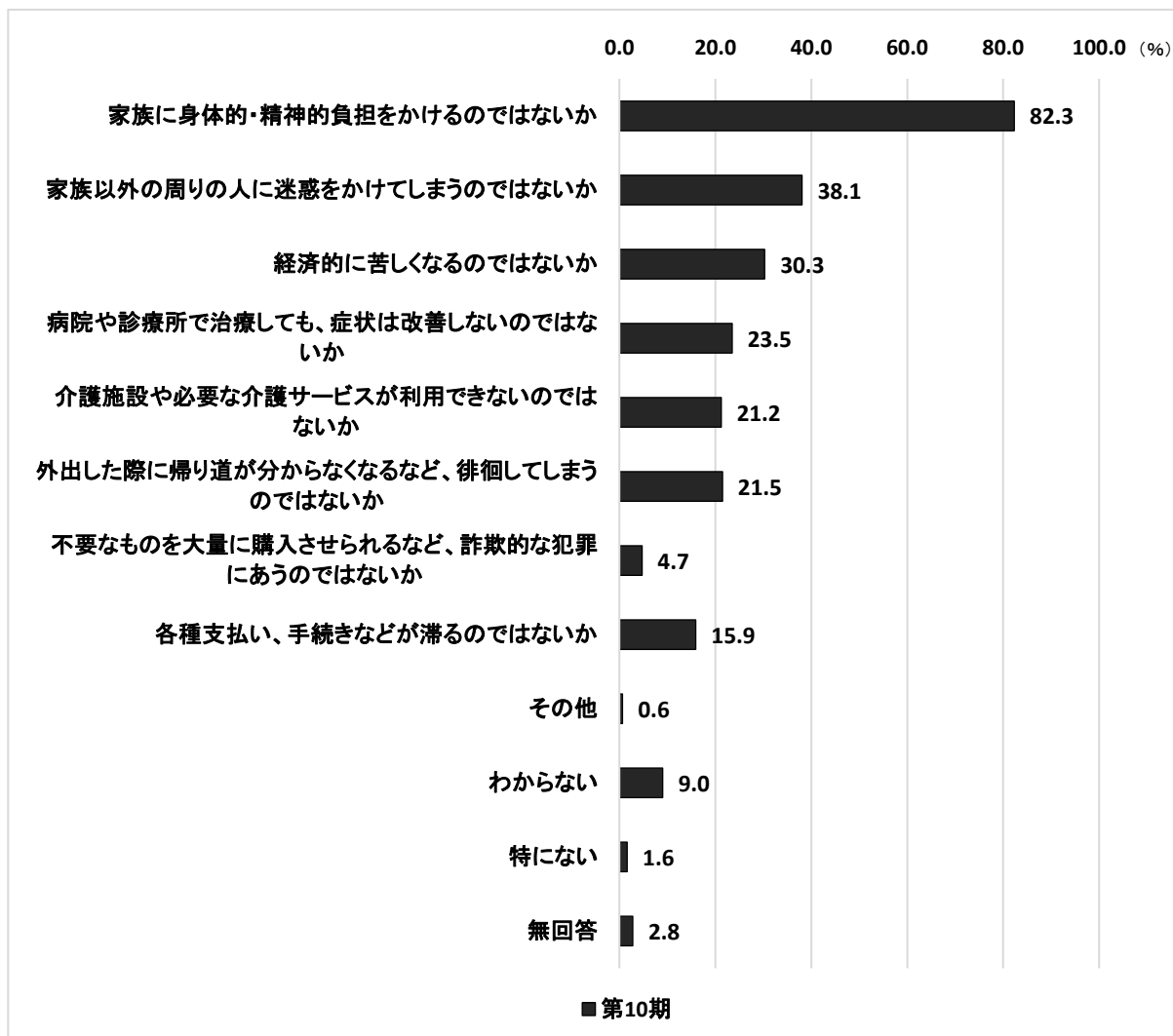
(6) あなたは認知症について、次のようなことを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「高齢期だけでなく、若年期や初老期でも発症すること」が79.1%で最も高く、次いで「早期に発見することにより、進行を遅らせることができること(77.5%)」と続いています。



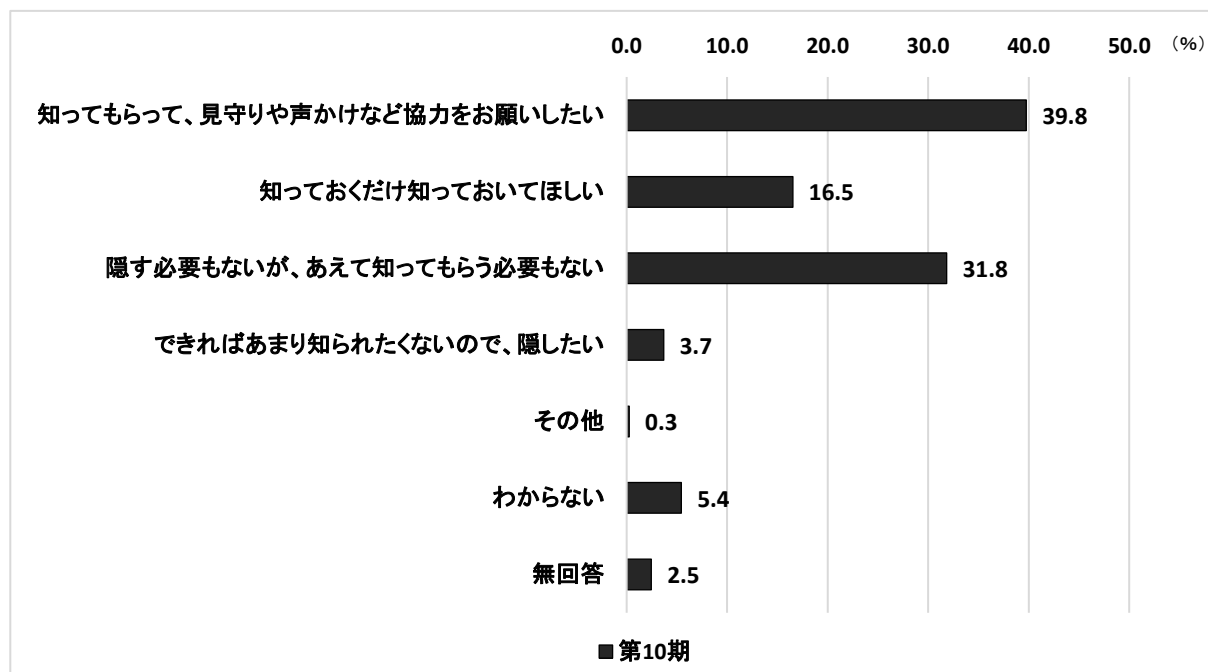
(7) もし、あなたが認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。(○は3つまで)

- ・「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が82.3%で最も高く、次いで「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか(38.1%)」と続いています。



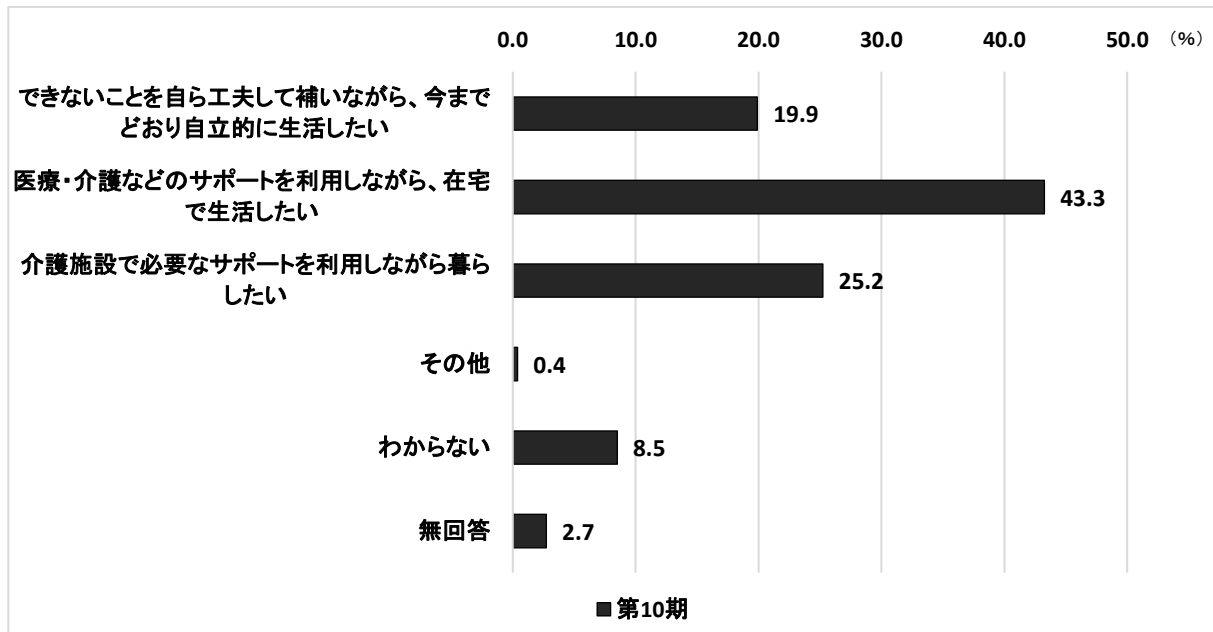
**（８）あなたやあなたの家族が認知症になった場合、そのことを近所の人に知ってもらおう
と思いますか。（○はひとつ）**

- ・「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が39.8%で最も高く、次いで「隠す必要もないが、あえて知ってもらう必要もない（31.8%）」と続いています。



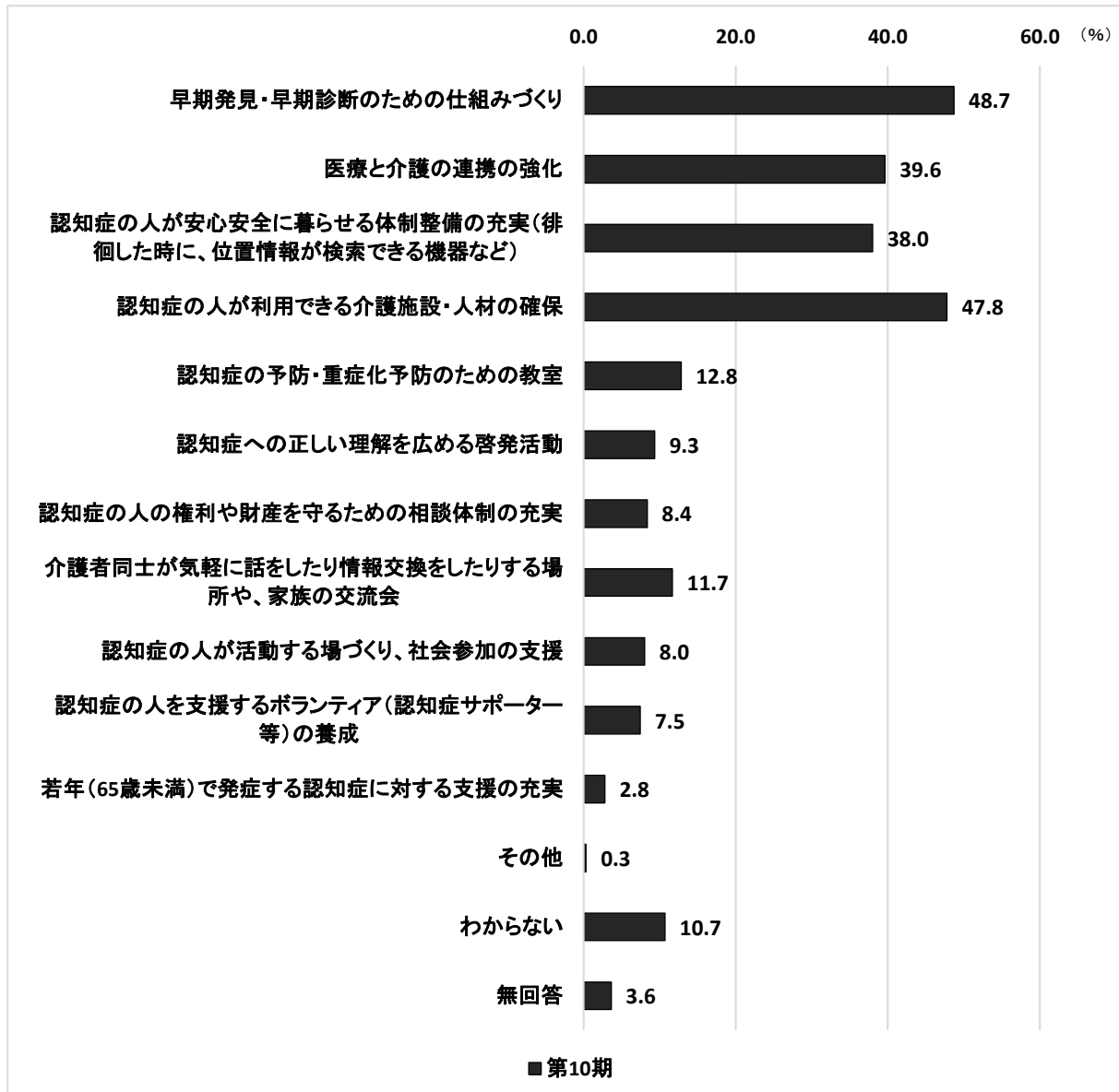
(9) もし、あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。(○はひとつ)

- ・「医療・介護などのサポートを利用しながら、在宅で生活したい」が43.3%で最も高く、次いで「介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい(25.2%)」と続いています。



(10) 今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(○は3つまで)

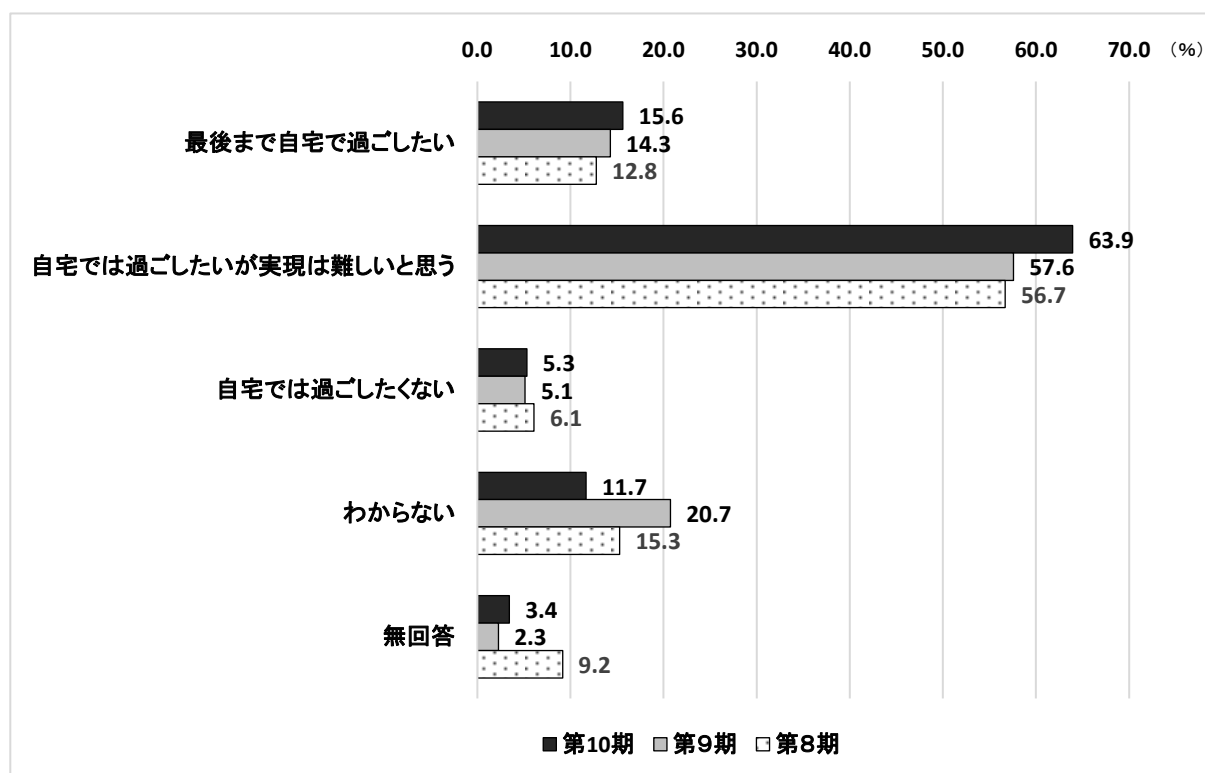
- ・「早期発見・早期診断のための仕組みづくり」が48.7%で最も高く、次いで「認知症の人が利用できる介護施設・人材の確保(47.8%)」と続いています。



問 10 終末期の療養について

(1) 余命宣告された場合、希望される療養の場はどこですか。(○はひとつ)

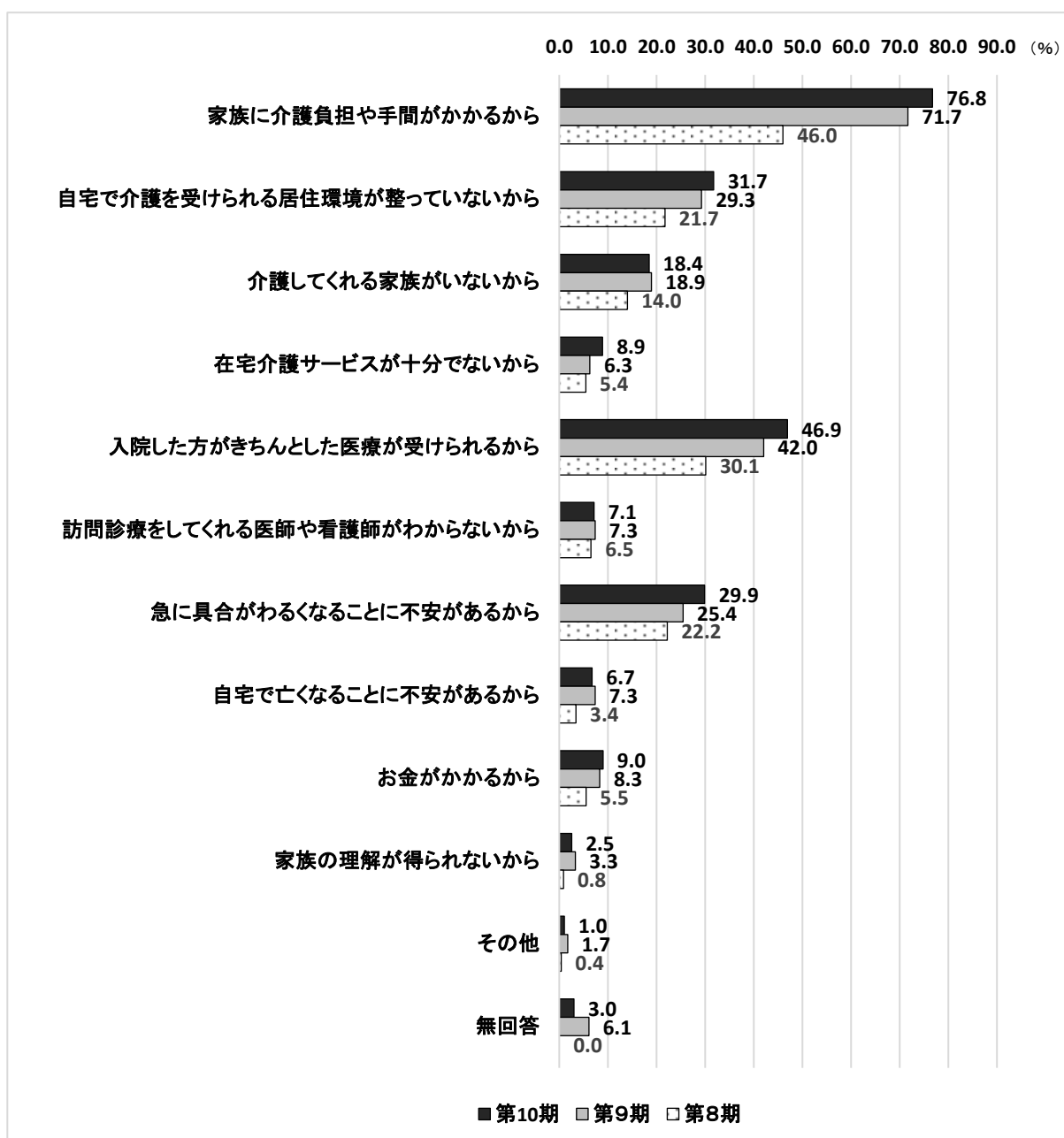
- ・「自宅では過ごしたいが実現は難しいと思う」が63.9%で最も高く、次いで「最後まで自宅で過ごしたい(15.6%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「自宅では過ごしたいが実現は難しいと思う」が増加し、「わからない」が減少しています。



【(1) で「2. 自宅では過ごしたいが実現は難しいと思う」「3. 自宅では過ごしたくない」と回答した方にお聞きします。】 n = 1,068

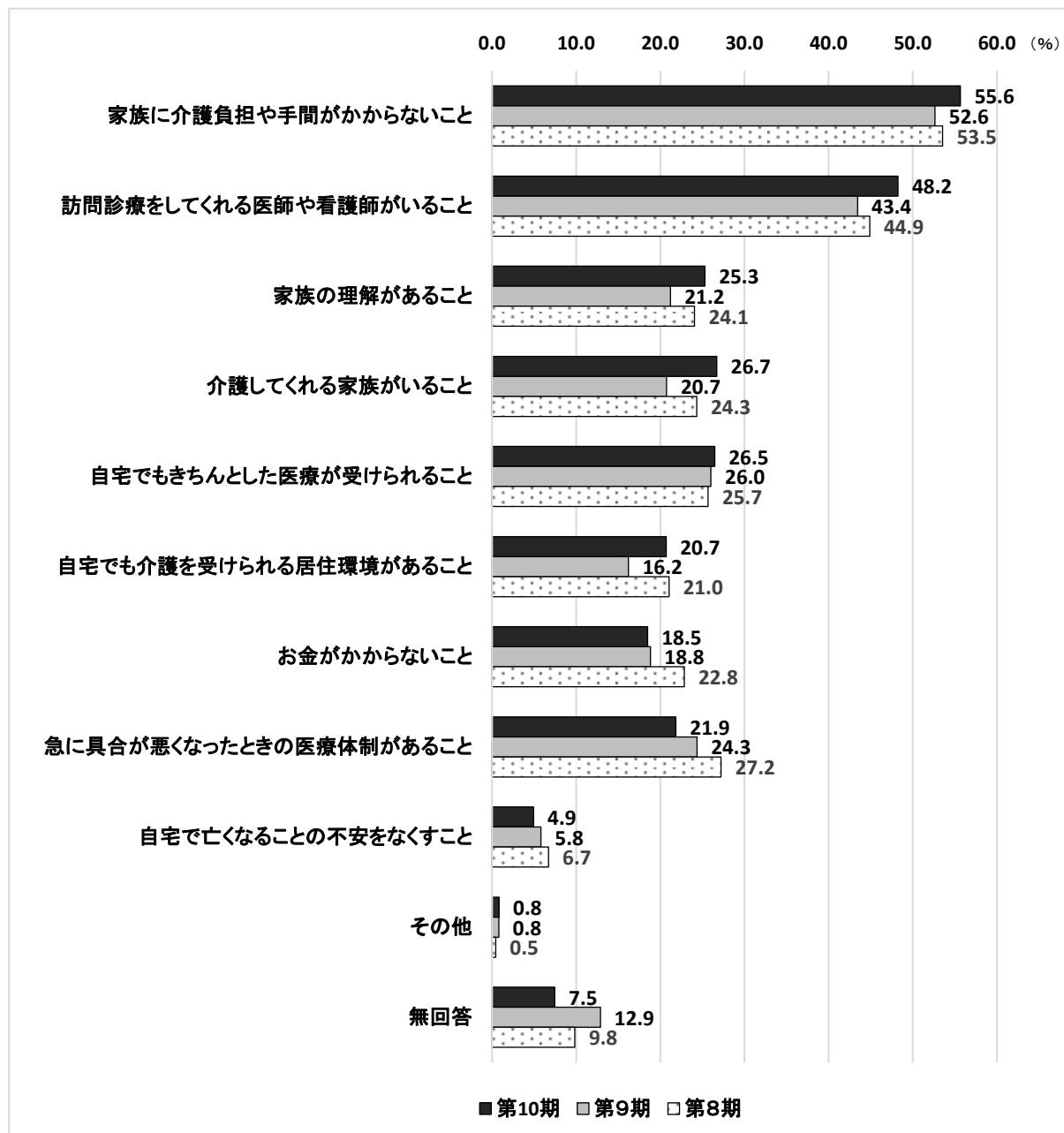
(1-1) その理由はなぜですか。(○は3つまで)

- ・「家族に介護負担や手間がかかるから」が 76.8%で最も高く、次いで「入院した方がきちんとした医療が受けられるから (46.9%) 」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「家族に介護負担や手間がかかるから／入院した方がきちんとした医療が受けられるから／急に具合がわるくなることに不安があるから」が増加しています。



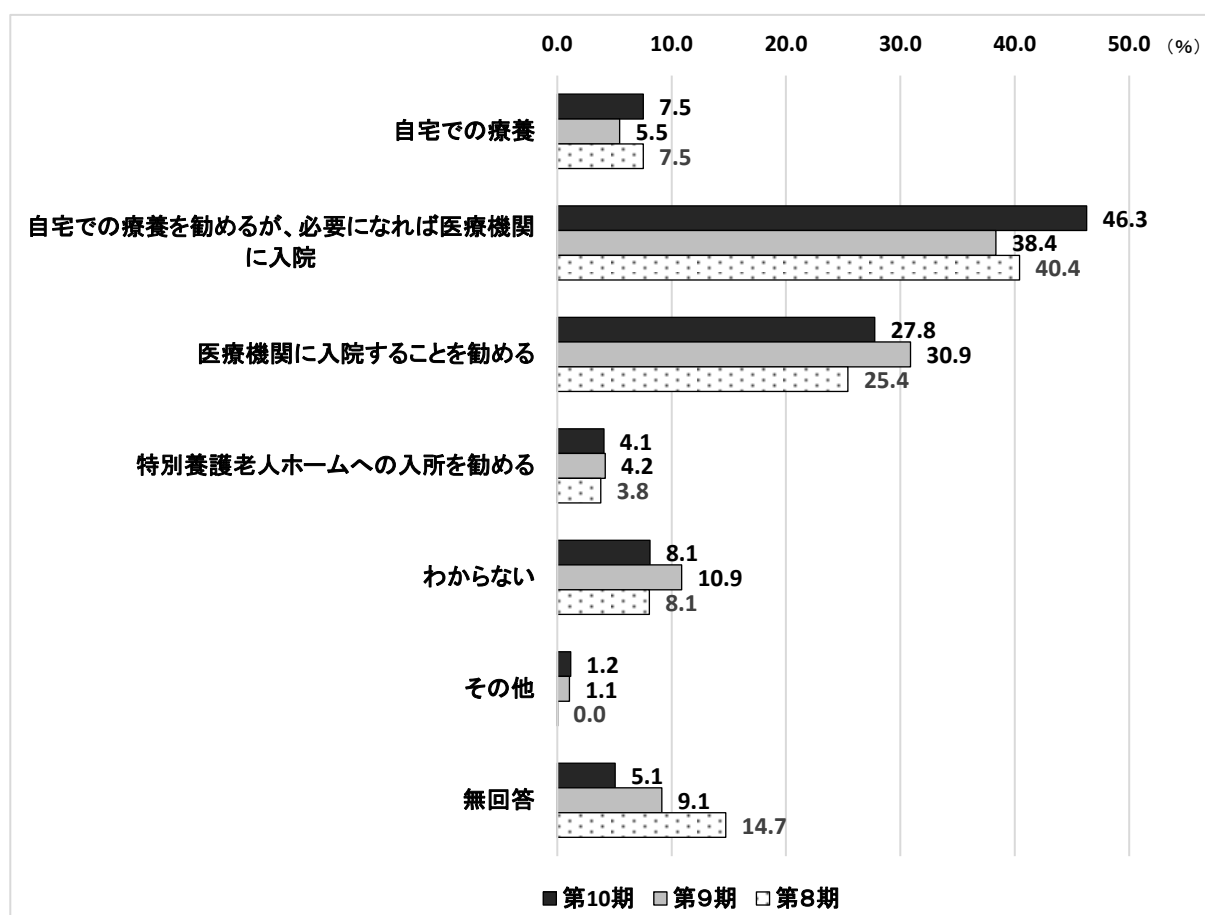
(2) 最後に自宅で過ごすとしたら、どんな条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- ・「家族に介護負担や手間がかからないこと」が55.6%で最も高く、次いで「訪問診療をしてくれる医師や看護師がいること(48.2%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



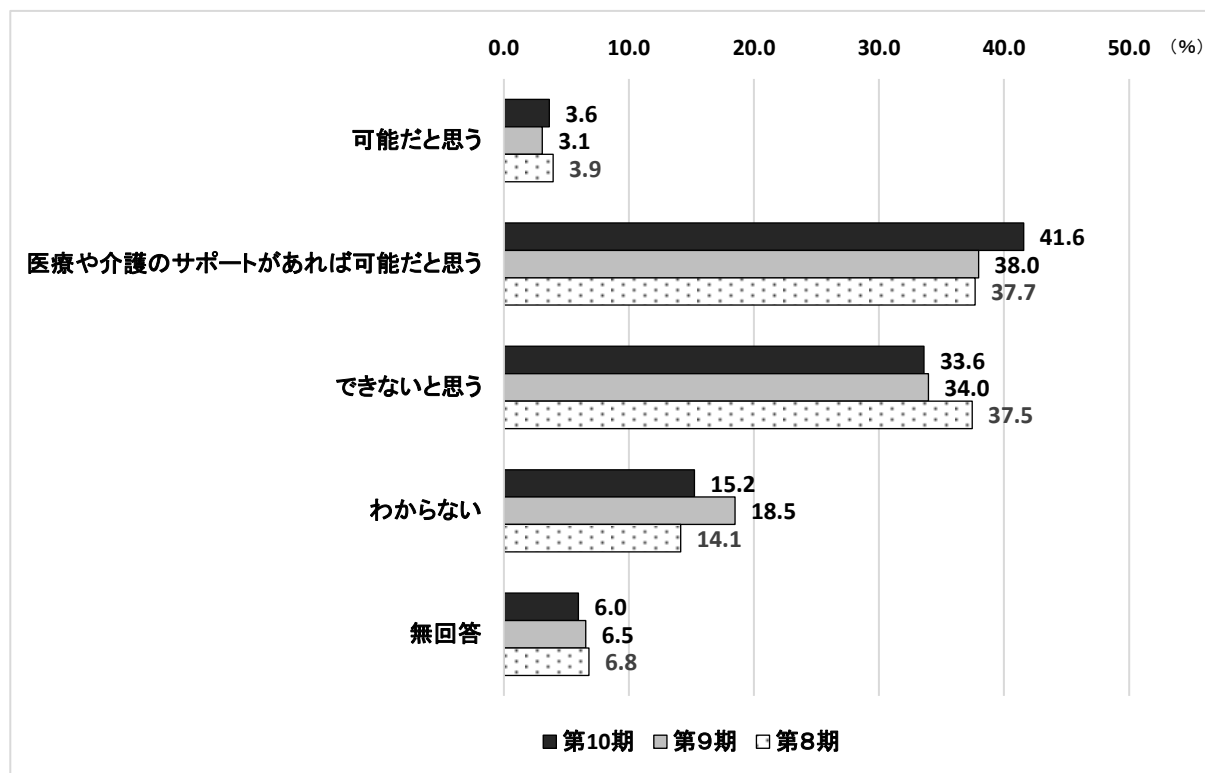
**(3) 自分の家族が治る見込みのない病気になり、死期が迫っていることがわかった場合、
どこで最期を過ごすことを勧めますか。(○はひとつ)**

- ・「自宅での療養を勧めるが、必要になれば医療機関に入院」が46.3%で最も高く、次いで「医療機関に入院することを勧める(27.8%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「自宅での療養を勧めるが、必要になれば医療機関に入院」が増加しています。



(4) 自分の家族が自宅療養を希望した場合、自宅療養は最後まで可能だと思いますか。(〇はひとつ)

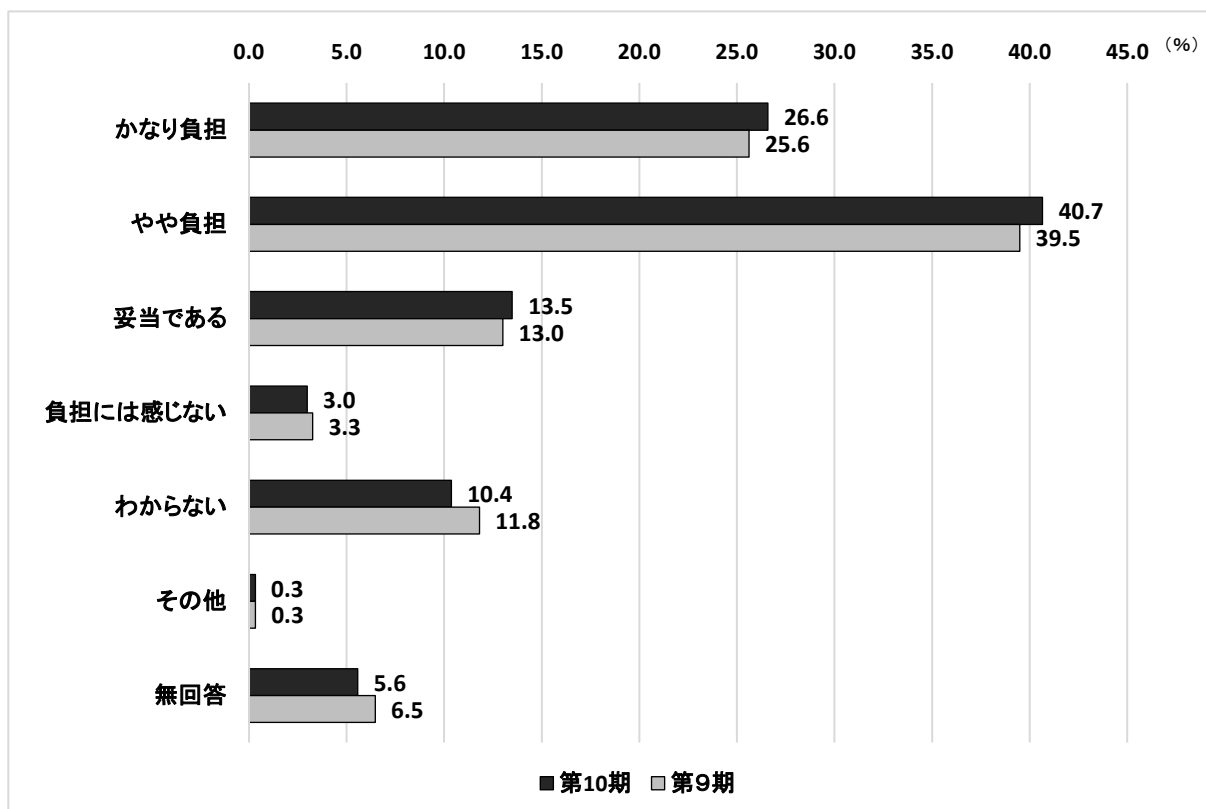
- ・「医療や介護のサポートがあれば可能だと思う」が41.6%で最も高く、次いで「できないと思う(33.6%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



問 11 その他

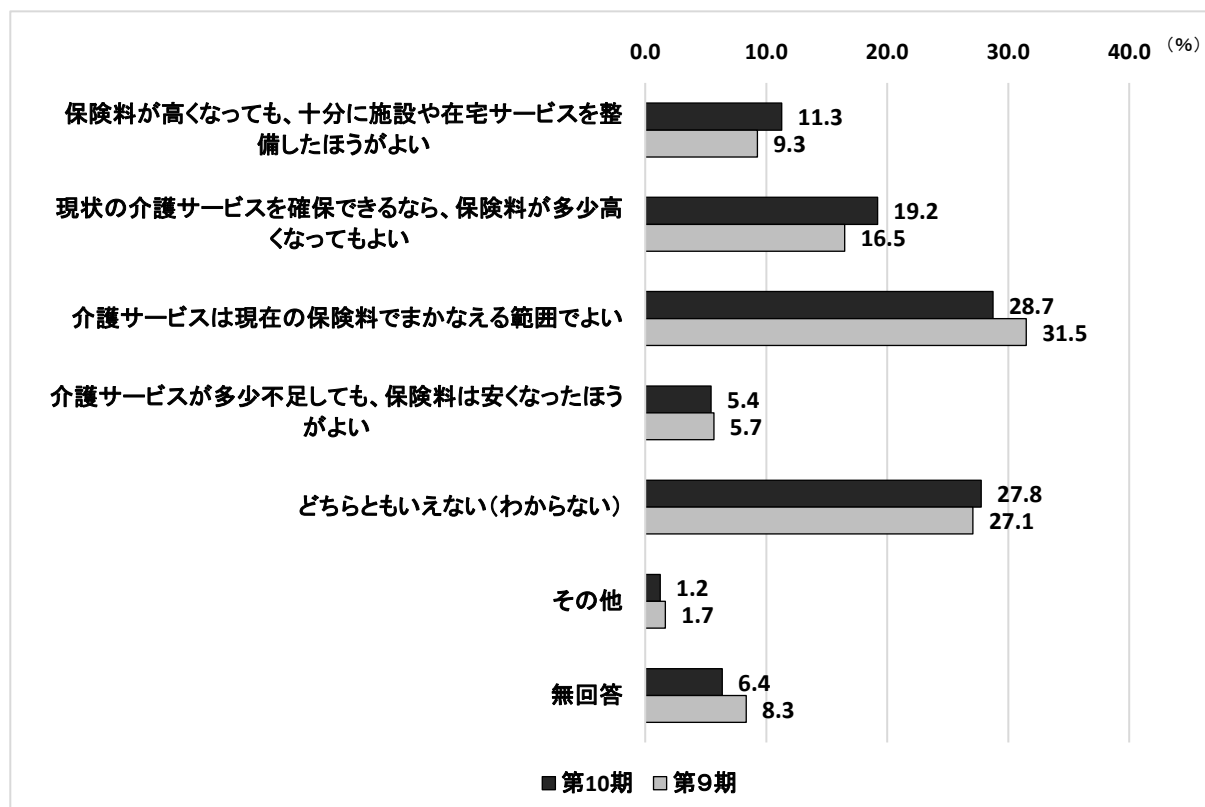
(1) あなたは介護保険料についてどのように感じていますか。(○はひとつ)

- ・「やや負担」が40.7%で最も高く、次いで「かなり負担(26.6%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



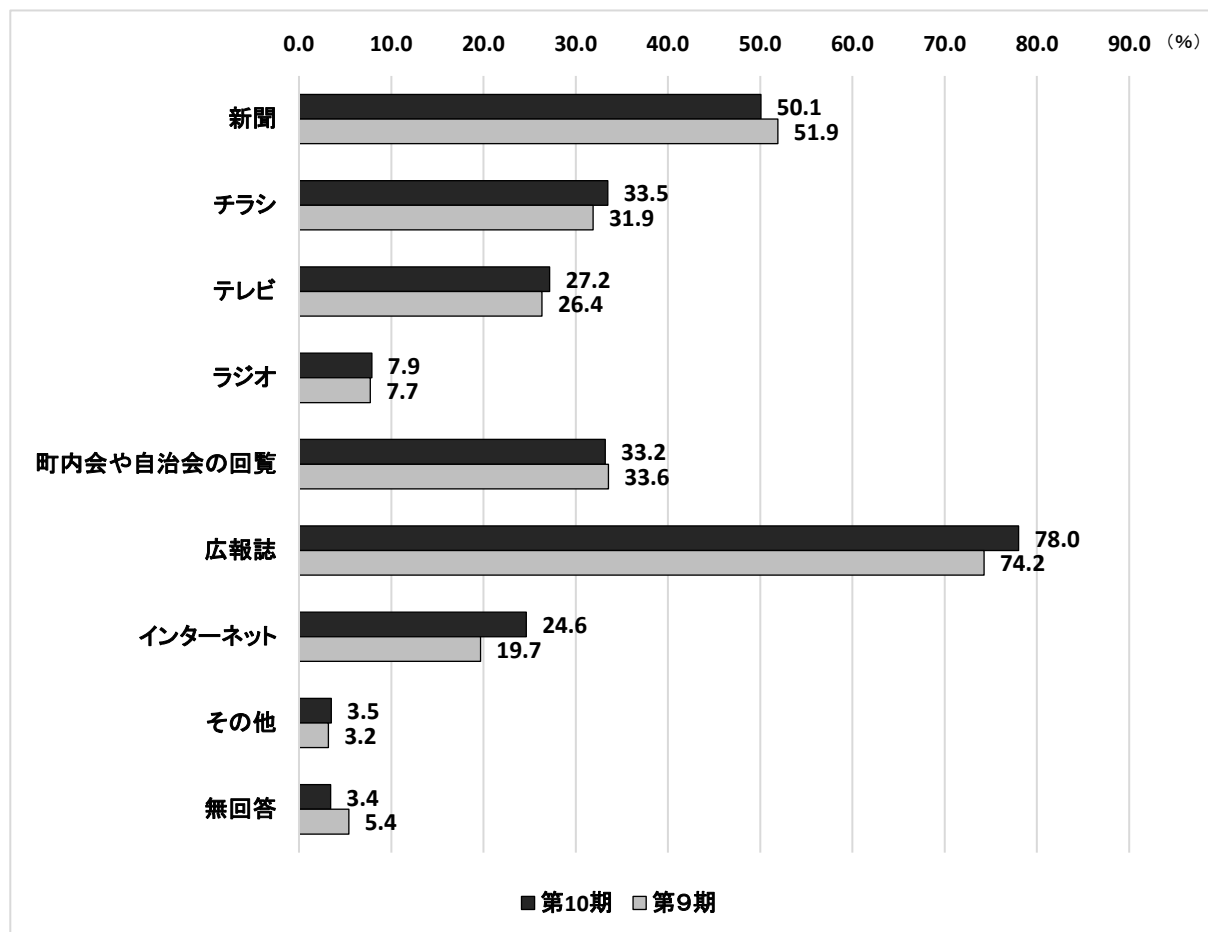
(2) 介護保険とは、40 歳以上の方が保険加入者となり保険料を負担し、介護が必要と認定されたとき、費用の一部（原則 1 割）を支払って、介護サービスを利用する制度です。介護保険料は、芽室町全体の介護サービスの利用料が多いと保険料が高くなります。サービスと保険料の関係について、あなたの考えをお答え下さい。（○はひとつ）

- ・「介護サービスは現在の保険料でまかなえる範囲でよい」が 28.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない(わからない)（27.8%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



(3) 芽室町の情報や日常の様々な情報は、どのようなものから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

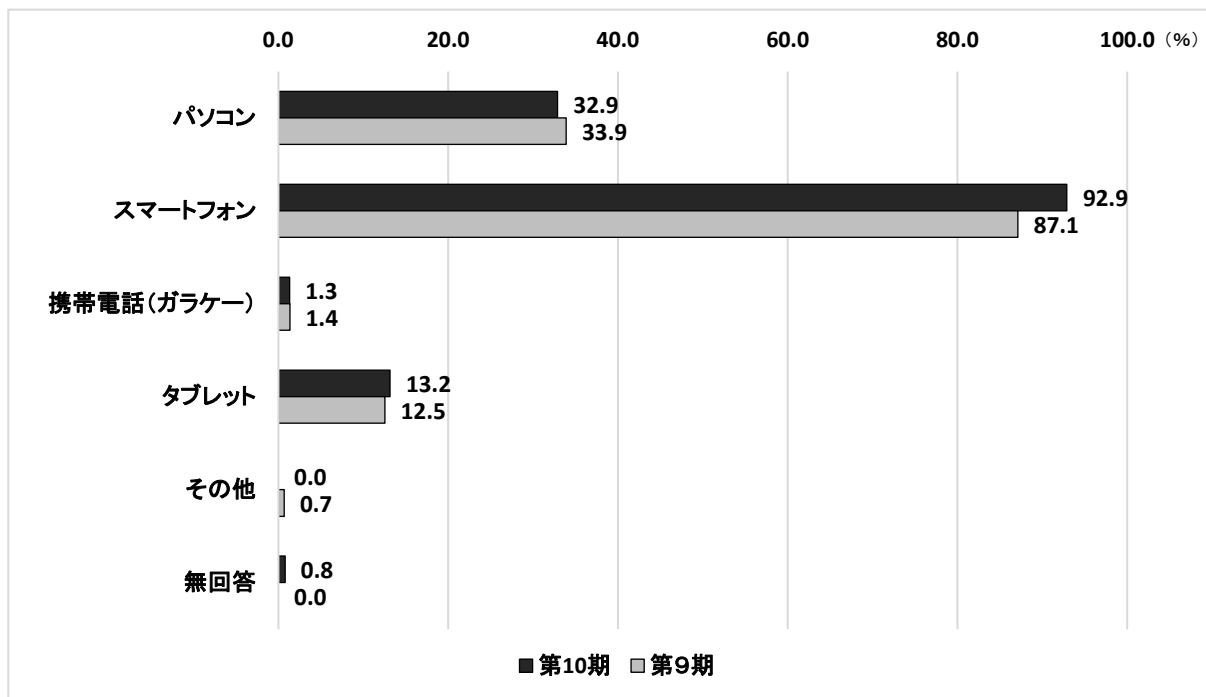
- ・「広報誌」が78.0%で最も高く、次いで「新聞(50.1%)」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



【(3) で「7. インターネット」と回答した方にお聞きします。】 n = 380

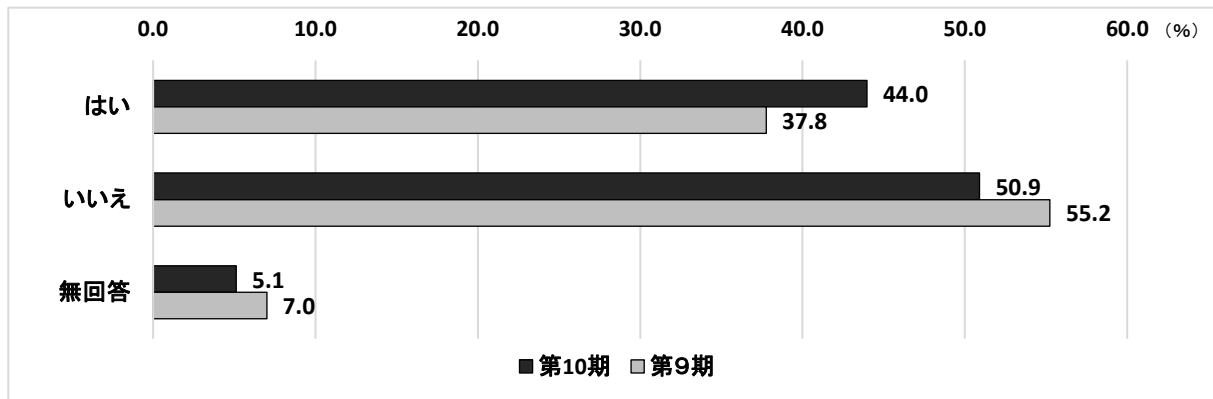
(3-1) どのような情報通信機器を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「スマートフォン」が92.9%で最も高く、次いで「パソコン(32.9%)」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「スマートフォン」が増加しています。



（４）高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか。（○はひとつ）

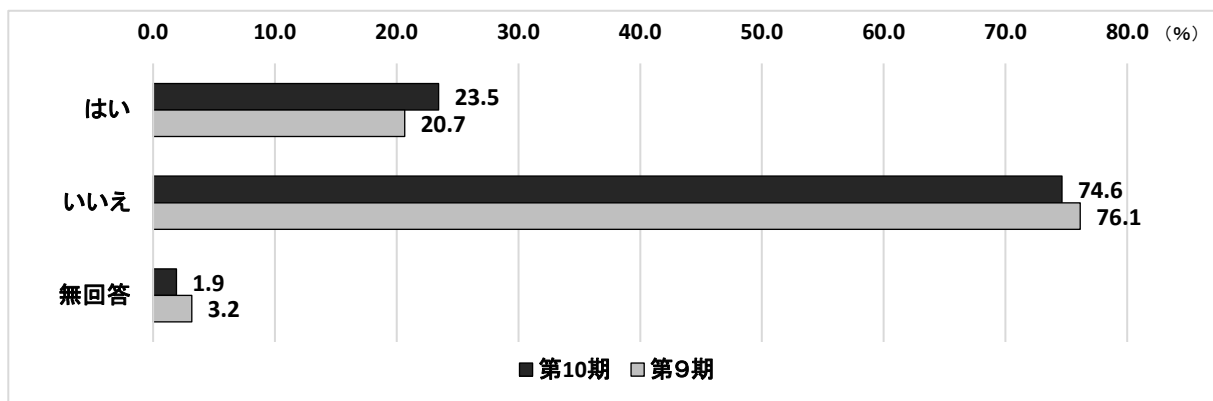
- ・「いいえ」が50.9%で最も高く、次いで「はい（44.0%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「はい」が増加し、「いいえ」が減少しています。



【（４）で「１． はい」と回答した方にお聞きします。】 n = 678

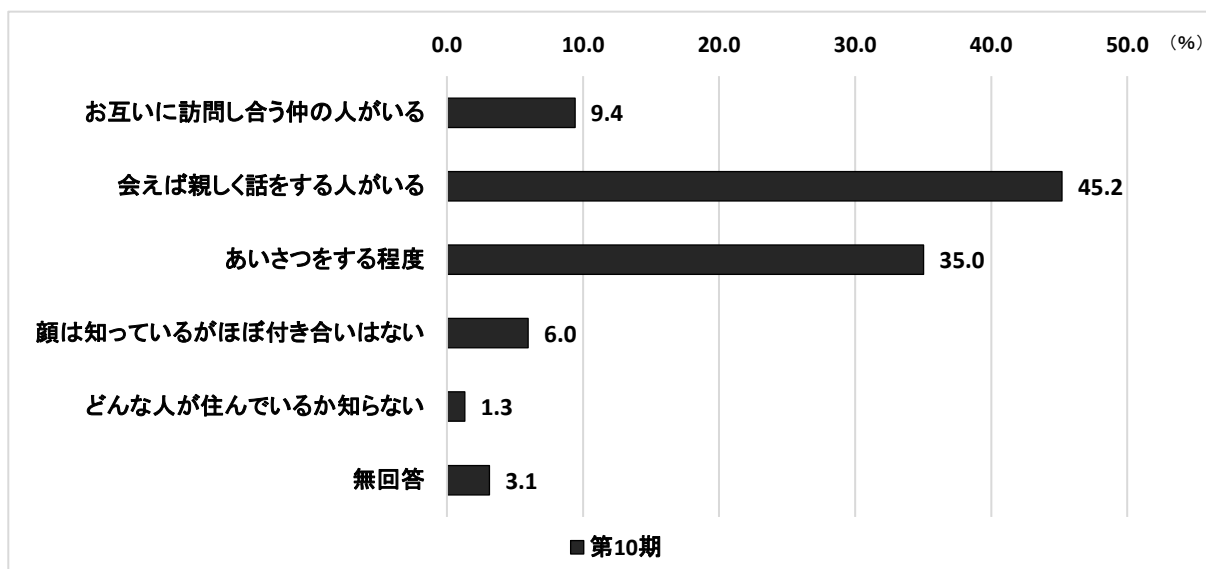
（４-１）地域包括支援センターを利用したことはありますか。（○はひとつ）

- ・「いいえ」が74.6%で最も高く、次いで「はい（23.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較し、大きな変化はありません。



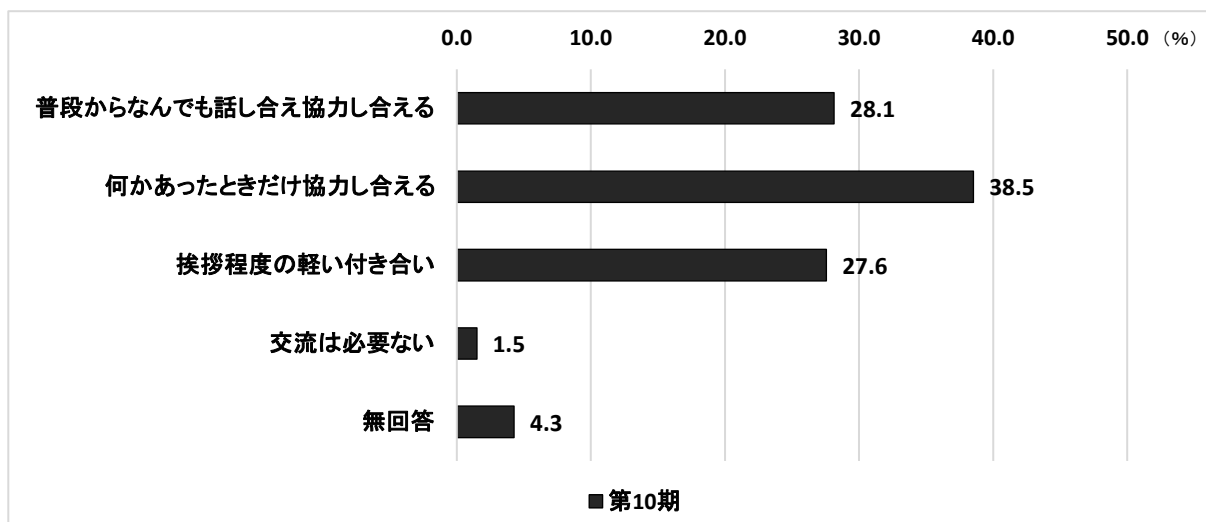
(5) ご近所との関係は次のどれに最も近いですか。(○はひとつ)

- ・「会えば親しく話をする人がいる」が 45.2%で最も高く、次いで「あいさつをする程度 (35.0%) 」と続いています。



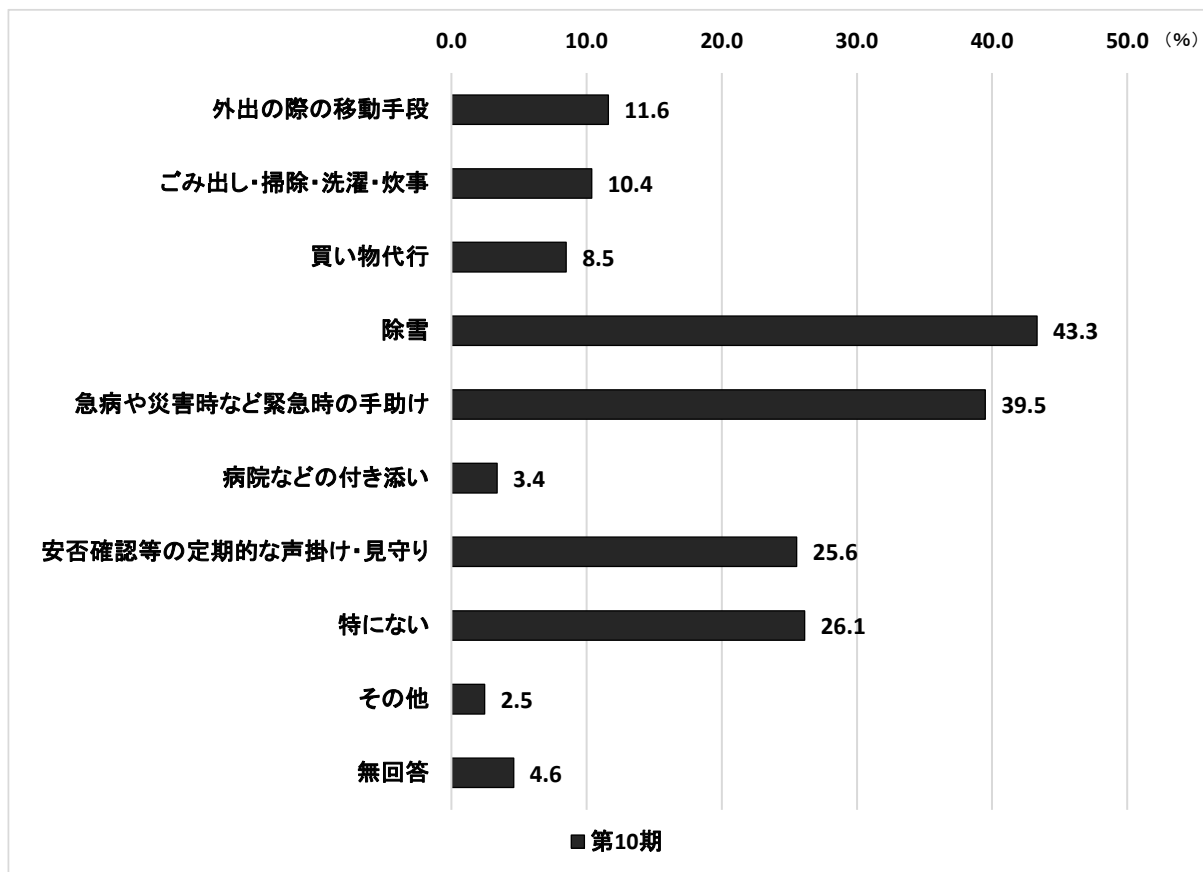
(6) ご近所とのつきあいは、どのような関係が良いと思いますか (○はひとつ)

- ・「何かあったときだけ協力し合える」が 38.5%で最も高く、次いで「普段からなんでも話し合え協力し合える (28.1%) 」と続いています。



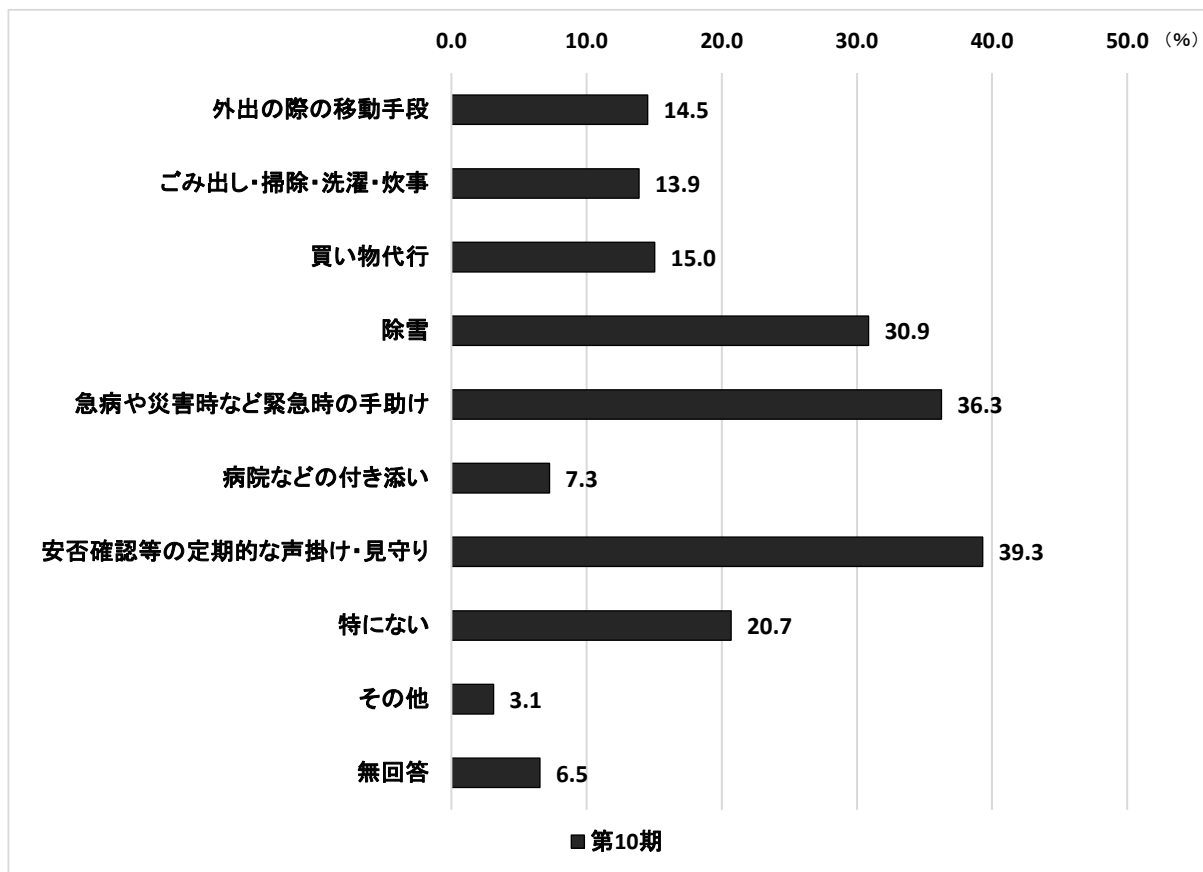
(7) あなたが日常生活で支援が必要になったとき、ご近所にどのような支援をしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「除雪」が43.3%で最も高く、次いで「急病や災害時など緊急時の手助け(39.5%)」と続いています。



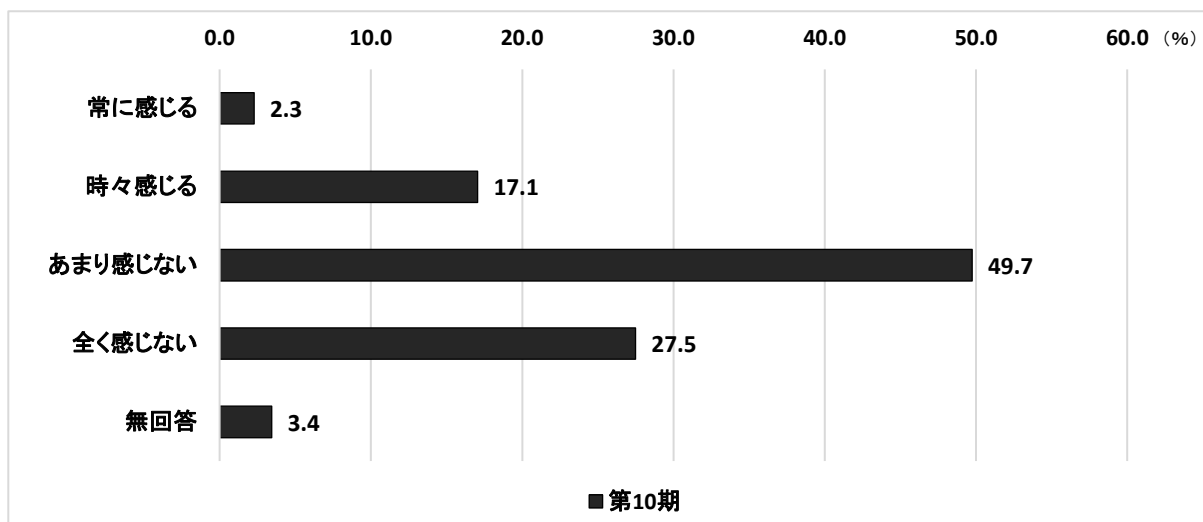
（８）あなたは近所で高齢者や病気等で困っている家庭があった場合どのような支援ができますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・「安否確認等の定期的な声掛け・見守り」が39.3%で最も高く、次いで「急病や災害時など緊急時の手助け（36.3%）」と続いています。



(9) あなたは孤独や孤立を感じることはありますか。(○はひとつ)

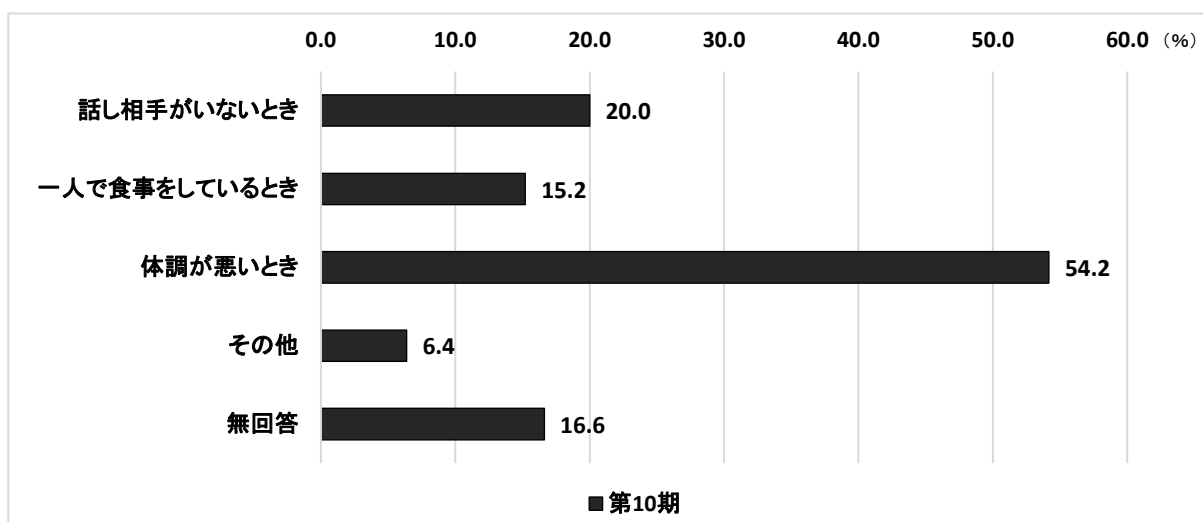
- ・「あまり感じない」が49.7%で最も高く、次いで「全く感じない(27.5%)」と続いています。



【(9) で「1～3」と回答した方にお聞きします。】 n = 1,065

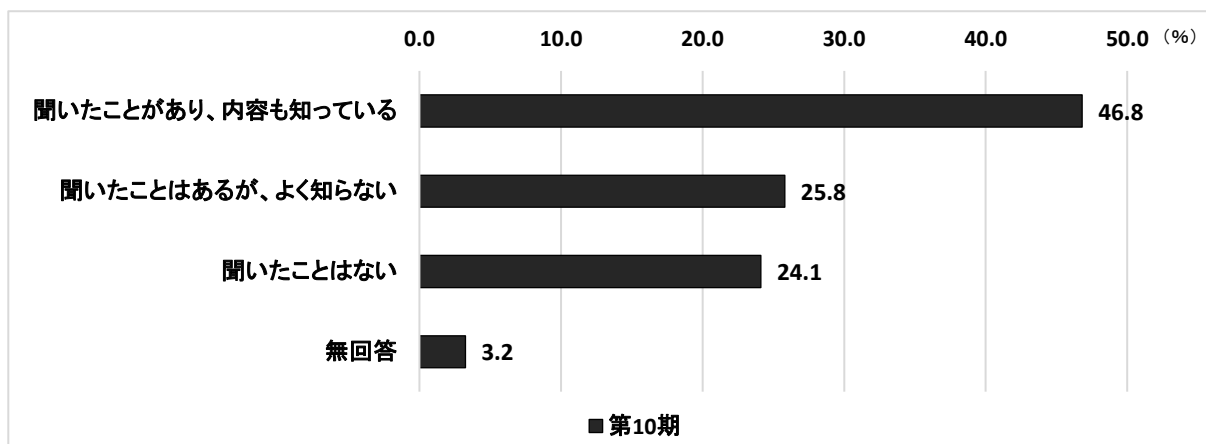
(9-1) どんな時に孤独や孤立を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「体調が悪いとき」が54.2%で最も高く、次いで「話し相手がないとき(20.0%)」と続いています。



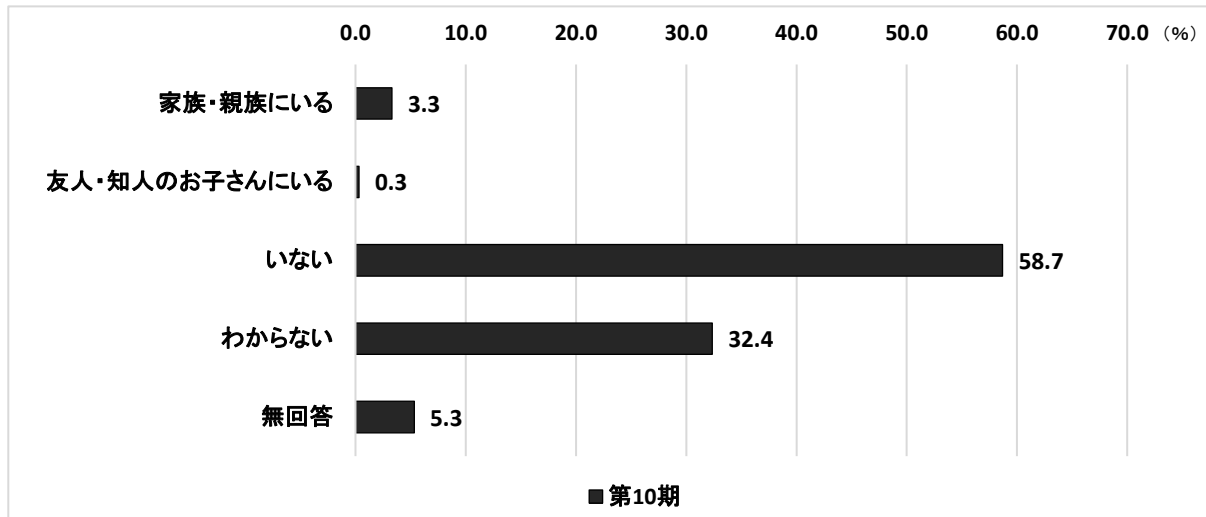
(10) 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

- ・「聞いたことがあります、内容も知っている」が46.8%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない(25.8%)」と続いています。



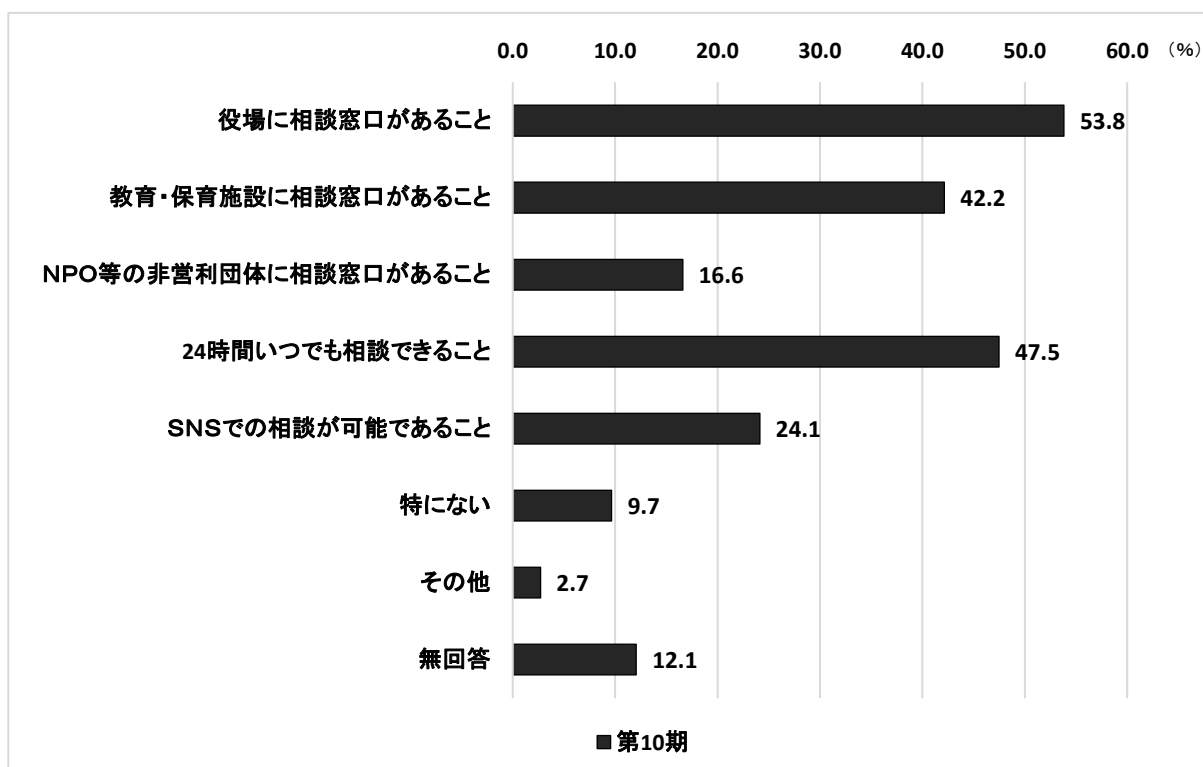
(11) 家族や親族、または友人・知人のお子さんにヤングケアラーと思われるお子さんはいますか。(○はひとつ)

- ・「いない」が58.7%で最も高く、次いで「わからない(32.4%)」と続いています。



(12) ヤングケアラーに関して、相談しやすい環境づくりとして必要なことはどんなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「役場に相談窓口があること」が53.8%で最も高く、次いで「24時間いつでも相談できること(47.5%)」と続いています。

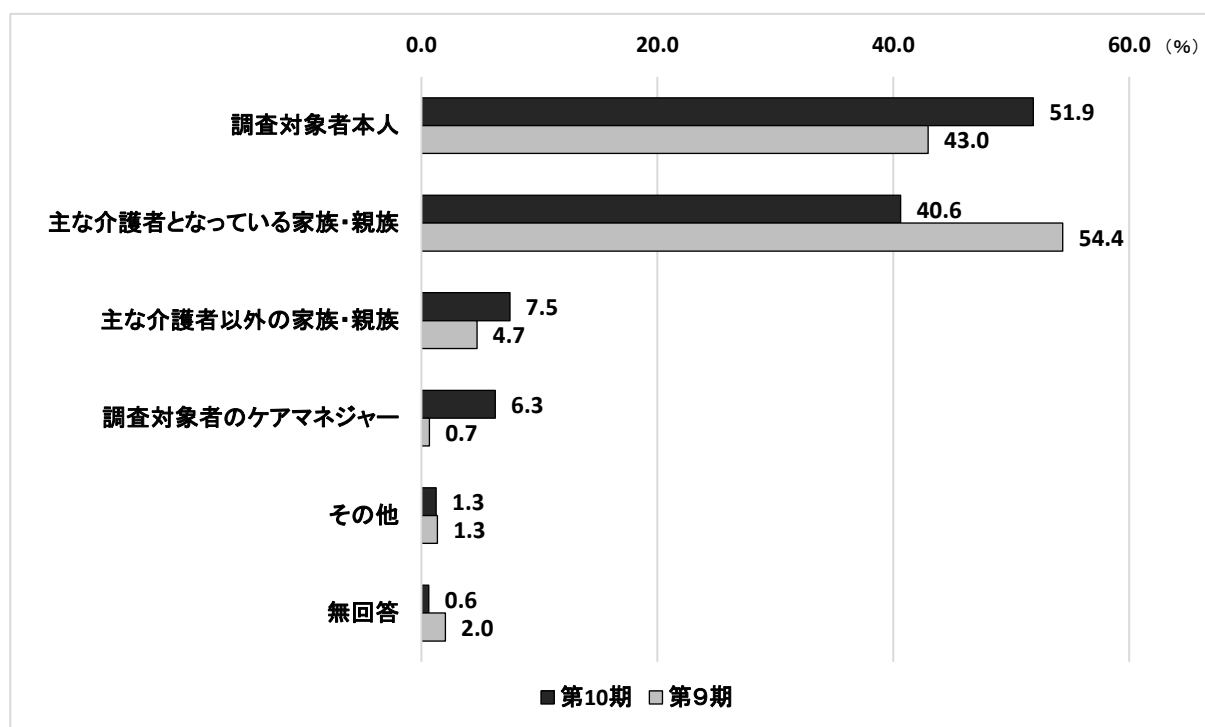


IV 在宅介護実態調査結果

A票 調査対象者本人について

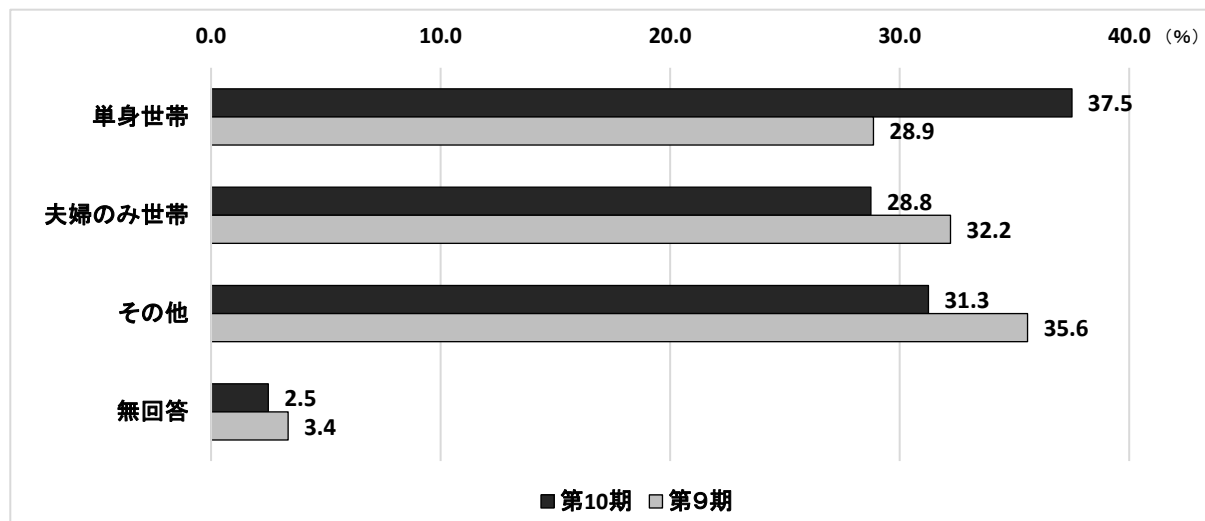
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数選択可）

- ・「調査対象者本人」が 51.9%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族（40.6%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「調査対象者本人／調査対象者のケアマネジャー」が増加し、「主な介護者となっている家族・親族」が減少しています。



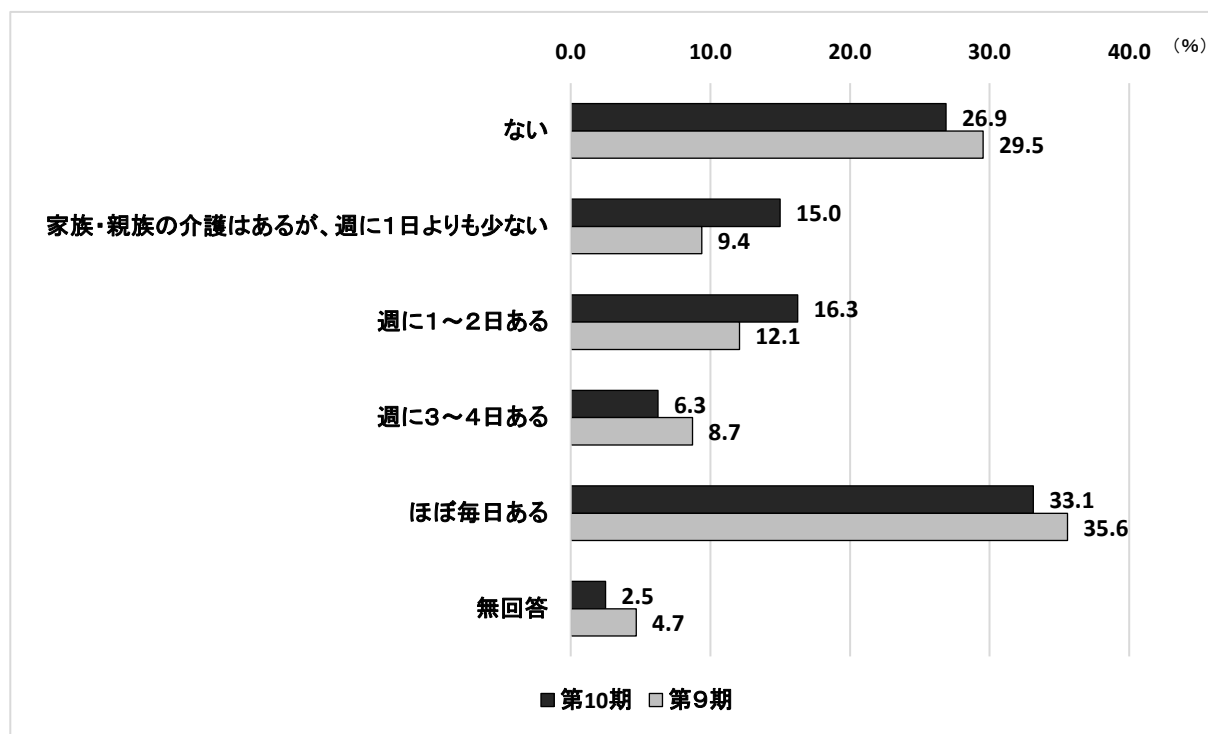
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- ・「単身世帯」が37.5%で最も高く、次いで「その他（31.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「単身世帯」が増加し、「夫婦のみ世帯／その他」が減少しています。



問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

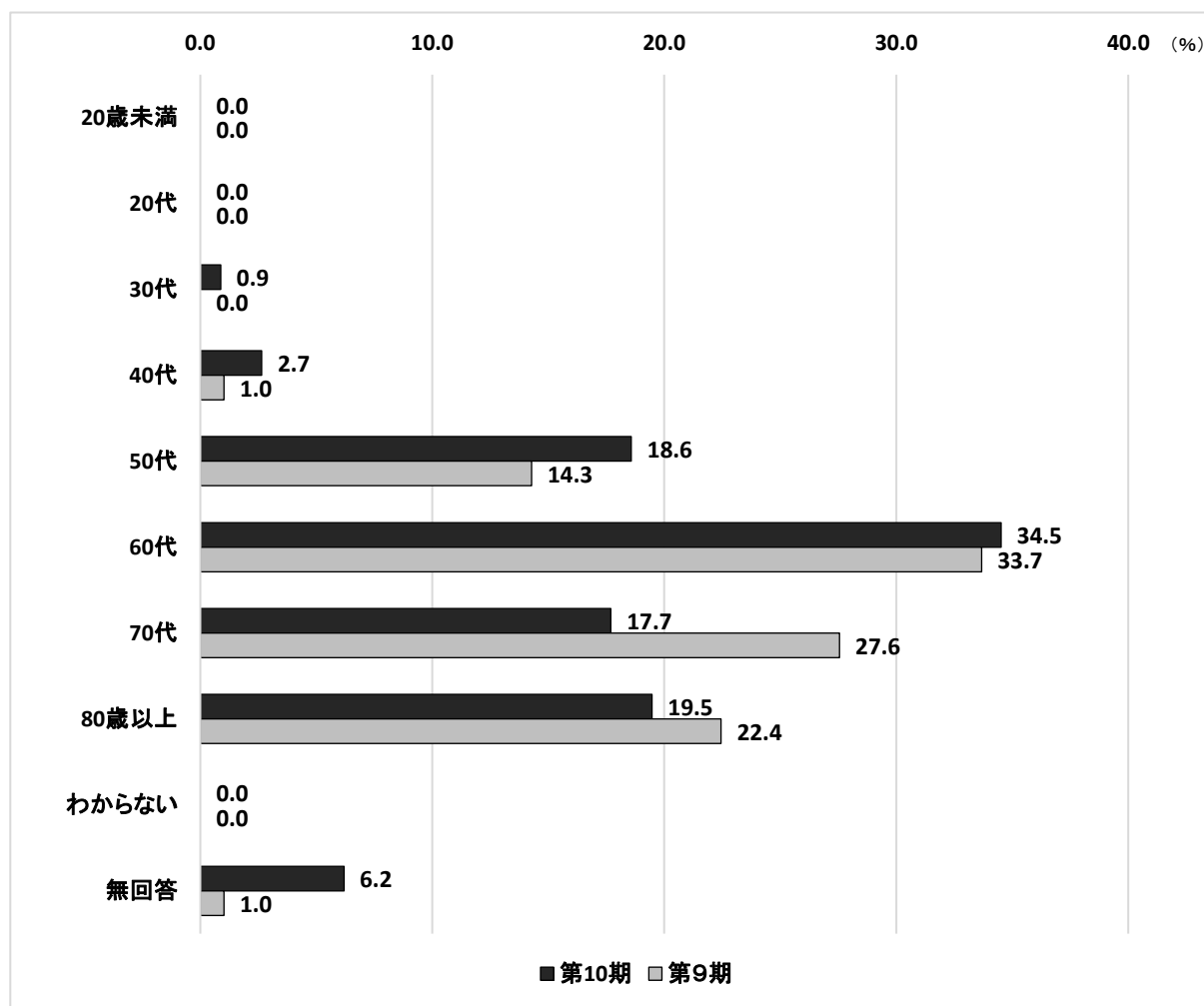
- ・「ほぼ毎日ある」が33.1%で最も高く、次いで「ない（26.9%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が増加しています。



【問3で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお聞きします。】 n = 113

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- ・「60代」が34.5%で最も高く、次いで「80歳以上（19.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「50代」が増加し、「70代」が減少しています。



【問4で「1. 20歳未満」と回答した方にお聞きします。】 n = 0

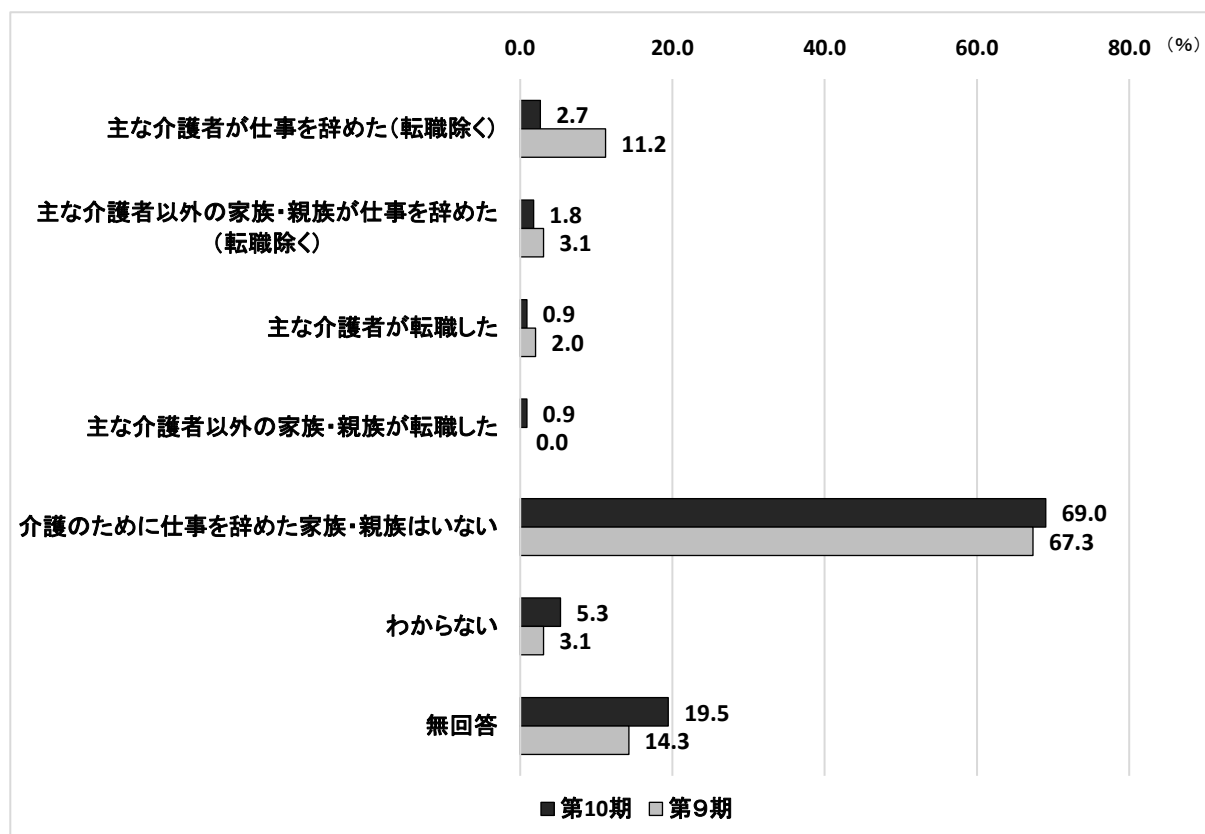
◆20歳未満（具体的にはどなたですか？）

- ・回答者なし

【問3で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお聞きします。】 n = 113

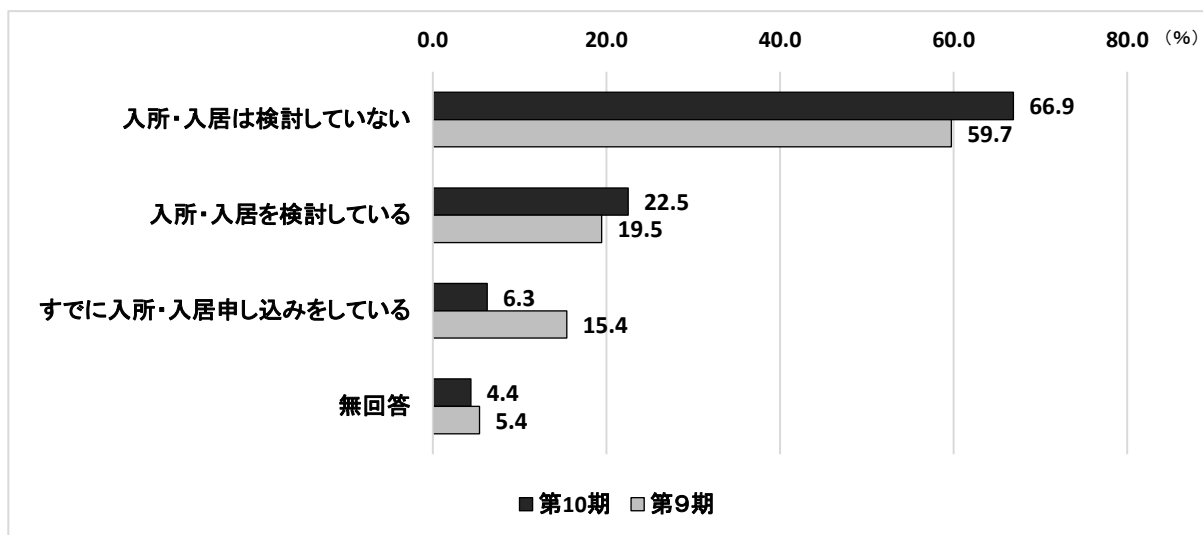
問5 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- ・「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が69.0%で最も高く、次いで「わからない（5.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が減少しています。



問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

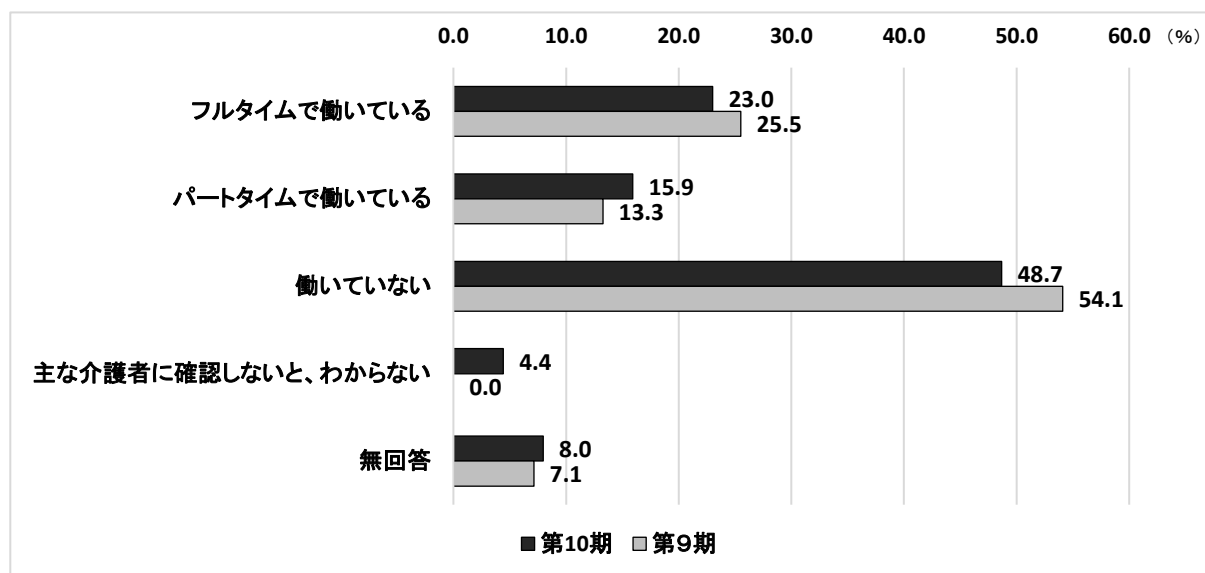
- ・「入所・入居は検討していない」が66.9%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している（22.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が増加し、「すでに入所・入居申し込みをしている」が減少しています。



B票 主な介護者の方について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

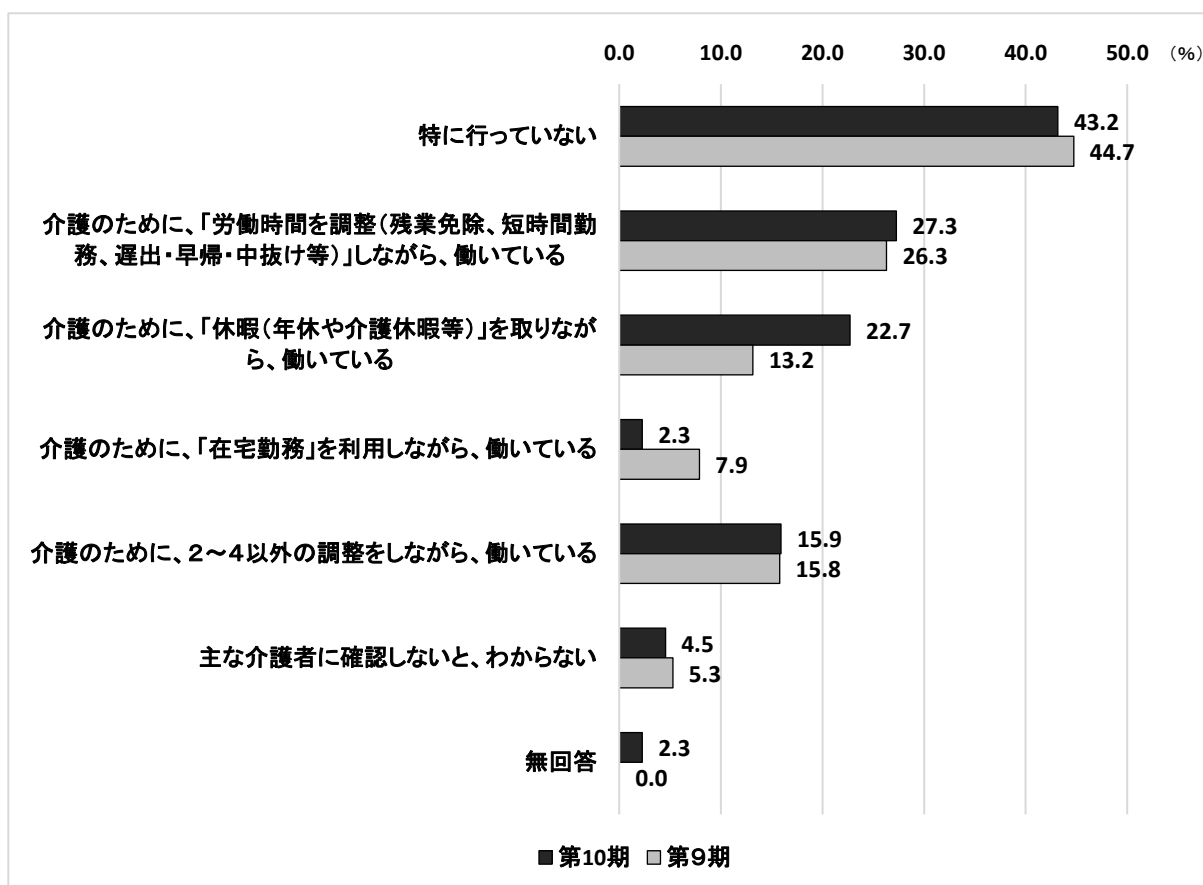
- ・「働いていない」が48.7%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている（23.0%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「働いていない」が減少しています。



【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】 n = 44

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか（複数選択可）

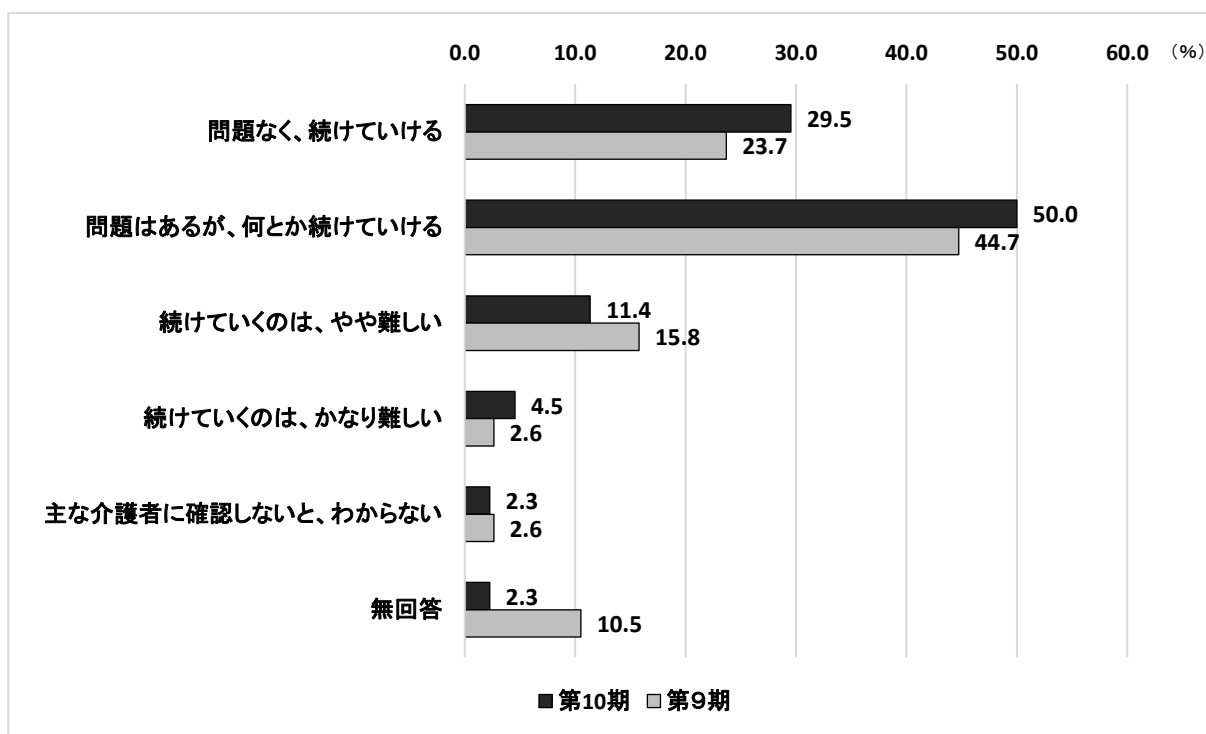
- ・「特に行っていない」が43.2%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（27.3%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が増加し、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が減少しています。



【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】 n = 44

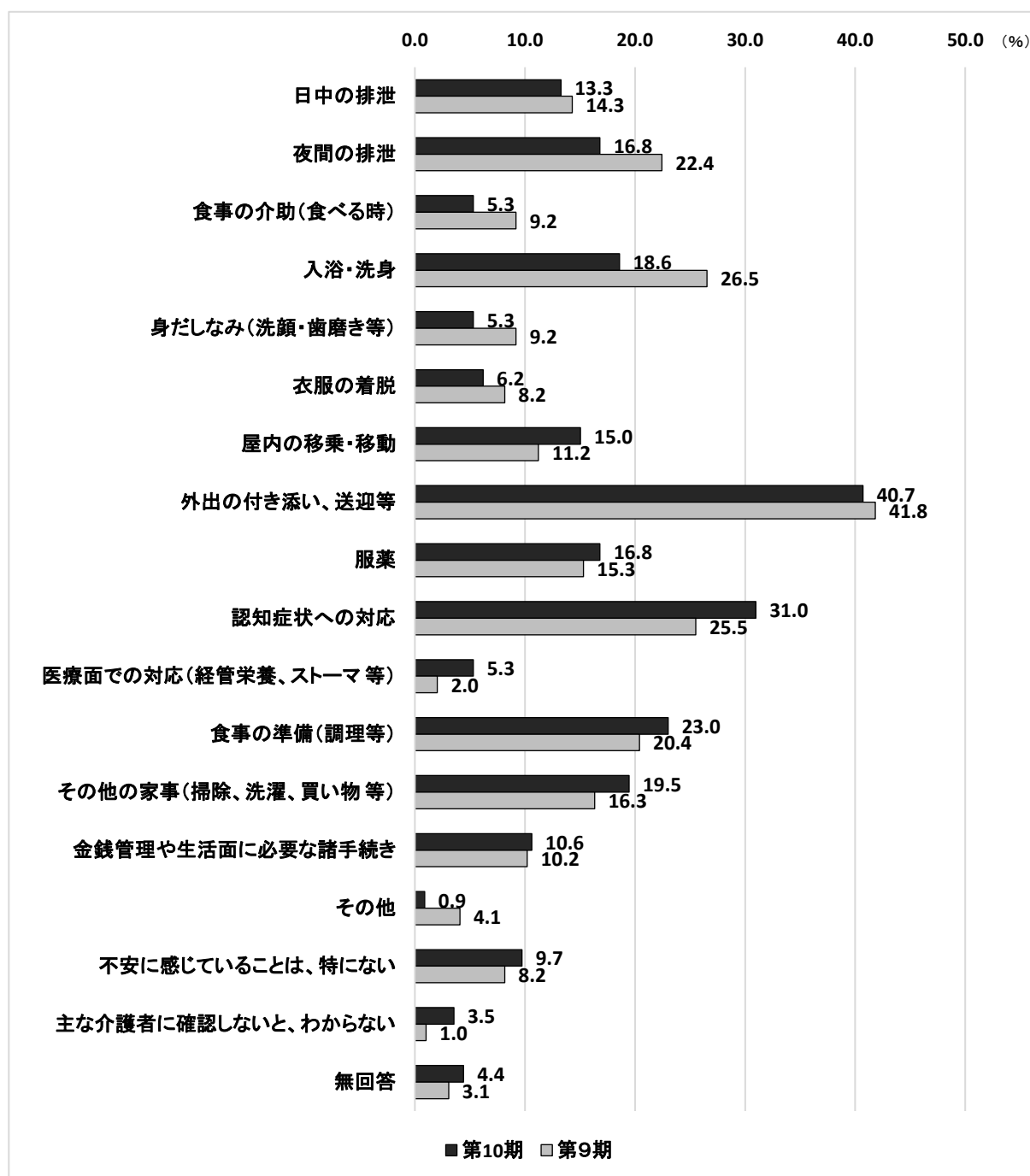
問3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- ・「問題はあるが、何とか続けていける」が50.0%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける（29.5%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける／問題はあるが、何とか続けていける」が増加し、「続けていくのは、やや難しい」が減少しています。



問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

- ・「外出の付き添い、送迎等」が40.7%で最も高く、次いで「認知症状への対応（31.0%）」と続いています。
- ・前回調査と比較すると、「認知症状への対応」が増加し、「夜間の排泄／入浴・洗身」が減少しています。

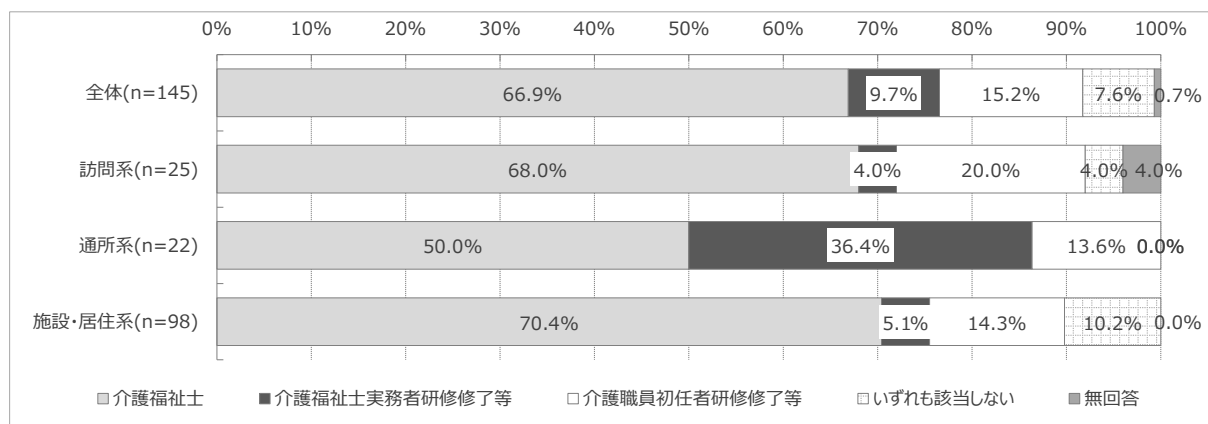


V 介護人材実態調査・介護職員調査結果

1 介護人材実態調査

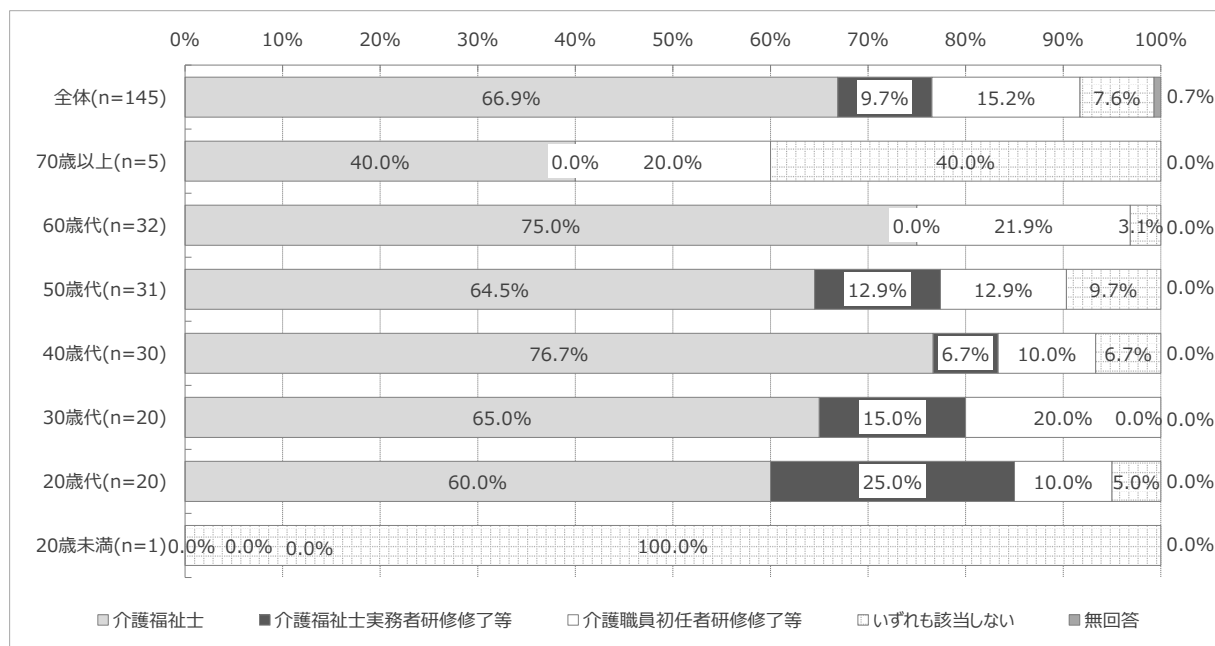
(1) サービス系統別の資格保有の状況

- ・全体では、「介護福祉士」が 66.9%で最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了等（15.2%）」と続いています。



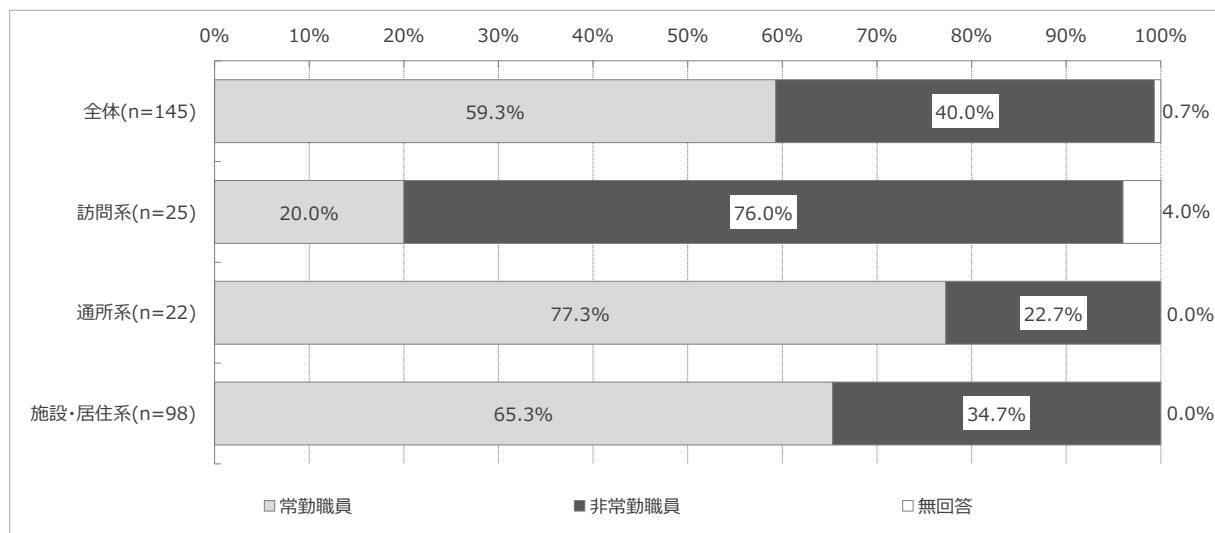
(2) 年齢別の資格保有の状況

- ・介護福祉士、介護職員初任者研修修了等の資格保有率は、「40 歳代」が最も高くなっています。
- ・介護福祉士実務者研修修了等は、「20 歳代」が最も高くなっています。



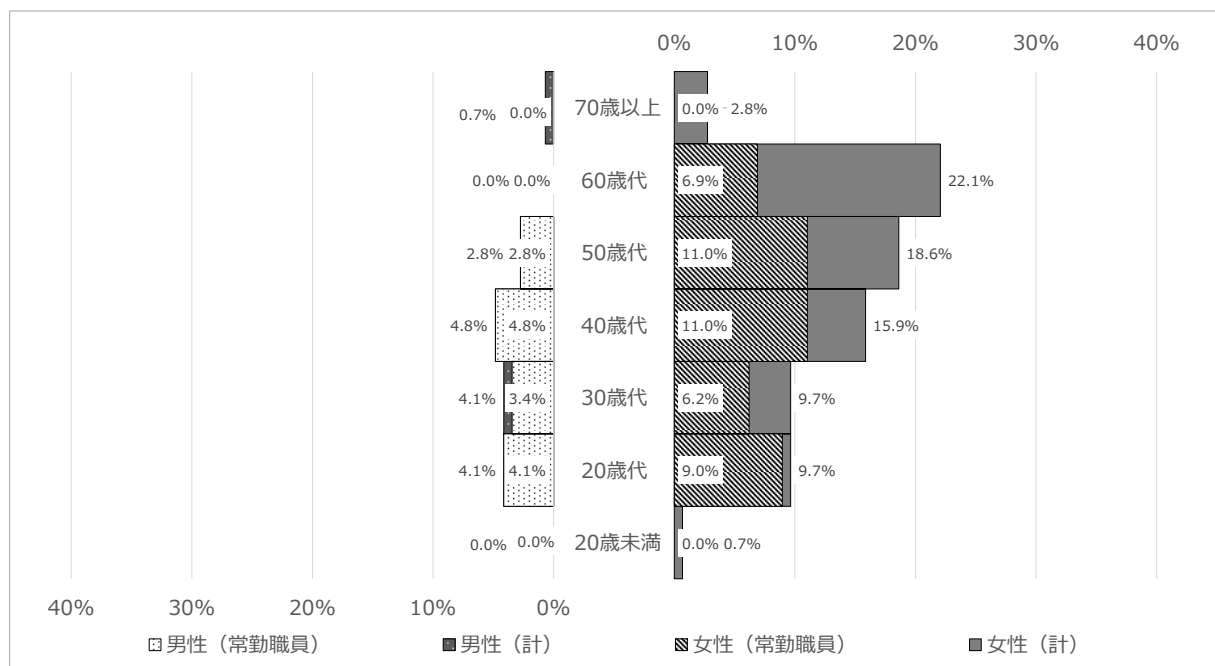
（３）サービス系統別の常勤職員・非常勤職員の割合

- ・全体の常勤職員の割合は、59.3%となっています。
- ・介護サービス別の常勤職員の割合は、「訪問系」の20.0%が最も低く、「通所系」、「施設・居住系」はともに約7割となっています。



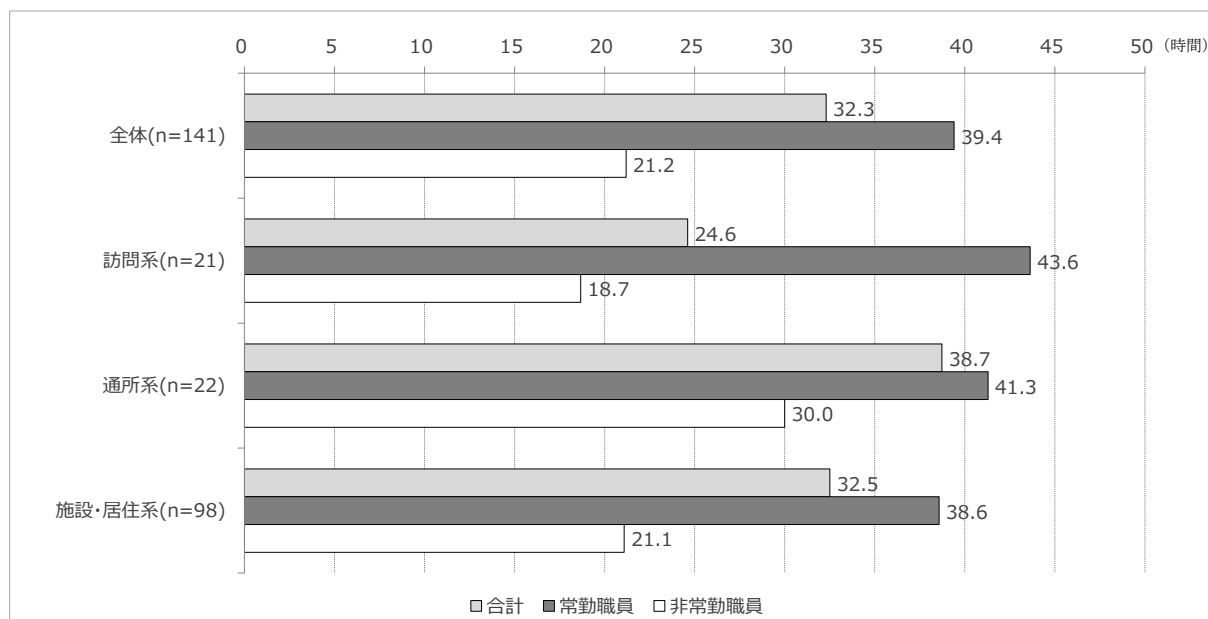
（４）性別・年齢別の雇用形態の構成比

- ・常勤職員の割合は、男性は「40 歳代（4.8%）」、女性は「40 歳代／50 歳代（11.0%）」が最も高くなっています。
- ・また、男女ともに「30 歳代」よりも「20 歳代」の方が、常勤職員の割合が高くなっています。



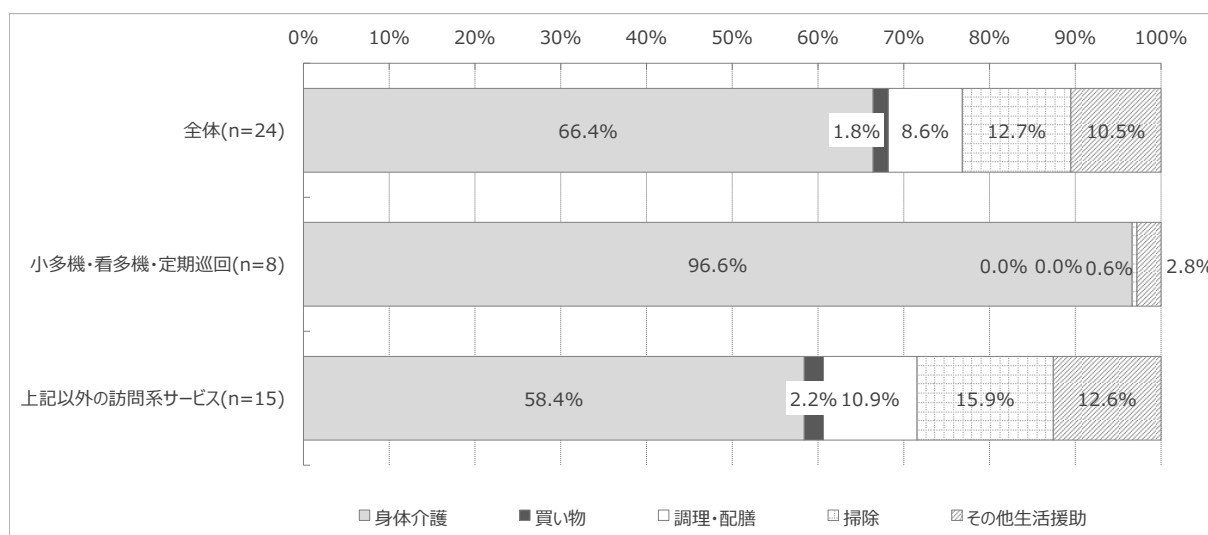
（５）職員 1 人あたりの 1 週間の勤務時間（単位：時間）

- ・全体では、「常勤職員」が 39.4 時間、「非常勤職員」が 21.2 時間となっています。
- ・合計の勤務時間が最も長いのは、「通所系」の 38.7 時間となっています。



（６）訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳

- ・全体では、「身体介護」が 66.4%で最も高く、次いで「掃除（12.7%）」と続いています。



(7) 介護職員数の変化

- すべてのサービスで、前年よりも職員数が増加しています。
- 常勤職員の増加率が最も高いのは、「訪問系」の125.0%となっています。
- 非常勤職員の増加率が最も高いのは、「施設・居住系」の114.8%となっています。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計
全体(n=9)	93人	47人	140人	26人	17人	43人	17人	12人	29人	110.7%	111.9%	111.1%
訪問系(n=1)	5人	10人	15人	2人	6人	8人	1人	5人	6人	125.0%	111.1%	115.4%
通所系(n=4)	24人	6人	30人	5人	2人	7人	2人	2人	4人	114.3%	100.0%	111.1%
施設・居住系(n=4)	64人	31人	95人	19人	9人	28人	14人	5人	19人	108.5%	114.8%	110.5%

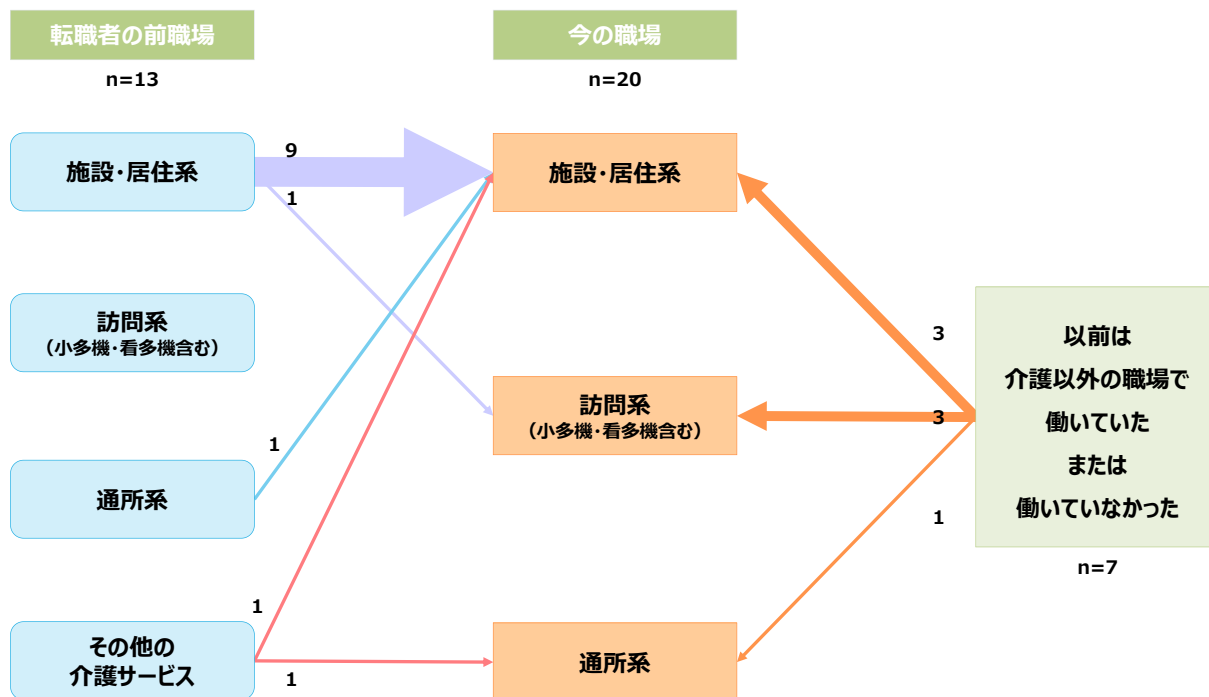
(8) 前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

- 町内から町内の介護事業所へ転職した割合は、30.8%となっています。
- 他の市区町村から町内の介護事業所へ転職した割合は、69.2%となっています。

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
全体	13人	100.0%	1人	100.0%	1人	100.0%	11人	100.0%
町内	4人	30.8%	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	36.4%
他の市区町村	9人	69.2%	1人	100.0%	1人	100.0%	7人	63.6%

(9) 過去 1 年間の介護職員の職場の変化

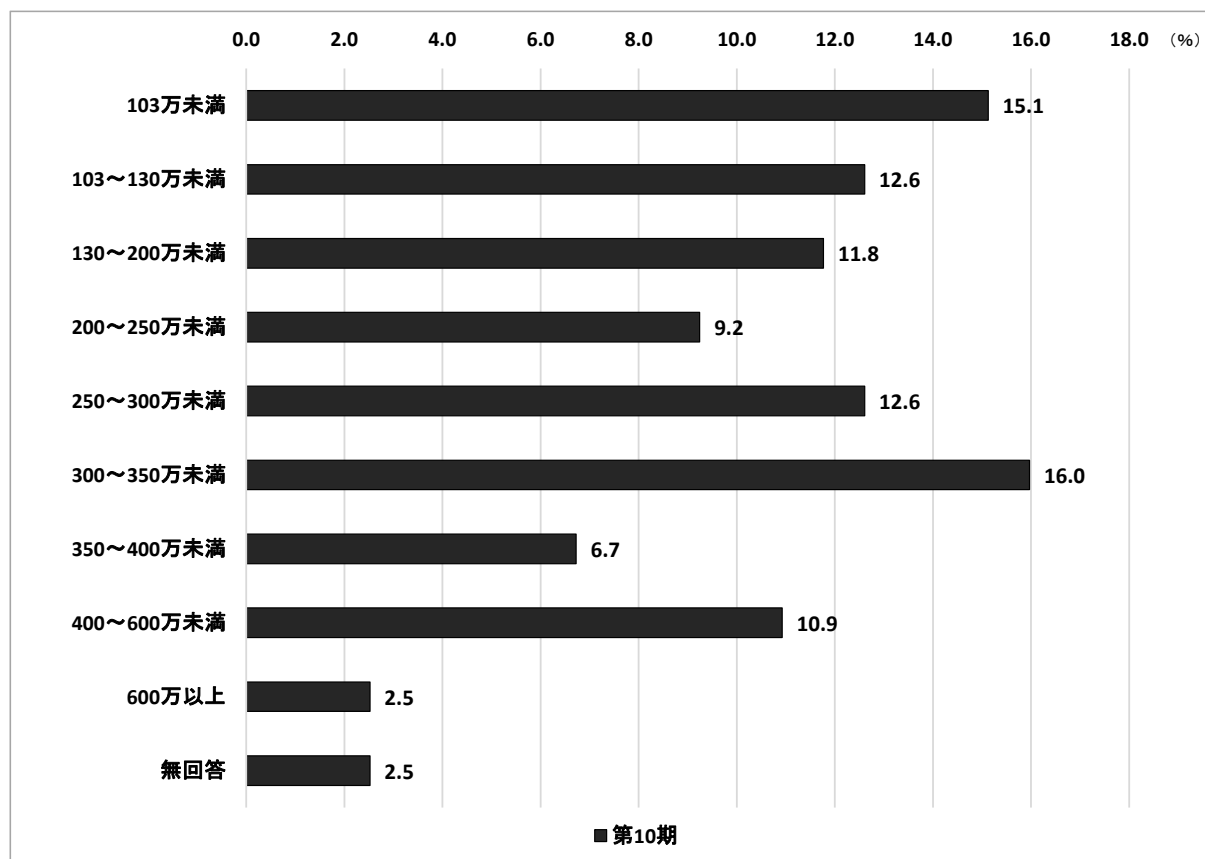
- ・過去 1 年間の介護職員の職場の変化をみると、「施設・居住系」から「施設・居住系」への動線が多くなっています。
- ・「以前は介護以外の職場で働いていた、または働いていなかった」人については、「施設・居住系」、「訪問系」と比較して、「通所系」での採用はわずかとなっています。



2 介護職員調査

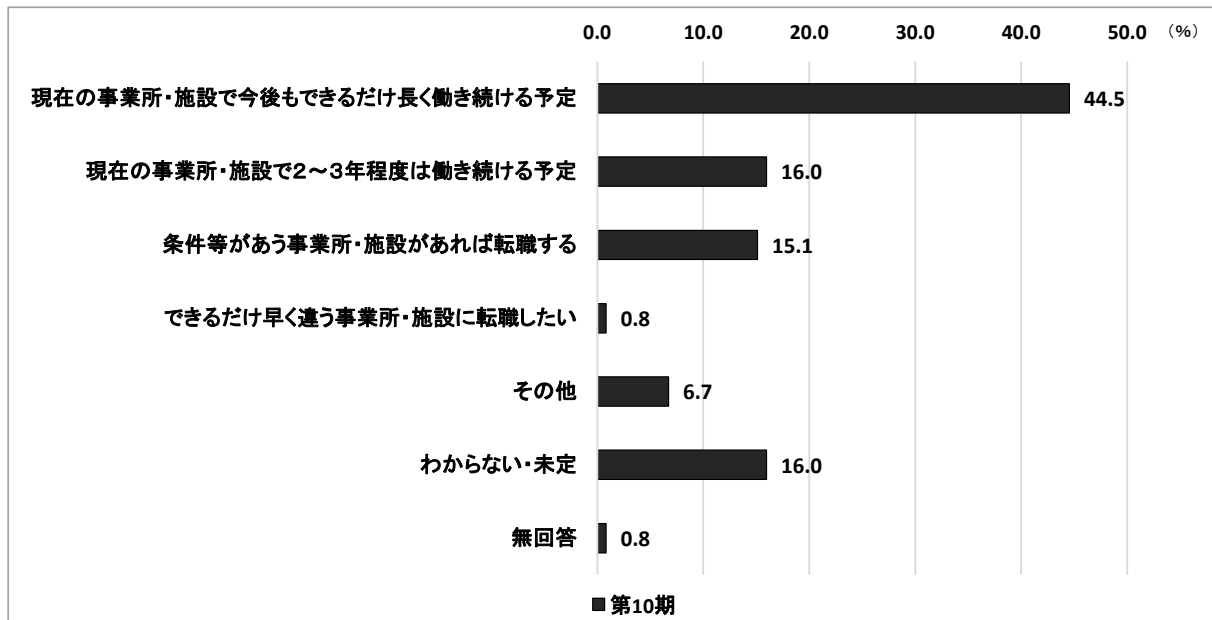
(1) ご自身の年収をお答えください。(1つに○)

- ・「300～350万未満」が16.0%で最も高く、次いで「103万未満(15.1%)」と続いています。



(2) 現在、勤めている事業所・施設での就業継続意向についてお答えください。(1つに○)

- ・「現在の事業所・施設で今後もできるだけ長く働きたい」が44.5%で最も高く、次いで「現在の事業所・施設で2～3年程度は働きたい／わからない・未定(16.0%)」と続いています。

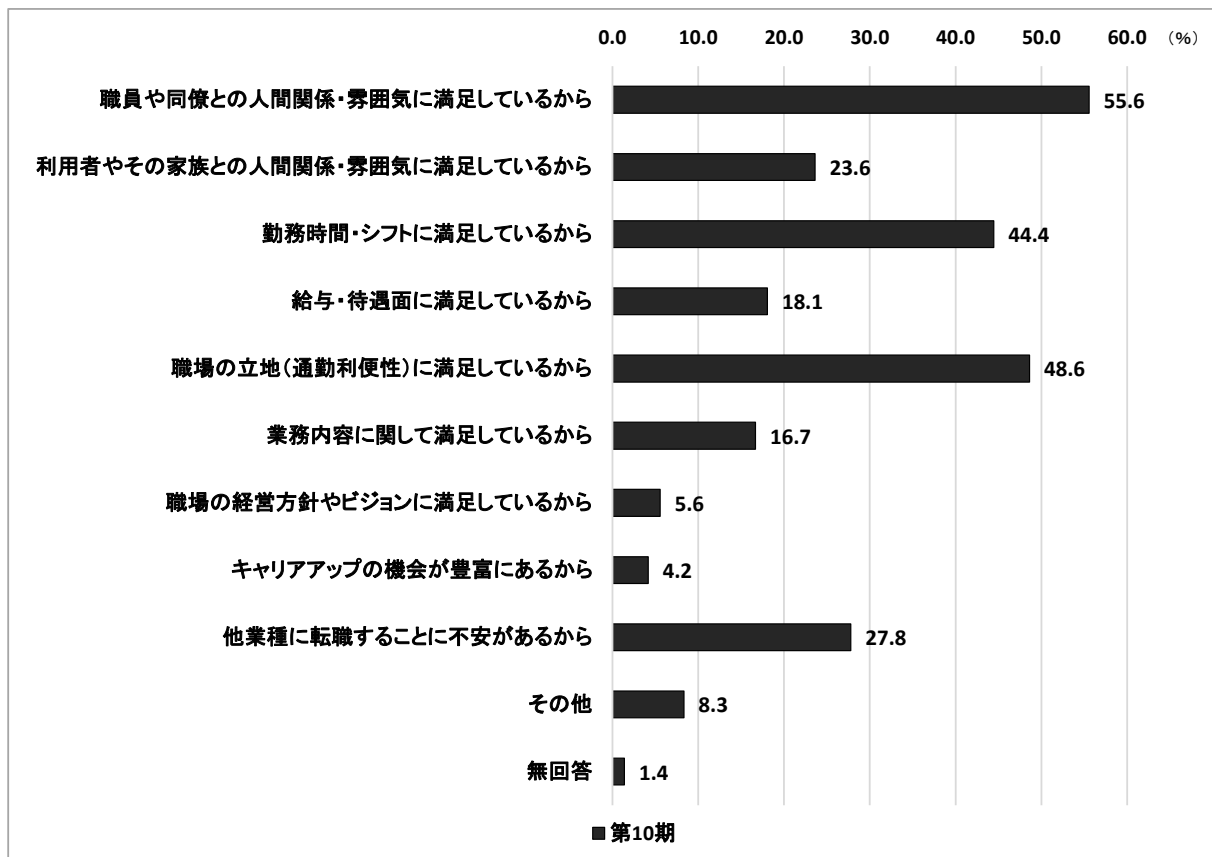


【(2) で1、2と回答した方のみ】 n = 72

(2-1) 現在、勤めている事業所・施設で仕事を継続していきたいと思う理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

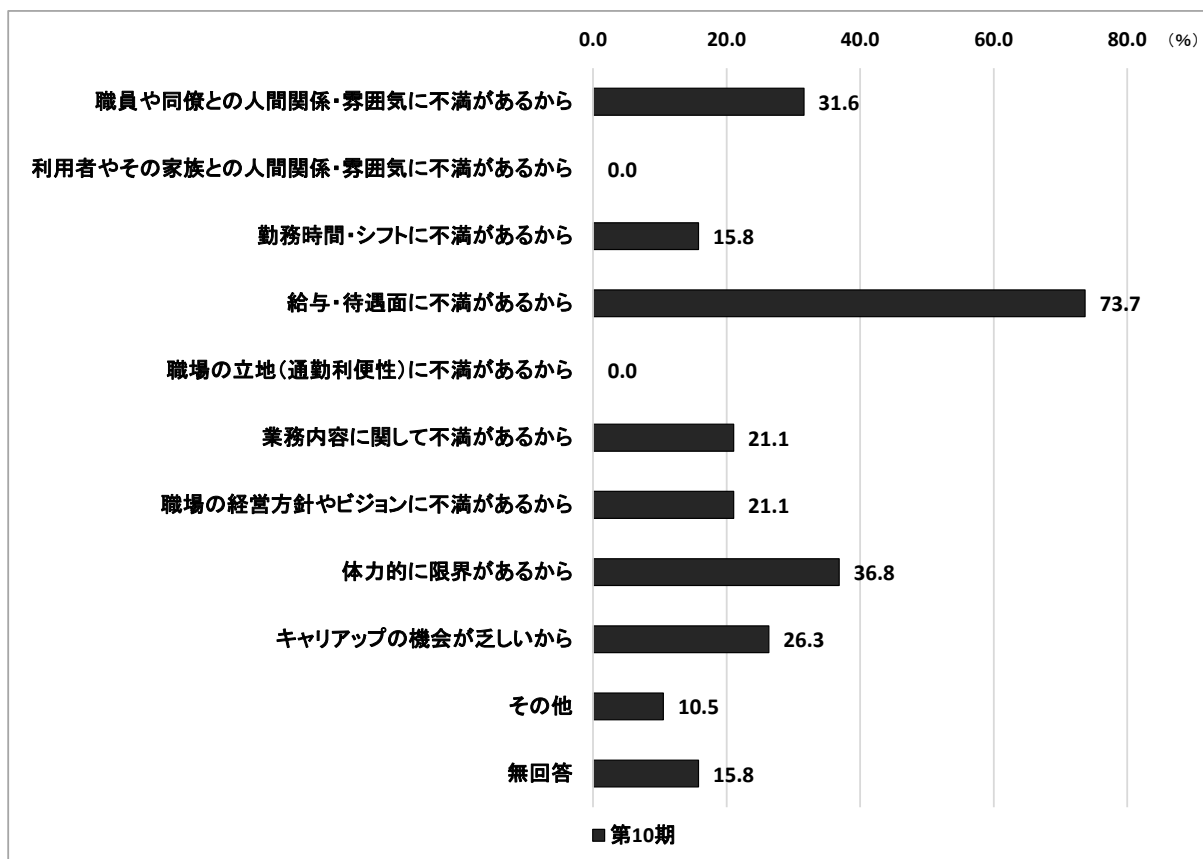
- ・「職員や同僚との人間関係・雰囲気」に満足しているから」が 55.6%で最も高く、次いで「職場の立地（通勤利便性）に満足しているから（48.6%）」と続いています。



【(2) で3、4と回答した方のみ】 n = 19

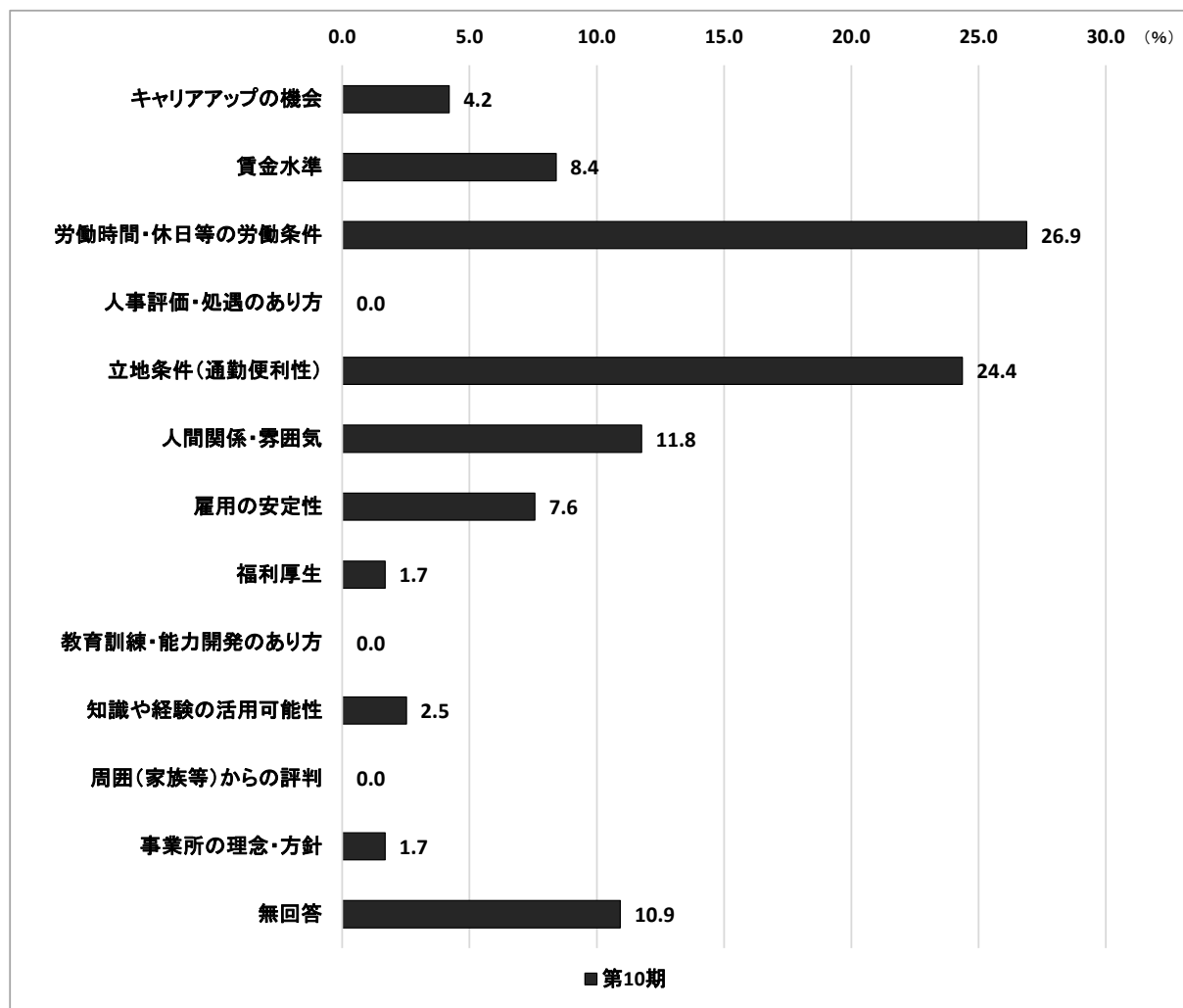
(2-2) 現在、勤めている事業所・施設で仕事を継続していきたくないと思う理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・「給与・待遇面に不満があるから」が73.7%で最も高く、次いで「体力的に限界があるから(36.8%)」と続いています。



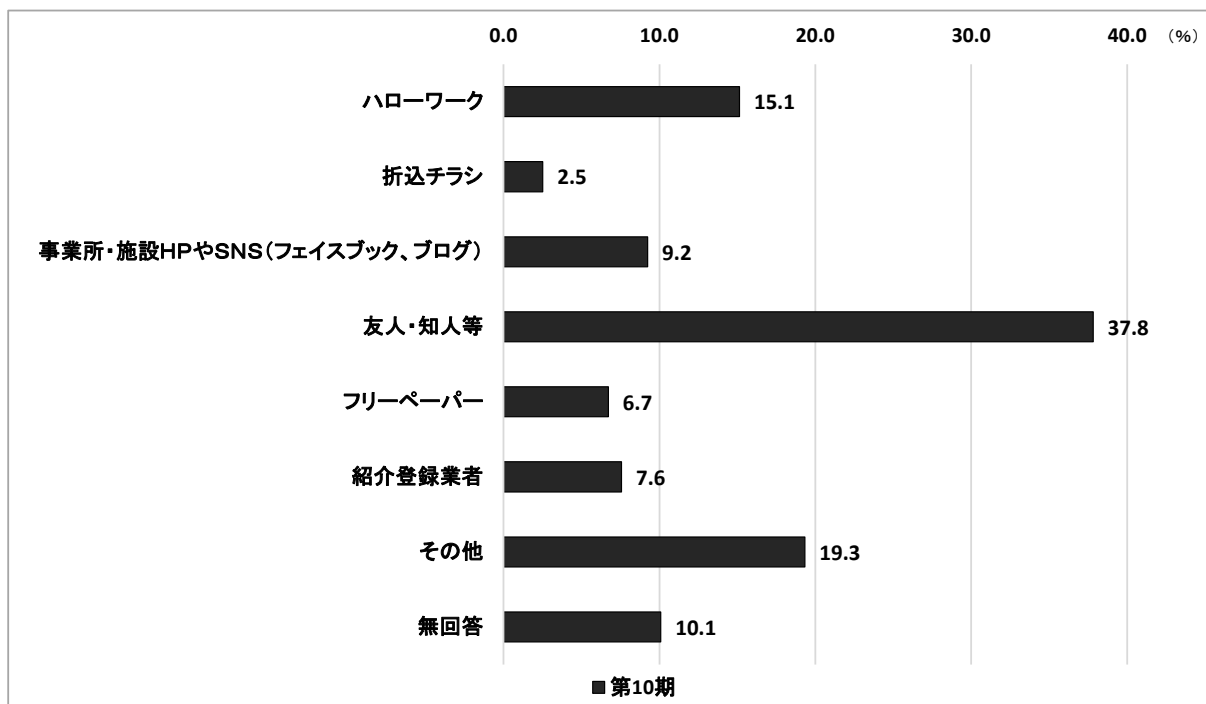
(3) 現在の事業所・施設への就業を決める際に、重視した要素として該当するものについてお答えください。(1つに○)

- ・「労働時間・休日等の労働条件」が26.9%で最も高く、次いで「立地条件(通勤便利性)」(24.4%)」と続いています。



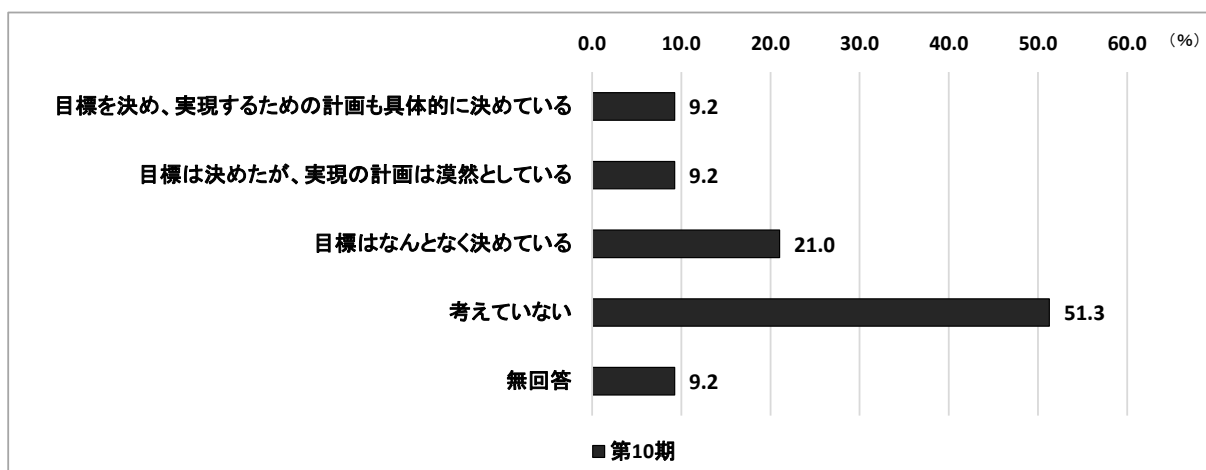
(4) 就労情報については、何から得ましたか。(あてはまるもの全てに○)

- ・「友人・知人等」が37.8%で最も高く、次いで「その他(19.3%)」と続いています。



(5) ご自身の今後の介護業界でのキャリア意向についてお答えください。(1つに○)

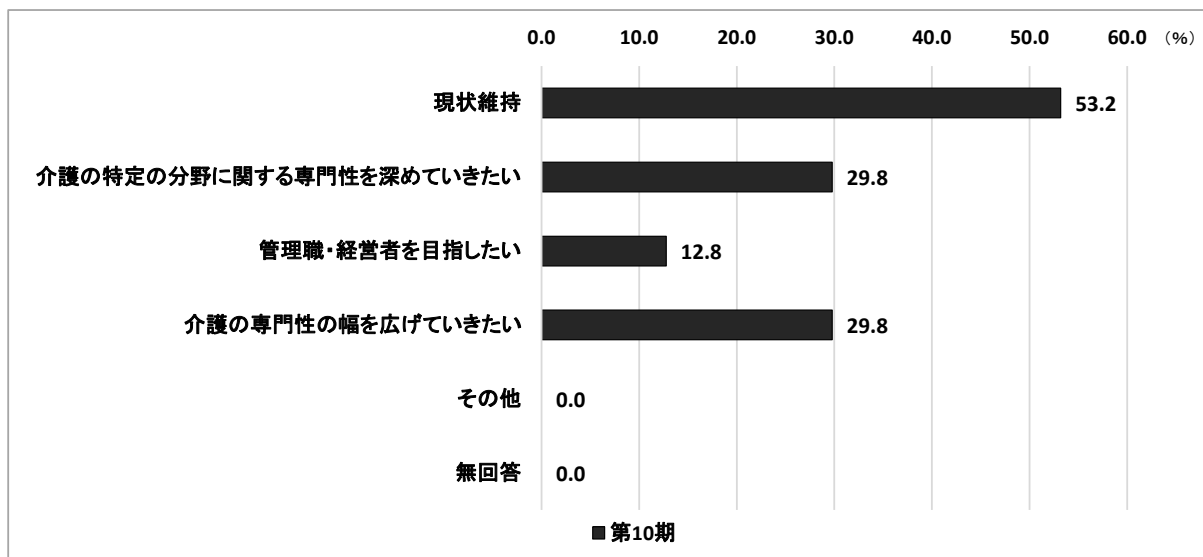
- ・「考えていない」が51.3%で最も高く、次いで「目標はなんとなく決めている(21.0%)」と続いています。



【(5) で1、2、3と回答した方のみ】 n = 47

(5-1) 今後、将来に向けて実現したい介護の仕事のキャリア目標の方向性についてお答えください。(あてはまるもの全てに○)

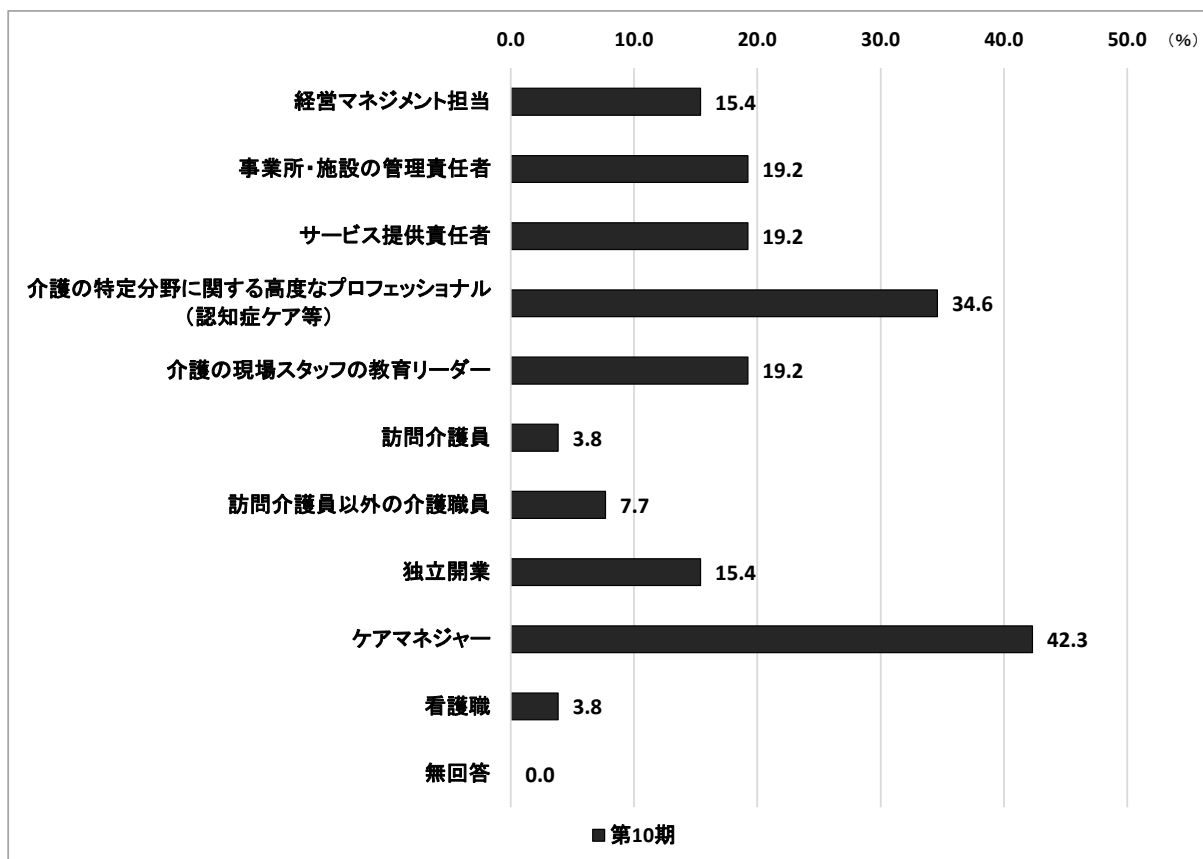
- ・「現状維持」が53.2%で最も高く、次いで「介護の特定の分野に関する専門性を深めていきたい／介護の専門性の幅を広げていきたい(29.8%)」と続いています。



【(5-1)で2、3、4、5と回答した方のみ】 n = 26

(5-2) 今後、将来に向けて実現したい介護の仕事のキャリア目標の具体的な内容について
お答えください。(あてはまるもの全てに○)

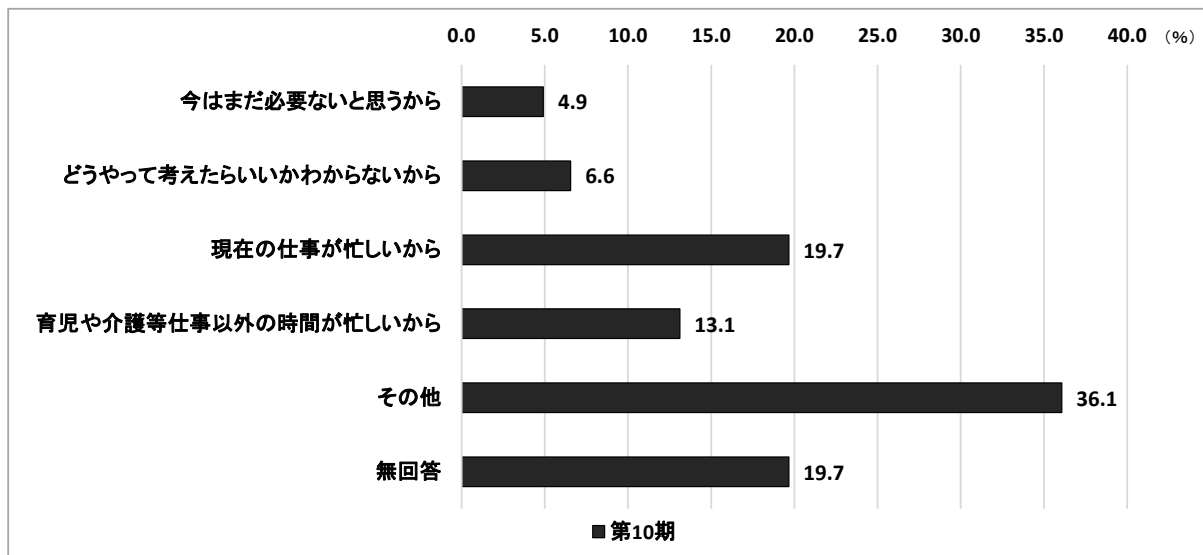
- ・「ケアマネジャー」が42.3%で最も高く、次いで「介護の特定分野に関する高度なプロフェッショナル（認知症ケア等）（34.6%）」と続いています。



【(5) で4と回答した方のみ】 n = 61

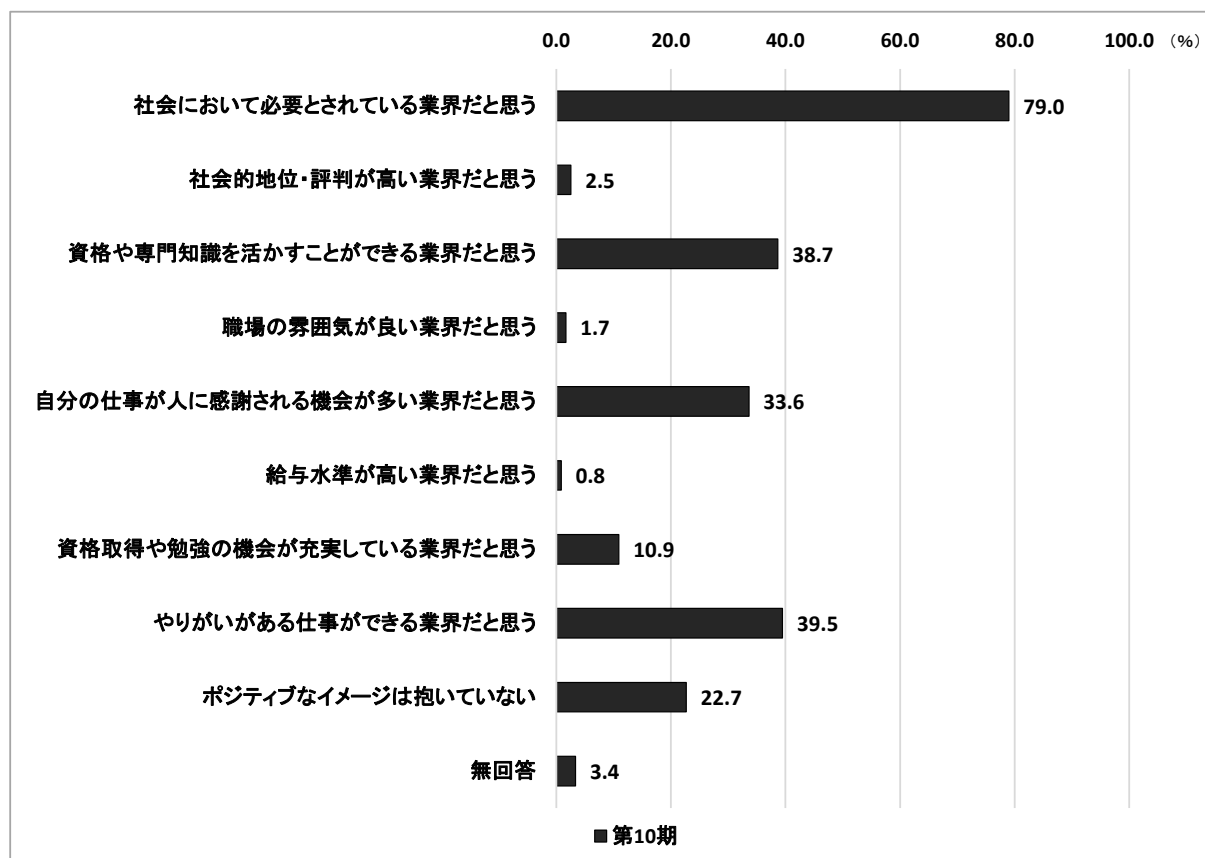
(5-3) キャリア目標について考えていない理由についてお答えください。(1つに○)

- ・「その他」が36.1%で最も高く、次いで「現在の仕事が忙しいから(19.7%)」と続いています。



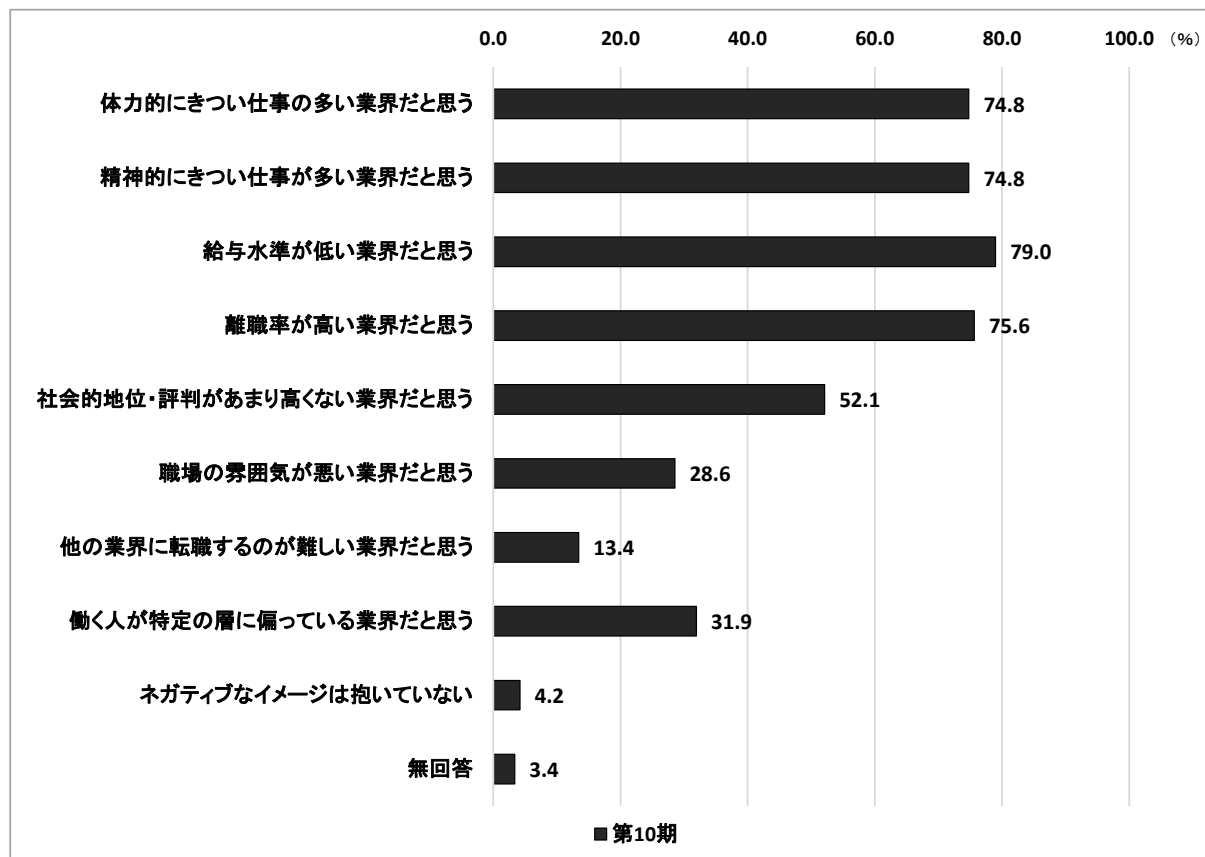
**（６）現在、あなたが介護業界に抱いているポジティブなイメージとしてあてはまるものを
全て選択してください。（あてはまるもの全てに○）**

- ・「社会において必要とされている業界だと思う」が79.0%で最も高く、次いで「やりがいがある仕事ができる業界だと思う（39.5%）」と続いています。



（７）現在、あなたが介護業界に抱いているネガティブなイメージとしてあてはまるものを全て選択してください。（あてはまるもの全てに○）

- ・「給与水準が低い業界だと思う」が79.0%で最も高く、次いで「離職率が高い業界だと思う（75.6%）」と続いています。



（８）介護業界に入職する前にご自身が抱いていた介護業界のイメージと入職後のイメージのギャップについて該当するものを一つ選択してください。

- ・「イメージどおりだった」が47.9%で最も高く、次いで「思ったより悪かった（26.9%）」と続いています。

